

令和6年

決算特別委員会

9月9日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和6年9月9日

午前10時00分 開会

午後6時59分 閉議

1. 出席委員

委員長	近藤 ひろひで	副委員長	鵜飼 貞雄
委員	岡島 ゆみこ	委員	青木 けんじ
委員	鈴木 智和	委員	中堀 りゅういち
委員	浅井 たかお	委員	こんどう のぶお
委員	いとう ひろし	委員	服部 龍一
委員	武谷 としお	委員	郷右近 修
委員	林 ゆきひろ	委員	月岡 修一
委員	堀内 ちほ	委員	清水 義昭
委員	ふじえ 真理子		
議長	毛 受明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健治	議事課長	深草 広治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎二	庶務担当係長	福田 悦子
議事課主査	久永 英明		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
教育長	藤井 和久	行政経営部長	小串 真美
市民生活部長	伊藤 正弘	健康福祉部長	中村 泰正
経済建設部長	星子 恭士	教育部長	浅井 俊一
秘書広報課長	伊藤 克代	企画政策課長	萩野 昭久
公共施設管理課長	中野 忠之	情報システム課長	長野 直之
財政課長	浦 倫彰	総務課長	山田 隆貴

防災防犯対策課長	川 島 康 孝	税 務 課 長	堅 田 直 寛
債権管理課長	高 垣 茂 晴	市 民 課 長	杉 浦 由 季
共生社会課長	松 本 小 牧	地 域 福 祉 課 長	小 野 寺 良 夫
長 寿 課 長	塚 本 由 佳	健 康 推 進 課 長	川 原 静 恵
こども保育課長	小 川 正 寿	指 導 保 育 士	柴 田 美 由 紀
保 険 医 療 課 長	近 藤 有 紀 子	子 育 て 支 援 課 長	松 村 清 子
産 業 支 援 課 長	塚 谷 友 昭	農 業 政 策 課 長	加 藤 直 美
土 木 課 長	外 山 紀 元	都 市 計 画 課 長	中 田 勝 次
下 水 道 課 長	青 山 康 徳	環 境 課 長	松 本 裕 介
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	近 藤 恒 明	学 校 教 育 課 長	秋 永 亘 正
学 校 支 援 室 長	奥 平 剛	生 涯 学 習 課 長	相 羽 敏 明
図 書 館 長	水 野 美 樹	監 査 委 員 事 務 局 長	平 下 義 之
重 層 支 援 セ ン タ ー 主 幹	岩 佐 智 幸	指 導 保 育 士	鈴 木 祐 見
秘 書 広 報 課 長 補 佐	西 森 裕 記	新 給 食 セ ン タ ー 準 備 室 長	矢 野 優
財 政 担 当 係 長	矢 野 佑 輔	監 査 委 員	井 上 新
監 査 委 員	三 浦 桂 司		

5. 傍聴議員

一 色 美 智 子

6. 傍聴者

一 般 傍 聴 者 1 名

午前10時開会

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） おはようございます。定刻に御出席いただきまして、ありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日からの決算特別委員会に付託されました一般会計をはじめ、特別会計6件及び企業会計の歳入歳出決算認定8件でございます。令和5年度歳入歳出決算につきまして慎重に審査の上、認定いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ありがとうございます。御苦労さまでした。

ここで市長におかれましては退席願ひ……。

（議長、要りますよの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ごめんなさい。議長、お願いします。

○議長（毛受明宏議員） 皆さん、おはようございます。

本日より認定議案1号から8号までの審査になります。慎重審査をよろしくお願い致します。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 副議長は、いい。

（副議長は大丈夫の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ここで市長におかれましては退席願ひますが、答弁を求める場合がありますので、答弁を求める機会がある場合には直ちに出席をいただきますよう、お願いいたします。

（市長退席をなす）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員会において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の決算特別委員会の進め方については9月6日の委員会で協議されており、その結果に従い進めさせていただきますので、御協力をお願いいたします。

一般会計については、原則として、款別に所管の部長等により説明を受けた後に質疑を行い、特別会計、企業会計については各会計別に進めます。

なお、総括質疑は、一般会計の各款別の質疑終了後に行います。

討論については、特別会計、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに行う予定でありますので、よろしく願いいたします。

次に、職員の方をお願いいたしておきますが、9日、10日及び11日の3日間で審査を行う予定であり、各委員の質疑にできる限り時間を確保したいと思っておりますので、特に重要な部分を資料に従って簡潔に説明をしていただき、直ちに答弁ができないときは後から答弁をしてください。答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、協力をお願いいたします。

議事の進行により説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行っていただきますようお願いいたします。

また、当局におかれましては、議論を深めるために反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、反問されるようお願いいたします。反問終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

会議に入る前に御報告いたしますが、会計管理者所管の歳入簿及び歳出簿等が提出されております。後ほど各自で御自由に御覧いただきたいと思っておりますので、参考に願います。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から……。

(はい、大丈夫ですの声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いい。

認定議案第1号から……。

(認定議案ですの声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ごめんなさい。認定議案第1号から認定議案第8号までを一括議題といたします。

初めに、認定議案第1号について、説明及び質疑を行います。

現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動状況について、会計管理者より説明を願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） それでは、令和5年度の現金及び財産等の保管、移動状況について御説明させていただきます。

初めに、現金の保管状況を説明いたしますので、事前に配付させていただきました決算資料ナンバー1、令和5年度現金保管状況（各月末残高）を御覧ください。

一般会計と特別会計を合わせました、支払い資金に充てる歳計現金の各月末残高は、月平均で約21億円でありました。

また、歳計外現金は平均約3億円で、県民税や職員の源泉所得税など、一時預り金でございませう。

右隣り、基金につきましては、5年5月に約21億円を積み増しして約125億円とし、6年3月には国民健康保険、財政調整基金等の一部を取り崩し、約124億円となります。

また、右側にある表は下水道事業会計の保管状況で、月平均約5億円でありました。

続きまして、財産の移動状況を説明させていただきます。

歳入歳出決算書450ページからの財産に関する調書を御覧ください。歳入歳出決算書450ページをお願いいたします。

土地の増減高1万3,369.20平米増は、新学校給食センター用地と山田グラウンドの取得が主な要因でございませう。建物面計の増減高1,014.00平米減は、老人憩いの家の譲渡とどんぐり学園の取壊しによるものでございませう。

個別のリストにつきましては、次ページ、452ページから467ページに記載してございませう。

続きまして、468ページ、公有財産の(2)山林から(8)不動産の信託の受益権までは、前年同様で変化はありません。

次に、469ページからの2、物品の保管状況でありますが、年度中の増減に大きな変化はなく、478ページにありますように、年度末現在高は1,090点でございませう。

失礼いたしました、先ほどの478ページ、失礼いたしました、477ページに訂正をお願いいたします。

続きまして、478ページを御覧ください。

3、債権は、市民税の特別徴収分4月、5月分であり、例年と大きな差異はございませう。

4、基金につきましては、5年度中に19億9,745万4,127円増加し、年度末現在高は129億5,029万1,342円となっております。

以上で、現金及び財産等の保管、移動状況の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

なお、当局の的確な回答を得るため、質疑については、必ずページ数と項目を明示してから質疑を行ってください。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 決算資料ナンバー1なんですけど、この令和……。一般会計は一番左なんですけど、令和6年2月が3,200万ぐらいで、その3月が21億ですね。この2月に

減った理由、3月に増えた理由、教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 個々個別の支出状況については、すみません、今は資料を持ち合わせておりませんので、全体の概況といたしましては、年度明けから工事等の支払いが進んでまいります。それから、3月に大きく金額が伸びましたのは、逆に、国庫、それから、県費等の例えば給付金等の財源、そういったものが年度末に向けて払込みをされますので、大きく減少、増加ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） ちょっと補足させていただきます。

2月の大きく減少している減ですけれども、具体的には臨時的には非課税世帯臨時特別給付金、これが3億6,000万円程度ありましたので、こういったコロナだとか物価高騰に対する支出があったということですね。復元は、今、近藤が申し上げたとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 現金、基金の運用についてなんですけども、なるべく利率の高いものを選んでると思うんですけども、この選び方っていうのは、職員が高いものを探して運用するという事なのか、何かその入札等で進めているとか、どういうふうにして、この利率高いものっていうのは選んでるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 基金の運用につきましては、一般会計、それから、各特別会計とございますが、いずれも会計管理者の下で運用させていただいております。委員お尋ねの有利な預け入れという部分でございますが、これにつきましては、おおむね5月下旬に、1年物で運用しておりますので、更新の時期が参ります。その更新に合わせて市内の各金融機関に金利調査を一斉にさせていただきます。その中で有利な条件を示したところから順に多く預け入れをするというような形で運用させていただいております。一括の金利入札というような方法は取ってございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 どれがいいんだ、決算資料ナンバー1がいいのかちょっと分かりません

けども、基金の中で、最後、124億ほどありますけども、この中で債権になっているようなものがお幾らぐらいなのか、お願いできますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 基金の運用の中で債権に投資をしておりますのは、令和5年中につきましては、新たに1億円を債権投資をさせていただきました。それ以前につきましては、令和4年度に1億円、約1億円を2本、国債と地方債を購入いたしておりますので、今現在は、合計3億円が、この124億円余の中で債権の投資に回っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。ないね。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産保管及び移動状況についての質疑を終わります。

続いて、一般会計の歳入全体について、小串行政経営部長より簡潔に御説明をお願いします。

小串行政経営部長。

○行政経営部長（小串真美君） それでは、財政状況の概要から御説明いたします。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書4ページ、5ページをお願いします。

4ページ上段の普通会計ベースの令和5年度決算状況の歳入総額を御覧ください。

令和5年度は、対前年比98.2%の273億1,620万2,000円で、5億294万3,000円の減であります。その主な要因は、繰越金などが含まれているその他の項目の減少が主なものです。

その2つ横の歳入歳出差引き11億7,502万2,000円が形式収支となります。そこからその横の翌年度へ繰り越すべき財源2億2,456万8,000円を控除した9億5,045万4,000円が実質収支となります。実質収支額は、前年度に比べ1億9,908万8,000円減少しており、これがその横の単年度収支額となります。

6ページの財政構造の状況を御覧ください。

表の基準財政需要額と基準財政収入額の差が普通交付税額となります。普通交付税はごめんなさい、20億2,890万円で1億6,625万1,000円の増加です。

財政力指数は、先ほどの収入額を需要額で除したものであり、表中は3か年の平均となっております。

最下段の公債費比率は、標準財政規模に対する公債費の割合です。

続きまして、7ページの市債の状況をお願いいたします。

上段の（1）全体の推移の表の最下段、年度末現在高は、令和4年度に比べ約9億円減

少しております。初日の健全化判断比率の報告の際にもお伝えしましたが、この市債残高により、実質公債比率が健全な状況にあると言えます。

続きまして、9ページ上段の地方消費税交付金充当表をお願いします。

地方消費税交付金は、通常収支分と社会保障費とに分かれて交付され、増税部分は社会保障費への充当となります。交付額に対する社会保障費への充当割合は、予算時点では54.5%を想定していたところ、決算は57.3%となりました。

下段の基金残高をお願いします。

一番上の財政調整基金の年度末残高は36億6,890万8,000円であります。令和4年度末に比べ1億9,801万円増額しています。その他の基金も含め、経済状況の変動、災害対応、施設等の長寿命化対策などの財政需要、さらには増加する福祉需要に対処するため、基金による財政確保を進める必要があると考えております。初日の健全化判断比率の報告の際にもお伝えしておりますが、この基金残高により、将来負担比率が健全な状況にあると言えます。

続きまして、10ページ上段の都市計画税の課税状況をお願いします。

都市計画税は、都市計画事業を進める上で必要な財源の目的税として、充当状況、用途を明確にするため、決算資料としてお示しするものでございます。

それでは、一般会計歳入決算について御説明いたします。

前年度との比較ができますので、監査委員の審査意見書で御説明いたします。

10ページをお願いいたします。

監査意見書をお持ちでない方は、決算書の8ページからになります。

令和5年度の決算額は272億9,379万6,573円で、前年度決算と比較しますと約5億円の減となりました。

12ページをお願いします。

1款 市税の収入済額は112億2,991万9,035円で、前年度に比べ1億1,622万1,525円の増収です。

続きまして、15ページ中段をお願いします。

6款 法人事業税交付金です。

4,109万2,000円の増収となりました。

続きまして、16ページ下段をお願いします。

10款 地方交付税です。

地方交付税は22億4,313万9,000円となりました。

続いて、19ページをお願いします。

14款 国庫支出金です。

国庫支出金の合計は45億1,359万1,721円で、前年度に比べますと1億4,004万6,617円の減収です。主なものは、意見書に記載のとおりですが、減額の主な要因としまして、非課税世帯等臨時特別給付金事業費補助金4億8,054万3,000円の皆減、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億198万4,000円減、公立学校施設整備費補助金5,115万4,000円減などがございます。

続いて、21ページをお願いします。

17款 寄附金は2億6,621万500円で、前年度に比べ1億4,521万9,500円の減です。中央競馬会からの競馬場周辺整備事業寄附金は2億3,849万円の寄附を頂き、ふるさと豊明応援寄附金は1,633万8,000円の決算となりました。また、企業版ふるさと納税寄附金400万円や教育費寄附金605万円など、市民や事業所など、多くの方から寄附金が集まりました。

次に、18款 繰入金は17億3,637万4,977円で、前年度に比べ1億2,840万8,293円の増です。財政調整基金からの繰入れは、前年度に比べ9,220万4,000円の減で、水上太陽光発電事業特別会計からの一般会計への繰入れは839万1,000円となりました。

19款 繰越金は11億7,406万5,375円で、前年度に比べますと7億1,713万2,423円の減となりました。

続いて、22ページ下段、お願いします。

21款 市債です。

市債は、8億4,040万円で前年度より4,110万円の増です。

なお、市債総額には、臨時財政対策債の発行分7,610万円が含まれています。

説明は以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、監査意見書の19ページ、20ページの国庫支出金と県支出金についてですけども、先ほど、前年度比較でちょっと説明いただきましたけども、予算現額に対する増減で、国庫補助が1億6,000万ほど、予算に比較して減ってます。あと、県の支出金も、負担金と補助金合わせて7,000万ほど少ないんですけども、この減っている理由、主な事業を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 誰が返事する。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、様々な扶助費なども見込みで上げておりますの

で、そういったものと実績の差で、そういうものが出てきているのではないかというふうに思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 主要施策の4ページをお願いします。

市民税、交付税が増加しています。臨時財政対策債との関係などは、どのように認識されてるのか教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 市民税と地方交付税が上昇しておりまして、臨時財政対策債が減少しております。基本的な認識といたしましては、税収が、国、地方ともに好調であることから、このような状況になっているというふうに認識しております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連ですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 市債に関する確認なんですけど、73ページと決算カード、地方債の現在高の部分ですが、地方債の現在高が138億円ほどですが、健全化判断比率の実質公債比率1.0を見ても地方債は比較的少ないのではないかとと思われるのですが、健全であるという認識でよろしかったでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど、部長からの歳入の説明でもありましたとおり、今、堀内委員御指摘のとおり、まさに市債の残高は低く抑制的に実施をできておりますので、健全であるということの認識で我々も同じです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連、鈴木委員。

○鈴木智和委員 同じく、決算報告書の73ページのところですけども、今の堀内委員の関

連で、今後、もし地方債の発行が可能ということですが、もしそうならば、投資的事業を行うことができるということによろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 地方債と将来負担との兼ね合いかと思いますが、いずれも初日の健全化判断比率で御報告しましたとおり健全な状態にありますので、今後も必要な投資ができる環境にあるというふうに思っておりますし、今までと同様、必要な事業のみをきちっと精査の上で世代間の公平性を保つために実施をしてみたいというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 市債に関連しての確認なんですけど、地方交付税が増えて臨財債が減少しています。臨財債は満額発行が前提ですが、これに見合う財源は、ほかにはないと考えればよろしいのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 見合う財源ありません。御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、地方債の件で、実績報告書の8ページ、今回、地方債、いろいろな種類で、臨財債、減ってますけども、ほかの地方債もいろいろ増えているような状況ですけど、これらの事業の充当割合と交付税の算入の割合を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 事業の充当割合も交付税の割合もそれぞれ事業によって異なりますので、基本的には、緊防債であれば100%とか、ほかの公的債であれば90%とかそういった形で事業ごとに設定されているということになります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その事業ごとにどうなのかっていうことを教えてほしいんですけど。

（全部の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 全部。

○林 ゆきひろ委員 全部。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 全部。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） それでは、幾つか主なもの、大きなものを説明をさせていただきます。

例えば、令和5年度の起債でひまわり児童館の大規模改修工事というものがあって、これは90%の割合で起債を充当しているというところがございます。交付税の割合の当たり方は、半分ぐらい当たるものと、20%程度のものと2つ、2種類を使っているというところがございます。

ほかに大きなもので申しますと、館保育園の外壁とかの改修事業というものがあるんですが、これは、100%の充当率で7割の交付税措置の予定というふうになっております。

あと、間米南部土地地区画整理事業は、90%の充当率で、起債充当率で、交付税措置がおおむね20%程度というふうになります。

主なものは以上になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかに質問、ありますか。

関連ですか。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この8ページを見ると、結構、例えば文化会館の改修事業ですと、結構利率が高くて、1.6%とかっていうふうにあるんですけども、これは、民間のそういったところの負債とかそういった借入れと利率を比較しているのかっていうことと、あと、ほかにも1%を超えるもの、結構あるんですけども、ほかのそういった銀行、民間のものと比較したりとか入札したりとか、そういったことってというのはされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、今、金利上昇局面ですので、過去に比べて金利が上がっております。

ただ、今回、一般質問で清水議員からもお話ありましており、金利が高いから市債発行をやめるとかっていう前提は間違っておりますので、世代間の負担の公平のために市債を発行しますので、単純な金利の増減で市債発行をやめるやめないとか、そういうことで

はありません。その上で有利な金利であることは確認をして、基本的には本市の財政運営は、様々な財政融資資金ですとか、なるべく有利な資金調達を行っておりますので、林委員御指摘のとおり、なるべく有利な形での借入れを検討して実施しております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それは民間とも比較しているというふうに認識していいのか、それから、入札とかは、そういったことは、してはないんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には公的な資金の調達のほうが有利な利率で調達ができますので、前提としては、そちらでの調達を前提にしております。その上で、それができなければ、民間の中で比較をして、有利なところで調達をするという形になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 決算報告書の60、61ページからお聞きしたいんですけど、まず、財調。令和4年度と令和5年度の財政調整基金繰入金の増減の理由についてお分かりになるなら教えていただきたいんですけども。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 増減の理由です、承知しました。令和5年度は、令和4年度より、御指摘のとおり、およそ9,200万円ほど繰入れが小さくなっております。4年度のほうが大きいというところでございます。

理由は、総論では、令和4年度は、コロナ対策の事業がまだ5年度より多かったですので、そのための財政調整基金の繰入れが4年度は多くて、5年度は、その分、ちょっと減っているという形になります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の基金の繰入金のところですけども、この公共施設の建設と福祉基金、それから、教育整備基金ですけども、それぞれの充当先、大きな事業だけで結構ですんで、どのように使われたのかお聞かせください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 財政調整基金の御質問でしたが、今は別の特定目的基金のほうですかね。

（3つの基金の声あり）

○財政課長（浦 倫彰君） 分かりました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待って、答弁。今、開いています。

○財政課長（浦 倫彰君） では、回答させていただきます。

それぞれ大きなものでお答えをさせていただきます。

令和5年度の、まず教育施設建設及び整備基金は、一番大きなのは館小学校の校舎建設及び電気給排水関連の工事への充当が最も大きくなっているというところがございます。

次に、公共施設建設及び整備基金でございますが、これは、防災調整池の治水対策事業への充当が一番大きな事業になっております。

次に、福祉基金……。

ちょっと失礼しました。全部、今、6年度でのお答えしてしまいましたので、ちょっと改めて訂正します、失礼しました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、元に戻ってお願いします。

○財政課長（浦 倫彰君） 失礼しました。

まず、5年度の教育施設建設及び整備基金からお答えをさせていただきます。

一番大きなのは新給食センターの用地購入事業でございます。

次に、公共施設建設及び整備基金は、区長要望工事への3,000万円分の繰入れが一番大きくなっております。

次に、福祉基金でございます。福祉基金は、旧沓掛保育園の解体が最も大きくなっております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 じゃ、関連ですけれども、決算カードを見ますと積立金が1,011万7,146円の活用が行われていますけれども、今後もこの活用、それから、積立てを増やして基金を活用して事業を進めていくという両立が必要ではないかなというふうに思いますが、認識として状況は健全であるというふうに思っているのでしょうか、認識しているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおり、基本的には初日の健全化判断比率の報告の

とおり健全であると考えております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の10ページで充当額の状況というところがあるんですけど、これ、三崎水辺公園の分電盤の設置工事費っていうのは、これ、新しくどこに設置したものでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは、新しくと申しますか、ちょっと壊れてしまったものを緊急で直したというものになります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

（はい、関連ですの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の福祉体育館になりますけど、よろしいですかね。これの水漏れの状況とか、どういった状況だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

（ちょっと違うよね、歳入全体の声あり）

○財政課長（浦 倫彰君） すみません、基本的には緊急での……。

よろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） はい。

○財政課長（浦 倫彰君） 緊急での対応をして回復をしておりますので、今は、そういう状況は直ってるというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 申し上げます。歳入全体の質問ということで御配慮ください。お願いします。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書29ページ、5款1項1目 株式等譲渡所得割交付金についてです。令和4年度の決算を見ますと6,200万円ということで大幅に増額したように見えるんですが、さらに令和3年度を見ると、その数字とは似たような数字という様子です。実績報告書の評価なんかにもあったんですが、この金額の増加についての何か評価のようなも

のがあったら、答弁いただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 株式等譲渡所得割交付金は、もともと県の見込みも増加するというふうに来ておりましたので、その見込みどおりかなというふうに認識しております。
終わります。

（じゃ、続けての声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 以前にも、これ、聞いてるんですけど、個人と法人、多分、まとまった形だと思うんですが、どちらかがとりわけこの増額の要因に結びついたみたいなのが特徴があったら答弁いただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今の株式の中でということでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 株式等譲渡所得割交付金については、もともと年度間の増減が大きい項目ではありますが、我々が所管している資料の中には個人と法人が分かれておりませんので、ちょっと回答はできません。申し訳ありません。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のとこの下の法人事業税の交付金ですけども、これもかなり昨年度と比べて増えてるんですけども、たしか昨年度、国の企業の全体的な税収と配分方法も変更したというようなお話ありましたけども、今回も結構増えてるんですけども、何か配分方法、また変更があったのかということと、なぜこんなにも増えているのか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 2つあって、最も大きな理由が、今も御指摘あった配分方法の変更でございます。その配分方法の変更によって本市にとっては有利な配分方法の変更になっておりますので増額をしているということと、税収全体も好調であるということが理由でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 具体的に本市に有利な配分というのは、どういう配分になってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 法人事業税割と事業従業員数割というのがあって、従業員数割のほうにどんどん割合を増やしていておりますので、本市のような市町村だと、従業員の割合のほうに有利に働いているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 すみません、また基金に戻ります。60、61ページの中の財調ですけども、他の財源と比較して、財政調整基金の繰入金の優先順位は、どのように決定されてるのか伺います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 財政調整基金については、単に、いわゆる当該年度のみならず、翌年度以降における財政状況を考慮して健全に財政運営を行うための手段として設けております。経済不況ですとかによる大幅な税収減ですとか災害の発生みたいなもので支出が増加したときに対応するものです。先ほど御質問いただいたようなコロナ対策などにおいても同様の事象だというふうに考えて、本市としては財政調整基金で積極的に事業が可能であったというふうに考えております。その点では、御指摘のとおり、財政調整基金については、ほかより、ほかにも重要な基金ではありますが、非常に重要な基金であるというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ真理子委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっと、ページ数は難しいんですが、ふるさと応援豊明寄附金に関しての、その市税に入ってくる部分の控除部分、市税へ本来入ってくる部分が控除額によって減収になってるわけですが、その減収額というのをここで聞いていいんでしょうかね、もし……。

（分かればいいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かりますか。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 令和5年度のふるさと納税寄附金の税額控除……。

(マイクの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) マイクが入ってない。ちょっと待ってね。ちょっと待ってね。

(はい、行きましょう、はい、どうぞの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) オーケー。

○税務課長(堅田直寛君) じゃ、すみません、改めまして、令和5年度のふるさと納税寄附金の税額控除につきましては2億2,500万ほどとなっております。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書31ページの一番下の交付税、地方交付税についてですけども、普通交付税が増えているのは臨財債の発行可能額が減ってきて、国のほうも現金ができてきたので普通交付税が増えたのかなと思うんですけど、その理由でいいのかということと、もう一つ、特別交付金のほうも増えているんですけども、こちらのほうは、どういう理由による交付税で、なぜ、今回、増えているんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浦課長。

○財政課長(浦 倫彰君) まず、普通交付税の増加については、基本的には御指摘のとおり……。

(臨財債の声あり)

○財政課長(浦 倫彰君) 臨時財政対策債が減少して、現金で発行できるようになっているということが理由でございます。

特別交付税につきましては、メニューによって増減がすることがあって、今回は本市がその前に行った事業で該当するものがあつたので増加しているということになります。

終わります。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 以上で……。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 意見書の13ページの不納欠損の処分状況という下の段があります。令和4年度と5年度の比較が出ておりまして、件数の増とかあるんですけども、この状況をどのように捉えて分析されているかということと、あと、この表の一番下の地方税法第18条第1項の部分、令和5年度123件ということで、こちらも増になっておるんですけど

も、その5年時効について、その代表的な、中身のその個人とかではなく、代表的なものを伺えたらと思うんですが、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 令和4年度から令和5年度への差でございますけども、特別な理由があるというふうには認識しておりません。滞納分のうち、時効を迎えたものが今回の数字となって現れているというふうに認識しております。

もう一つでございます。

5年の時効でよろしかったですか、ごめんなさい。

（18条ね、18条の声あり）

○債権管理課長（高垣茂晴君） 代表的なもんですね。地方税法第15条7……。

（第18条の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 18条。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 18条ですね、すみません。

こちらは、これも徴収権が5年経過したものということになっておりまして、当然、財産調査、それから、納税折衝を行った上で5年経過したということでございます。特別な何か特別な理由があったというものは、上の2つで処理することがございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連ですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 何度もすみません。じゃ、その特別な理由というほうの上の地方税法第15条のほうで御説明願います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） すみません、15条の4項につきましては、滞納処分の執行停止を決定して3年経過した。こちらは、財産調査を行いました、財産がないというものが主なものでございます。

その次、15条の7の第5項でございますけども、課税した税金を徴収することができない、例えば、納税義務者が亡くなられて、その方に相続する方が見えないとか、あと、法人ですと、事業がほぼ休業状態ということで、もう将来的にも取ることができないということが明らかなきに即時欠損という形で行っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の31ページのところなんですけど、9款の地方特例交付金っていうの、これ、どのような交付金で、減ってきた理由、教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 地方特例交付金については、主な内容が住宅ローン減税分になりますので、そういったものの影響によります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書41ページの真ん中辺りのコロナの対応創生臨時交付金と物価高騰の創生臨時交付金ですけども、これの主な使途、それから、今回、資料請求で一覧したんですけども、その一覧っていうのはないんでしょうか。主なものだけで大丈夫です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） コロナの主なものを、では、お答えをさせていただきます。

5年度決算なので5年度の事業について、コロナ対策で、ちょっと本市が行ったものを主に回答をさせていただきます。

よろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

どうぞ。

○財政課長（浦 倫彰君） いいですかね、すみません。

住民税非課税世帯等に関する臨時特別給付金ですとか、出産子育ての応援事業ですとか、給食材料費の高騰への対応などや小規模店舗利用促進事業などでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 資料要求に対する資料がないのかという御質問ですけれども、まず、1つ目、コロナウイルスのほうはホームページに出ておりますのでということです。

それから、物価高騰のほうは、5年度、6年度、セットでやっております、まだちょっと出せる状態になっていないということで御容赦いただきたいと思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、課長が説明していただいたのは、コロナのほうですかね、物価

高騰。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 両方説明したよ。

○林 ゆきひろ委員 両方合わせての説明なんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 両方説明されたよ、今。

○林 ゆきひろ委員 今、だから、全部、だーっと事業を言われたんですけども、それはコロナのほうなのか、物価高騰なのか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、まとめてお答えをさせていただいております。終わります。

（まとめたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて一般会計の……。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の24、25の固定資産税で、今回、大幅に増なってますけれども、これはどういった状況というふうに分析してますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 固定資産税につきましては、まず、納税義務者数が、土地、建物とも増となっております。

土地につきましては、特に令和5年度から間米南部地区が区画整理行われまして市街化区域に編入しております。そういったことの評価見直しも影響しております。

家屋につきましても、一般住宅の新築件数が伸びていることと、あと、工場や倉庫が新築されておりますので、それで床面積が増えたということで増となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて一般会計の歳入全体の質疑を終わります。

次に、一般会計の歳出に入る前に、職員の人件費について一括して小串部長より説明願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 令和5年度の職員給与費の決算につきましては、事前に配付させていただいております決算資料ナンバー2に沿って説明いたします。

特に前年度と比較して増減、増額、減額となった理由を中心に説明させていただきますが、一般会計及び各特別会計間は、職員の人事異動によっても前年度との差が生じますので、全会計の合計で説明を行います。

また、表の括弧内で示している金額は、特別職の給与費を除いた額を示しておりますが、説明は、特別職の給与費を含めた総額で行います。

それでは説明に入ります。

令和5年度職員総数は、市長以下、再任用職員を含め445名です。前年度より11名の減となっております。

給与費の支出額合計は24億7,888万4,087円で、前年度と比較して1.3%、金額にして3,241万円余の増額となりました。

次に、表の各項目について説明いたします。

2、給料の決算額は14億8,755万1,399円で、前年度と比較して244万円余の減額となりました。減額の主な要因は、職員数の減によるものです。

3、職員手当等の令和5年度決算額は9億9,133万2,688円で、前年度と比較して3,485万円余の増額でした。

扶養手当の決算額は3,103万3,670円で、前年度と比較して203万円余の増額でした。

地域手当の決算額は1億5,393万1,245円で、前年度と比較して21万円余の減額でした。

住居手当の決算額は1,382万4,551円で、前年度と比較して55万円余の減額でした。

通勤手当の決算額は1,972万2,158円で、前年度と比較して89万円余の減額となりました。

特殊勤務手当の決算額は55万7,325円で、前年度と比較して6万円余の減額でした。

超過勤務手当の決算額は6,845万8,240円で、前年度と比較して1,118万円余の減額でした。

管理職手当の決算額は5,216万8,309円で、前年度と比較して15万円余の増額です。

期末手当の決算額は3億5,310万5,929円で、前年度と比較して3,285万円余の増額でした。

勤勉手当の決算額は2億7,849万5,261円で、前年度と比較して1,152万円余の増額でした。

管理職特別勤務手当の支給はありませんでした。

教員特別手当の決算額は11万1,000円で、前年度と比較して23万円余の減額でした。

児童手当の決算額は1,992万5,000円で、前年度と比較して144万円余の増額でした。

決算資料ナンバー2の説明は以上となります。

なお、歳入歳出決算書に記載されております人件費につきましては、所管ごとの管理ではなく、予算科目の管理となり、前年度比較の増減は、全会計におきまして配置職員の属人的要因になるものが主なものになります。

説明は以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、職員の人数が減っているんですけど、減っている理由と、一方で、この一番下の合計見ますと、合計のその給料とか支払いの金額は減ってるんですけども、その要因は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） まず、職員が減っているのは、再任用職員の人数が減っていることで、任期を迎えてということで、再任用職員の、それで人数が減っております。

金額が人数が減っているに関わらず合計が増えてるってことですが、期末手当とか勤勉手当の月数も昨年増えてますし、職員の給料についても人事院勧告によってアップがされておりますので、結果、増えた、合計としては増えている形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかに。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連、中堀委員。

○中堀りゅういち委員 人勸で増えたってということは、一番最初の給料の部分が減ってるというのがちょっとおかしいかなと思ってるんですが、どういった関係で、こっちは減ってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 人数は11人減ってるんです。その割に全体で給料が240万円余りしか減っていないっていうところは、残っている職員の給料が上がっているっていうふうにお考えいただければと思います。

（高くということですかの声あり）

○秘書広報課長（伊藤克代君） はい。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、再任用の短時間の方が減ってるから全体として減ってるってことなんですけども、この減ってるんですけども、その減った分っていうのは、一般職等で採用とかは考えなかったのかっていうことと、資料ナンバーの3の2、これ、会計年度職員の人数ですけど、こちらも減ってるんですけども、代わりにそういった会計年度を採用するということにはならなかったんですかね。

それと、この会計年度任用職員のこの減ったのと、この再任用短時間の方が減ったというのは、これ、別々の人でっていうふうで理解してよろしいですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 再任用職員が減った分を正職員で雇わなかったのかということなんですけども、職員の採用につきましては、もちろん定員管理計画に基づいて努力はしておりますが、減った分が全員にすぐ採用ができるというものではなくて、結果的に、5年度は、4年度と比較して再任用分が減ったと。正職、一般職、特別職については同数でいっておりますので、一般職で退職した分は採用で賄えているというふうに考えていただければと思います。

あと、会計年度につきましても、募集はしていてもなかなか埋まらない部署もありまして、それから、会計年度は、単純に人数を足しておりますので、1人分の仕事を会計年度2人で割ってやっているとかそういうこともございますので、人数については、ちょっとそういったことで増減があるかなというふうには考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、ちょっとお聞きしたいんですけども、たしか本市は早期退職勧告という制度があったような気がするんですけども、それで退職された方っていうのは、いるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 令和5年度中は、そういった方はございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて職員の人件費関係の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明の入れ……。

浦課長、補足ですか。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど、私、コロナと物価高騰のところで事業をお答えをさせていただいたんですが、1つ、恐らく、ちょっと別の補助金が充当されている事業をお伝えしてしまったので訂正をさせていただきます。申し訳ありませんでした。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） そうだと思ったんだ。

○財政課長（浦 倫彰君） 出産・子育て応援事業が該当というふうにお伝えしたんですが、恐らく、それは別の補助金です。申し訳ありません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） そうだと思った。

○財政課長（浦 倫彰君） 大きな事業でいえば、ほかには小中学生応援給付金ですとか物価高騰対応重点支援給付金のほうが物価高騰対応でやっていたかなと記憶しております。申し訳ありませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ここで理事者側の説明の入替えのため、5分間……。中堀さん、いいですか。

5分間休憩いたします。

午前10時54分休憩

午前10時59分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

続いて、歳出に入りますが、今後につきましては、議事進行に合わせて関係職員の入替えのため休憩を入れる場合もありますので、御承知おき願います。

それでは、1款 議会費について説明を願います。

加藤議会事務局長。

○議会事務局長（加藤健治君） それでは、1款 議会費について、歳出の決算を御説明いたします。

決算書の76、77ページをお開きください。

76ページ上段、1款1項1目 議会費です。

77ページの支出済欄を御覧ください。

議会費、歳出決算額は2億2,025万2,060円です。対前年度では100.7%、約150万円の増額となっております。増額の主な原因は、前年度、令和4年度にはコロナの影響で行っていなかった行政視察について令和5年度に再開したため、調査費に約85万円の支出が生じたということによるものです。

以上で1款 議会費の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

1款 議会費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の23ページになります。これの上の人件費の中の共済費で退職年金と遺族年金の方は何名ずつお見えですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤局長……。

（後ろ、後ろ、深草課長の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ごめんなさい、見えなかった。見えんのだわ、ここから。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） それでは、御回答さしあげます。

退職年金のほうは9名、遺族年金のほうは21名でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて1款 会議費の……。

（議会費の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 議会費の質疑を終わります。

続いて、2款 総務費について、順次、説明を願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 行政経営部の歳出を説明いたします。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書25ページをお願いいたします。

2款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費の中の財政課所管であります契約検査事業は決算額293万609円で、前年度と比較し15万円余の減額で、おおむね横ばいです。

下段、2目 秘書人事管理費は決算額8億6,965万1,495円で、前年度と比較し2,748万円余の増額でした。増額の主な要因としましては、令和4年10月から会計年度任用職員及び再任用短時間勤務職員が共済保険適用となったことによる職員共済組合負担金の増によるものです。

次に、27ページをお願いいたします。

4目 広報費の決算額は1,605万928円で、前年度と比較し315万円余の増額でした。主な

要因は、広報紙の印刷製本費の増で、物価高騰の影響によるものです。

中段、5目 財政管理費は決算額1,313万7,438円で、前年度と比較し356万円余の増額でした。令和4年度10月に財務会計システムの更新を行いました。使用期間を延長し、令和4年9月までは無償譲渡によるライセンス料の支払いでリース料が生じていなかったためです。

続きまして、29ページをお願いいたします。

7目 財産管理費の中の行政経営部所管であります公共施設管理事業は、決算額9億8,642万8,653円で、前年度と比較し1億2,738万円余の減額でした。減額の主な理由としては、前年度に本庁舎の外壁等改修工事といった大型工事があったためです。令和5年度の主な事業としましては、旧杳掛保育園、旧どんぐり学園の園舎解体工事、西部保育園の園舎改修工事、中学校におけるトイレ改修工事、二村台小学校の外壁等改修工事などを行いました。

続きまして、31ページをお願いいたします。

8目 企画費は決算額9,522万5,679円で、前年度と比較し94万円余の増額でした。これは、主に新規で行ったバス停への木製ベンチの設置や実証で行った高齢者へのタクシー初乗運賃助成事業によるものです。

次に、32ページをお願いいたします。

10目 市民相談費の決算額は406万4,992円で、前年度と比較し40万円余の増額でした。主な要因としましては、相談業務を行う会計年度任用職員1名の報酬等によるものです。

続きまして、35ページをお願いいたします。

12目 電算管理費の決算額は1億6,755万5,952円で、前年度と比較し5,258万円余の増額でした。エクセル、ワード等のオフィスライセンスの更新に伴う消耗品費の増や文書管理電子決裁システムの導入に係る委託料の増などが主な要因です。また、長期継続契約の締結により、連続帳票用のページプリンター、NLP等帳票処理装置の更新及び仮想基盤の追加調達を実施し、庁内システム等の安定稼働に努めました。

次に、翌年度繰越額、不用額について説明いたしますので、決算書のほうの78ページ、79ページをお願いいたします。

2款 総務費、1項 総務管理費、2目 秘書人事管理費の4節 共済費の不用額1,714万5,990円は、負担金率確定によるものでございます。

86ページ、87ページをお願いいたします。

7目 財産管理費、11節 役務費の繰越明許費193万6,000円は、アスベスト調査の手数料でございます。

その下の12節 委託料の繰越明許費4,131万8,000円の主なものは、園舎解体工事に伴う事業損失事故調査委託料でございます。

さらに、その2つ下、14節 工事請負費の繰越明許費1億1,611万9,000円の主なものは、栄中学校エレベーター更新工事費でございます。それぞれの右側、不用額は執行残でございます。

なお、実績報告書10ページに掲載の充用額の状況は、行政経営部所管部分についてはございません。

説明は以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

2款 総務費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

（まだ、次の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ごめん。まだ終わっとらん。まだ大分かかったね。

近藤課長、すみません。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） それでは、出納室所管部分について説明をさせていただきます。

決算書は84ページ、実績報告書は28ページをお願いいたします。

説明は、実績報告書のほうで進めさせていただきます。

6目 会計管理費であります。決算額は2,226万7,286円でございます。前年度比約4万円の増で、例年どおりの事業内容となります。支出の大部分を占めますのは電算関係委託料で約1,500万円で、34万件の歳入処理をいたしました。

以上で出納室所管部分の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 平下局長。

○監査委員事務局長（平下義之君） 続きまして、監査委員費について説明します。

実績報告書の41ページを御覧ください。

6項1目 監査委員費の決算額は約2,423万円で、対前年度比109.5%です。主なものは、監査委員の報酬と監査委員事務局職員の人件費です。

監査の実績につきましては、定例監査、例月出納検査及び決算審査を実施しました。

以上で監査委員費の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤部長。

○市民生活部長（伊藤正弘君） 引き続きまして、2款 総務費のうち、市民生活部所管

分の主なものについて御説明をさせていただきます。

実績報告書25ページを御覧いただきます。

2款1項1目でございます。一般管理費のうち、総務課所管になります庁舎管理事業では、長期継続契約の更新などで対前年度比の150万円ほど増額となっております。

続きまして、26ページです。

3目 文書費です。対前年度376万円余の減額となりました。行政手続整備支援業務委託としまして、行政手続の処分に係る事務手続の見直しを行いシステムに反映をさせております。併せて、審査基準等について公表をしております。

続きまして、28ページを御覧いただきます。

7目 財産管理費のうち、市民生活部所管の庁舎維持管理事業の光熱水費につきましては、対前年比570万円ほどを減額をしております。

続きまして、32ページをお願いいたします。

11目 市民活動推進費は、対前年度1,214万円余の減額となりました。主な理由でございますが、前年度は共生交流プラザのオープン初年度でありまして、追加整備した備品等の支出があったことによるものでございます。

続きまして、36ページをお願いします。

13目の防犯対策費でございます。対前年度約93万円の増額となりました。主な要因ですが、防犯カメラの新設、増加によります設置費補助金の増によるものです。

続いて、同ページの下段、2項1目の税務総務費でございます。対前年度で615万円余の増額となりました。要因としましては、森林環境税等に対応するためのシステム改修による増額などがございます。

続きまして、37ページです。2目の徴収費、対前年度2,410万円余の減額となりました。主な要因は、納税等システム関連の改修がなかったことによるものでございます。

続いて、37ページの下段、3項1目 戸籍住民基本台帳費は、対前年度6,066万円余の減額となりました。主な理由は、戸籍総合システム更新事業とコンビニ証明書発行交付事業に係る電算関係委託料の完了によるものです。

続きまして、39ページをお願いします。

4項の3目 愛知県議会議員選挙費は、対前年度で382万円余の増額となりました。理由としましては、無投票となりました令和5年3月31日告示の愛知県議会議員選挙の執行経費でございます。

続きまして、40ページを御覧いただきます。

4目 市長・市議選挙費でございますが、対前年度で2,895万円余の増額となりました。

主な理由は、令和5年4月16日告示の市長選挙は無投票、市議選挙は4月23日に投開票を行った市長・市議選挙の執行経費でございます。

続いて、その下、5項3目 諸統計調査費でございます。対前年度で335万円余の増額です。主な理由は、10月1日基準日の住宅・土地統計調査の執行経費でございます。

続きまして、42ページをお願いいたします。

7項の1目 交通安全対策費は、対前年度約9,706万円の増額となりました。主な理由は、令和4年度に自転車駐車場整備センターへの駐輪場再整備事業負担金8,800万円を支出しまして、令和5年度以降は、駐車場の管理に伴う負担金がなくなったことに伴う減額でございます。

なお、主要委託事務は105ページから、また、主要補助事業は123ページから、主要工事については129ページに掲載をしております。

以上で2款 総務費のうちの市民生活部所管部分の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

2款 総務費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の77ページです。その2款1項の庁舎管理事業、真ん中辺なんですけど、その委託料の庁舎警備委託料814万8,360円と、こちらにもらった令和5年長期継続契約の締結一覧表っていうのあるんですけど、これの一番上なんですけど、これが金額がちょっと違うんですけど、これってどういったことになるんでしょうか。分かります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かりますか。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらの庁舎警備委託料につきましては、長期継続契約の分、プラス、あと、機械警備に関するものも入っておりますので、金額のほうが少しずれているという状態になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、昨年度と比較して、今回、契約更新もあってだと思うんですけど上がってるんですけども、その上がったのは人件費の上昇っていうことで理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 委員のおっしゃるとおりです。

ただ、今回、この入札につきましては、業者のほうが変わっておりますので、もし同じ業者とか業者の選定をしっかりとやらなかった場合はもう少し上昇が見込まれましたけども、今回、しっかりと業者選定、あと、入札の効果も働いておると思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、長期継続契約で5年契約をしてるんですけど、昨今ですと人件費が上昇してきていますけども、これは、都度あれですか、人件費が上がってくると更新とかっていうのをされないんですかね。もうこの金額でやるっていうふうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちら、予算を組むときに既に3年先までの人件費を見越した状態で見積りのほうを取っております。消費税の変更とかそういった社会的なものが出た場合につきましては変更契約ということもありますけれども、人件費が上昇したということは既にここに盛り込まれておりますので、基本的には3年間同額っていう状態です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 見込んでっていうことなので、公契約条例であるのかな……。その実際に人件費がどのようになってるかっていうのは市は確認してるんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） すみません、ちょっと公契約条例の中身については、ちょっと私どものほうではお答えができないんですけども、今、財政課のほうが挙げてますので。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） その公益契約条例に入る前の基本的な部分については、先般の一般質問で清水委員のほうに御回答させていただいておりますとおり、基本、山田課長がお伝えをしたとおりなんですが、見込めないような事象があった場合、相手方からも申出があるかと思っておりますので、そういったものに基づいてしっかりとっていくというのが我々のスタンスでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の79ページの上の段の行政不服審査制度補助業務委託料のこの22万なんですけど、4年度のときは11万だったんですけど、これ、今、2倍になってるんですが、これは何か審査請求があったのか、何回分っていうその違いでなってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらですが、行政不服審査が行われた場合、現在、東郷町のほうで、日進、東郷、豊明で3市町で合同で審査のほうを行っております。そこの案件の件数が増えたということで単純に金額が増えておる、そういった回答とさせていただきます。以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。
浅井委員。

○浅井たかお委員 同じところの負担金……。ごめんなさいね、この委託料のところの負担金、補助及び交付金というのは、それはどういうものでしょうか。これは、1万円なんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 質問、質問。

○浅井たかお委員 質問です、はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらは、共同で、先ほど御説明しましたとおり審査会のほうを行っておりますので、そこの審査じゃない部分の負担金となっております。以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 同じ決算書の79ページの下段、秘書人事人件費のところの公務災害補償費1,355万250円っていうのがあるんですけど、4年度は3万3,244円、これはどんな災害があったものなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 5年度のこの支払いにつきましては、5年度中にあった事故ではなくて過去に……。以前にもどこかのタイミングでお伝えしたと思うんですけども、職員が帰りの途中で事故に遭われて、交通事故に遭われて亡くなられたっていう件がありまして、それについての補償がまとまりまして5年度に支払いを済ましたという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の31ページ、ひまわりバスなんですけれども、昨年よりも利用者数が伸びてるんですが、循環バス運行負担金のほうは減ってるんですけども、その要因は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これ、誰が……。萩野課長でいいの。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） ひまわりバスの負担金なんですけども、4年度から6年度までの債務負担をお認めいただきまして、その3年間の契約でなっておりますので、負担金のほうは、さほど変わってないという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 その下も同じようなことですかね。チョイソコとよあけ、31ページのところなんですけど、チョイソコとよあけも昨年に比べて利用者数130人伸びてるんですけども、乗合交通負担金のほうは大分減ってるんですが、同じ理由でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） チョイソコのほうは5年度から事業者のほうが変わっております、新しい業者のほうが運行の負担金のほうをかなり下げておりますので、その結果、今回、決算としては下がってる形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 実績報告書の43ページの交通安全対策事務事業の交通指導員7名を主要交差点に配置してあるんですけど、これ、どういった方が、どんな形でやられたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは、以前から地域の子どもの登下校の見守りということで、普通の会計年度職員として我々は募集をかけまして、応募していただいた方を採用してるという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の31ページのひまわりバス運行事業で、木製ベンチ1台

当たり20万円ぐらいなんですけど、これ、一度設置してから、もう一回設置し直しましたよね。これの費用、設置し直した費用は、入ってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 入っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じく、ひまわりバスの件ですけども、このひまわりバス、令和5年度で通常の運賃負担以外で乗られた方、例えば定期だとかいろんな無料だとかがありますけれども、その割合というか人数というか分かればお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かるのかな。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） ちょっとそういった、ちょっと資料を今は持ち合わせておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 今、資料を持ってなくても、どこかその行政の中に資料があるということでもよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） じゃ、後ほど、お答えします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） この中がいいですか。この特別委員会の中がいいですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） はい。

ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 表についての質問になるかと思いますが……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もうちょっと大きな声でお願いします。

○岡島ゆみこ委員 表にな、表……。

（もうちょっと大きい声でお願いしますの声あり）

○岡島ゆみこ委員 表についての質問になるかと思いますが、主要施策の結果と実績報告31ページの9目 公平委員会費なんですけど、特に極端なので、この表の例で表の作り方について質問させていただくのはいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってくださいね。

いい、書式だもんね。

はい、どうぞ。

（いいんじゃないですか、要はの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） はい、どうぞ。今、副委員長の許可が出ましたんで、どうぞ。

○岡島ゆみこ委員 よろしいですか。いいですか。

この表が、左から、予算の現額、決算額、前年度決算額、対前年度比ってなってますけど、同じく、目ごとに掲載されてるので、ちょっと気になるんですが、右の2つ目、2つ、前年度決算額と対前年度比なんですけど、前年度の決算額と比較すると、一番右側の対前年度比が1,280%という数字が出てくるのですが、予算現額と決算額から執行率を出すと39.3%になると思います。決算の審査ですので、執行率が4割に満たないということに質問したいと思いながら、この1,280%が気になってしまいますので、この資料の前年度対比っていう決算額の年度間比較を掲載してるのは、なぜなのでしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってくださいね。

要は、この表示、パーセンテージの表示の仕方も含めて当局にお聞きしたいということですね。

○岡島ゆみこ委員 はい、その39%の意味も。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えれますか。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 委員のおっしゃるとおり、歳出において執行率や事業の成果などが決算審査の中心となるもので、決算額の年度間比較は、その増減額が大きいものは予算審査で終えているという点では、あまり意味をなさないのかなというふうにも言えるかと思えます。

今、御質問にあった、じゃ、何でこの右側の2つの項目、前年度決算額と対前年比を掲載しているのかということをおし上げますと、前年度の情報としては、ここに掲載している2つのみです。あとは全て令和5年度の決算の内容となっております。特に意図はありませんけれども、前年度決算については全く触れないということはしないで、この程度の掲載にとどめているということで御理解いただければと思います。ですので、決算額の年度間比較は、多くの場合、予算審査と同じことを確認する行為となる可能性が高いと思っております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） すみません、先ほどの浅井委員の質問のところでちょっと誤りがありましたので、訂正をさせていただければと思います。

決算書の83ページの御質問のところですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

（79ページの声あり）

○総務課長（山田隆貴君） すみません、79ページです。申し訳ありません。

79ページの行政不服審査制度補助業務委託料のこの22万円っていうところですけども、件数が増えたのには違いないんですけども、ちょっと私の解釈の誤りでして、審理員というものが置かれまして、その方が弁護士と相談をするときにお金が発生してきます。その回数が増えたため、その相談の回数も増えてきましたので、金額が2倍になっておると、そういったことになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員、よろしいですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 先ほどの話なんですけど、では、前年度の決算額と今回の審査対象となっている令和5年度の決算額を比較したような質疑は、あまり意味がないということになりますね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えられますか。答えられますか。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 全てではないんですけども、特に歳出で予算額が要因で決算額が増減しているようなものは、今、おっしゃられたようなことになるかなと思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっとだけ確認させてください。

要は、前々年度の決算と今回の決算を数字で比較するのは単純には比較しづらいですよ。たまたまそれが120だったり80だったりなるけれど、事業内容、それから、そのボリューム等はここには加味されて出てこないのという解釈でよろしいですか。

（あくまで予算、予算に基づいての声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 結局、予算に基づいた決算がここに表されてるという理解でよろしいですか。

(じゃ、留意して、留意してというの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 皆さん、留意していただけたと思います。

ここで出たりしてね。

いとう委員。

○いとうひろし委員 先ほどの実績報告書の31ページのそのひまわりバスの運行事業で、木製ベンチの再設置をしたときの要するに設置をし直した費用は、その20万円の中に入っているというような答弁でしたけれども、その再設置した費用は幾らぐらいで、どんな理由だったんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 萩野さん。

(手挙げてからの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 萩野課長。

○企画政策課長(萩野昭久君) ちょっと、金額は後ほどで、変更した理由は、車道に近い形で設置がしてあったものですから、ちょっと危ないんじゃないかっていう声がありまして、ちょっと車道から遠いほうに設置をし直したという形になります。

(場所を変えたの声あり)

○企画政策課長(萩野昭久君) そうですね、それも含めて、その中の費用に入ってる形に、全体の契約の中に入るとる形になっとります。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 先ほどの返事がいただきたいんですけども……。

お答えいただきたいんですが。9目、9目の……。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ページ数、教えてください。

○岡島ゆみこ委員 31ページ。

(何の31ページの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 何の31ページ。

○岡島ゆみこ委員 実績報告書の31ページ、9目の決算額の執行率が39%、公平委員会費なんですけど、なぜなんですか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 山田課長。

○総務課長(山田隆貴君) こちらの執行率が低い理由なんですけれども、予算現額も小さいこともあって、ちょっとパーセンテージにも影響が出てるとは思いますが、公平委員会の開催のほうで、実際、案件が出てきますと、委員1人当たり4時間までが5,000円、それ以上は7,200円といった報酬が出るんですけども、こういった審議のほうが行われておりませんので、その分の予算も見込んで、実際、予算を取得、取っておりますけれども、

やっていないため執行率が下がっていると、そういった状態となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

（はい、ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の公平委員会のところでなんですけど、決算書の95ページを見ますと、委員報酬で2万ありますので開催してると思うんですけど、何回開催しているのかということと、どういったことが、これ、公平委員会に出てますかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらですが、定例会というものは年1回開催をしております。これ、全国でどういった公平委員会の案件が審議されたかといったことを委員の皆さんにお伝えするために開いております。

それ、プラス、あと、今回は東京の出張が1件ありましたので、その分についても日当が発生しておりますので、合計で5,000円掛ける4ということで2万円が決算として金額が上がっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

こんどのお委員。

ごめんなさい。じゃ、先に萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 先ほどの清水委員からの御質問の回答なんですけども、ひまわりバスの年間の令和5年度の年間の利用者数が約1万5,000……。

（人ですねの声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） 15万9,000人で、単純、すみません、単純に、その方が全て料金を払うとすると、掛ける100円になるんですけども、実際の料金収入は約900万弱になりますので、先ほどの障がい者だったり中学生以下の形の人々の料金というのは、大体700万ぐらいになる計算になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 700万……。

（円の声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） 定期も含めて、ちょっとそこまで細かい資料がないということですので、定期と中学生以下、障がい者合わせた金額が700万ぐらいという形になり

ます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと定期絡めたんで意味が分かんなかった。定期って、たしか、金額発生するんじゃないかなと思うんですけども、それは、事業者さんのほうに、その運賃として入ってってっていうことでよろしいんでしょうかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） そうです、定期代として入っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

人数の差である程度は分かるわね。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の119ページ、7項 交通安全対策費の一番上、先ほど服部委員が少し触れられた交通指導員の報酬のところですか。一番上、660万で、役割は分かるんですが。そうですね、対前年で30万ほど減になっております。これ、何か日数の減なのか。よく、年度当初に、その人がいらっしゃらないということも聞いたことがあるんですけども、令和5年度は、その辺の定員と実人数というのか、その辺の不足はあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 減額要因ですけど、一部、栄小とかで辞められた方の補充がうまくいかない期間というのがありましたので、そういった影響が出てるものと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤部長。

○市民生活部長（伊藤正弘君） すみません、関連しましてといたしましょうか、冒頭でこの交通安全対策費の説明を私がさせていただいたときに、9,706万円、約9,706万円の増額というふうに言い誤りをしまして、正しくは減額でございますので、訂正をさせていただきます。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の26ページの派遣研修ですか、これでいろいろ行ってみえるんですけど、ちょっと大きいところで、市長と副市長のこういったセミナーの内容はどうだったのか。それと、あと、それでどのように行政に活かしたかありましたら、どう

ぞ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 効果。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 派遣研修の市長セミナーと副市長セミナーについてですね。

（はいの声あり）

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市長セミナーにつきましては市長のほうが行っておるんですけども、内容としては、官民連携による観光、地域活性化についての内容だったようです。

それから、副市長セミナーにつきましては、そうですね、人事評価に関する何か事例発表について聞いてきたというふうに伺っております。そうですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。伊藤課長、いい。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 引き続きはいいですか、後ろから何か。

（副市長の声あり）

○秘書広報課長（伊藤克代君） 副市長でお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、土屋副市長。土屋副市長、いいですよ。

○副市長（土屋正典君） 私は、たまたまこの場におるものですからね、話をさせていただきますけども、いわゆる人材育成の関係でございまして、いわゆるどういったような形で人材を育成していくかと。そこにはある種、働き方改革とかやりがいととか、例えば豊明市、行政と市議会の関係とか、そういったものも含めて、要は職員の士気を高めていきたいと思いますという、全般的にはそういったような研修でございました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書で43ページなんですけども、交通安全対策費、区長要望のところ、29件ありますけれども、実績金額と要望残が分かれば教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらの区長要望は、県への要望になりますので、実績金額、市のほうの金額というのはございません。ここは、愛知署を通じて県のほうに要望して、県のほうで交通対策、横断歩道設置とかそういったところを検討していただくものになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績報告の30ページなんですけど、南部公民館の図書室機能拡充事業なんですけど、拡充されたことによって、利用者の利便性とかはどのような成果が得られていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 図書館の……。

○岡島ゆみこ委員 南部公民館の図書館。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 南部公民館、利便性が上がりましたか、効果は誰が……。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 公共施設管理課のほうでは工事を主に行っておりまして、その利用の成果というものにつきましては、南部公民館を所管する部署でお聞きしていただきたいんですけど。

（10款の声あり）

○公共施設管理課長（中野忠之君） 以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 10款。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 10款になります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） では、10款で改めて聞いていただいていた方がいいですか。

（ありがとうございます、すみませんの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書25ページの秘書人事管理費のそこだと思んですけど、昨年の実績報告書には市費負担教員の数と、あと、特別支援教育指導員が載ってるんですけども、今回、なぜ載ってないのかってことと、人数も併せて教えてください。

（誰だの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市費負担教員につきましては、4年度、7名いたところを5年度は2名になっております。実際、その後、6年度にはゼロになっているんですけども、事業の内容としては、やっтерことは変わらないんですけども、特別に市費でやるような事業が県のほうでやるようになりましたので、市でやるってということがなくなって

きたので削っているという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

鈴木……。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連、林委員。

○林 ゆきひろ委員 すみません、今、特別支援の教育指導員、そっちのほうは答えがなかったんですけど、これはどうなってますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 失礼しました。特別支援のほうは1名です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の36ページの防犯対策費の真ん中の辺りに前後駅周辺に防犯カメラを設置し730万とあるんですけど、防犯カメラは、何基設置されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 防犯カメラ、20基です。

補足なんですけど、令和4年度に各3駅に10基ずつつけておりますので、結果的には前後駅は、現在、30基あるという状況です。

以上です。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の防犯カメラの設置で、こういうのと運用ルールっていうのは、どういった形になってるんですか。そういう何かあるんですかね、規則って。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 基本的には、運用は24時間ずっと画像を撮り続けて、犯罪とかが起きたときに警察のほうから公開請求が出ますので、そういったときに画像を提供するというような運用になっております。

ただ、命の危険とか緊急の場合には警察の要請を待たずに画像を見るということは起きますけど、結果的に、そういう案件になったことは、今のところ、ございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

(関連の声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと今の防犯カメラの運用で、例えば、地域とか区とかそういったところ、あとは、被害者の方とか緊急で見たいよということで申出があった場合は、これは開示できるっていうふうに理解していいですか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 川島課長。

○防災防犯対策課長(川島康孝君) 案件によりますけど、基本的には、そういう緊急とかいう案件には、まずは警察に行ってください、警察のほうから動いてもらうというのが一番重要なと思いますので、そういったルールで、基本は警察を通じてやっていただくと。どうしてもっていう場合は可能性としてはあるんですけど、まず、基本的には警察のほうから動いていただいたほうが安全ですし、実際、地区のためにもなると思いますので、基本はそういう形になってます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 青木委員。

○青木けんじ委員 前後駅の台数が大幅に増えたということで、もうほぼほぼ死角的な部分はもうなくなって、安全面では十分になってるということによろしかったでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 川島課長。

○防災防犯対策課長(川島康孝君) 委員のおっしゃるとおりです。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の109ページ、4目 市長・市議選挙費の選挙公報配布業務委託費、109ページ、122万1,000円で、決算書のほうですと113ページに同じ項目があるかと思うんですが、こちらは132万120円っていうふうにあるんですが、決算書、私の見方が違ってたら教えてほしいんですが、この数字の違うのは、何かほかに含まれてるんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 誰が……。

山田課長。

○総務課長(山田隆貴君) 申し訳ありません、最初の冊子は、どちらのほうですか。もう一度ちょっと御確認をさせていただきます。

(ごめんなさいの声あり)

○総務課長(山田隆貴君) 決算書のほうは確認できております。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の109ページの上の、一番上の4目 市長・市議選挙費の中の一番上の枠、選挙公報等配布委託料の決算額が122万1,000円となっているものと、先

ほどの決算書のところなんですけど、何か加わっているんでしょうかね、金額のところ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加わってる……。何と比較して加わってるって……。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 後ほど、お答えをさせていただきます。一度、確認をさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書99ページ、2款1項11目 区長ファクス設置補助金がとうとうゼロ円です。やめたらって言ってきてたんですけど、この令和5年度の結果で、いかが思ってますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） やめたら……。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 区長ファクス補助金でございますが、令和5年度については実績がなかったということになります。

以上です。

（そうじゃなくての声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） やめたらって。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の26ページの一番下なんですけど、行政手続整備支援業務委託というので先ほど部長からも説明あったので、もう少し何をやったのかというようなことと、具体例とかあるのかなというのと、あと、公表というのはどこでされたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらですが、先ほども部長のほうからも説明がありましたとおり、案件については1,000件ぐらい、処分とかそういったものを個票のような形でまとめたものというふうになっております。

例えば、分かりやすいものですと、我々総務課で管理しております庁舎管理をするときに、どういったものであれば庁舎を貸し出すことができますよとか、それに対する審議期間は大体15日ぐらいいただければお答えのほうが出せますとか、そういったものを1,000件ぐらい、市の業務全てに対して再構築したものというふうになっております。

こちらの公表されている場所ですが、私も確認してきましたけど、市民コーナーのほうの下のほうのところに、同じような案件名でファイル、10センチドッジファイル1冊が入

っておりますので、そちらのほうで公開をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書35ページ、真ん中辺りなんですけど、チャットGPTの本格利用を開始したということで、たしか挨拶文の作成などで利用できるというお話だったと思いますが、具体的に令和5年度を通して、職員の省力化、何時間分の効率化、削減効果が見込めたというようなのが分かったら教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

長野課長だね、長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） チャットGPTのほうですけども、9月補正のほうでお認めをいただきまして、10月から運用のほうを開始をしております、月に200万文字上限というコースで利用のほうをしておるんですけども、実績のほうは月10万文字程度ということで、率にすると5%程度で、今のところ、あまり利用されてない状態にはなっておるんですけども、ちょっとその辺の御利用している内容が、ちょっと分からないので詳しくはお伝えすることはできないんですけども、ちょっとまた利用拡大に向けて、ちょっと利用促進のほうをしていきたいなとは思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 すみません、自分でその審査に関わっておいてあれなんですけど、決算書で、今、お話があった費用、チャットGPT利用に係る費用は、どの部分かを教えていただきたいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かりますか。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 決算書で……。決算書の101ページの使用料及び賃借料のASP等使用料、この中に、チャットGPTのオプションの使用料になりますけれども、こちらのほうに入っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 じゃ、その幾らなのかが分かったら、その金額も知りたいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 令和5年度は導入の初期費用投資もありますので、

それを含めて68万2,000円執行しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

ごめんなさい、山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 先ほど、ふじえ委員より御質問いただいた金額の差の件です。

こちら、実績報告のほうの選挙公報等配布委託料122万1,000円につきましては、こちら、純粹に選挙公報の分だけが入っております、決算書のほうにはもう一つ、ものが入っております。そちらにつきましては、選挙を執行する際に資材の輸送をシルバー人材センターに行っておりますので、差額の9万9,120円がそちらのシルバーさんにお支払いしている資材の配布委託料というふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料の資料ナンバー3の1、令和5年度時間外勤務報告書って、ここでいいんだよね。違う……。資料ナンバー3の1です。令和5年度のほうの時間外勤務の、ずらっと出てるんですが、1人当たりの平均時間で見ても課によってすごく差があるわけです。令和4年度と比較して、令和4と令和5、もともとその残業、時間外勤務が多いっていう課の特徴もあるんですが、その中でも特に見て、真ん中から少し下の農業政策課のところがあるんですが、半分より下のところに、1人当たりの平均時間215.5時間、これは対前年に比べても多忙になってるんですが、この多くなってる要因というのは何かあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 農業政策課の時間外勤務、令和5年度が4年度と比較して増えている主な理由としましては、令和5年度に特別な業務があったということなんですけど、例えば、地域計画関連の業務、策定する業務であったり、あと、農業委員会の改選もありましたので、その業務、あと、システム関連業務に関して時間外勤務が増額、増えたというふうに報告を受けております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の91ページの財産管理費の手数料で1,400万ってあるんですけど、これはアスベスト等の関係……。全額、これ、アスベストの関係でよかったのかと

ということと、実際に、これ、いつも改修するときにはアスベスト調査してるんですけども、アスベストというのは、その調査した結果見つかったってそういう事例は、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 公共施設、中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 手数料の主なものとしますと、アスベストの調査が主なものになります。アスベストの調査のほうは、今、工事をする場合、撤去する場合、必ず調査をしております、含まれてるという報告もあります。

今は、その昔と違って、その吹きつけ剤ではありませんので、その調査の対象が、やはりその塗料の中に含まれてるってということもありますので、かなりのものでアスベスト、含まれてるという報告はいただいております。

以上になります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その見つかったるものもあるということなんですけども、そういう調査の中で工事する上で飛散するおそれがあるようなものはなかったってことでのいいの。もしそのおそれがあるのであれば、そういった飛散しないような工事体制をしないといけないと思うんですけども、その辺りもしっかり確認しているかということと、あと、金額が、先ほど、主にアスベストってということなんですけども、1,400万って、結構、金額が高いんですけども、アスベスト調査でいうと、幾らなんでしょうか。

（二村台も出てますの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） 後ほど、お答えします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の27ページですね、広報費で2番目のホームページ管理っていうのが、ついてに質問したいんですけど、これ、ホームページ見ると、一番下にページの御意見っていうのが出ますよね。役立った、どちらとも言えない、役に立たなかったって、そういうのあるんですけど、これ、どういった結果が出て、分析して、反映、何かさせているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） ちょっと、後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 後ほど。

こんどうのぶお委員。

○**こんどうのぶお委員** ホームページ管理になるのかちょっとあれなんですけど、LINEってやってますよね、今、豊明市で。そのLINEの登録数とかそういうのを教えていただきたいのと、あと、費用、これ、かかっているんですかね。その辺、お願いします。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** 後ほど。

伊藤課長。

○**秘書広報課長（伊藤克代君）** LINEの公式豊明市の公式LINEの登録者数としましては、今、5年度末現在ですけれども、およそ3,300人ほどの方が登録していただいております。

以上です。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** こんどうのぶお委員。

費用、ごめん。LINEに係る費用。

（はいの声あり）

○**秘書広報課長（伊藤克代君）** 無料で使える範囲でやっておりますので、費用はかかっておりません。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** こんどうのぶお委員。

○**こんどうのぶお委員** 3番目のチャットボットっていうのがホームページ上にあると思うんですけど、これの使用頻度って、どのぐらいあるんでしょうか。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** チャット……。

（ちょっと待って、あるんだけどの声あり）

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** はい。

○**秘書広報課長（伊藤克代君）** 後ほど、お答えします。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** はい。

中野課長。

○**公共施設管理課長（中野忠之君）** 先ほど質問のありました手数料についてです。手数料の1,400万円のうち、約1,360万円ほどがアスベストの調査の費用になります。アスベストの調査をしまして、その結果は、アスベストが含まれてるものにつきましては、適切に処分のほうをしております。

以上になります。

○**決算特別委員長（近藤ひろひで議員）** 林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 31ページの企画費の民間活用推進事業についてですけれども、ここに民間活用事業推進アドバイザーから助言を受けたとあるんですけども、昨年度は何回、1回何時間ほどで、どういったことをアドバイス受けたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 令和5年度は3回で、オンラインでやっておりますので、半日程度ですかね、3件とも。

どんなことかっていうことなんですけども、ここの実績報告書の31ページに3つあると思うんですけども、事業的に。そこの全て公募前の仕様の確認など、そういった専門的な知見から助言などを受けております。

以上です。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、アドバイザーの方の報酬なんですけども、決算書で91、93だと思うんですけども、これ、どこに当たるんですかね。ちょっと見当たらないんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 決算書の91ページの下の企画事務事業の報酬のところです。企画業務の下とこの豊明市行政改革推進委員会等委員報酬の、この等の中に入っとる形になっとります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の32ページ、市民活動推進費で豊明まつり開催事業、この夏まつり、350万にかかった費用の内訳、多くが花火か警備費だと思うんですけど、その2点、内訳を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 夏まつりの委託でございますが、市からは花火の打ち上げ、そして、警備をお願いしているというような仕様になっておりますが、実際、決算額を見ますと、花火代で約360万円、警備代で220万円、合計580万円ほどの経費がかかっているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 33ページの上から2つ目の共生交流プラザの指定管理に関してですけども、まず、この指定管理事業者の収入、指定管理料以外の場所代といいますか、教室、活動室を借りるときの収入があると思いますけど、そういったものと、あと、イベントを開催すると、いろいろキッチンカーが入ったりとかそういったことがあると思いますので、そういう収入が幾らなのかっていうことと、それはどのように使われてるかっていうのは、

確認はできてるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 指定管理者の収入でございますが、大きく分けまして、利用料収入、それから、指定管理料、そして、その他収入というのがございます。そして、このその他収入でございますが、委員がおっしゃられるとおり、イベントの収入ですとか、例えば、自動販売機の売上げ手数料といったそういったものになります。これが大体300万円ぐらいございます。

指定管理者の収入の総合計でございますが、令和5年度の実績になりますと、約5,600万円ほどになります。それは指定管理料も含めてでございますが、この5,600万円で全体の例えば人件費等、また、清掃等の委託料を全て賄っているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そのように清掃だったりとか、人件費とか、その割合だったりとか、そういうものを市はチェックしているっていうふうに理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 指定管理者、年1回指定管理者審査委員会がございまして、決算のほうはチェックしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つお聞きしたいのが、ここの実績報告書ですと5,582万って書いてあるんですけども、97ページの指定管理料のほうを見ますと4,370万っていうふうに書いてあるんですけども、この差額っていうのは何なんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 指定管理料で払ってございますのが4,300万円になります。その他、利用料収入、その他、あと、事業者のほうで収益を上げておりますので、それを全体が大体5,600万円ぐらいの収入になつとるということでございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうなると、この4,300万、5,500万から4,300万を引いて1,200万ほどが利用料収入で払ってるっていう、そう理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 利用料収入につきましては、合計が大体1,400万円ほどございます。そのうち、公用利用分、これは指定管理料の中に含まれた形でお支払いしてお

りますが、それが大体400万円になります。なので、差引きで1,000万円ぐらいが利用料収入で入ってきてるといふことでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の27ページで、財政管理費の予算編成事務の中の令和6年度当初予算書が150部、去年230部だったんですけど、減った理由、何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 改選などがあつたときにちょっと多めに作つたりする場合がありますので、その理由でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の87ページ、庁舎維持管理事業の中の委託料のところですけど、機械等撤去委託料というので58万1,900円ってあるんですけど、これはどんなものの機械を、機械等ですけど、これ、撤去したんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらですが、工事等で発生する低濃度PCB0.5%以下のものが発生したため、それを処分したということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 同じく、87ページの、その今の質問のところの下の工事請負費ってところなんですけど、これが804万7,490円ってあるんですけど、これはどんな工事でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 工事の中身ですが、少しお待ちください。ちょっと資料を出します。ちょっとお待ちください。

すみません、お待たせしました。

工事の中身ですが、大きなものだけお伝えさせていただきたいと思ひます。大きなものとしましては、議員の皆さんが使われている会派室、そちらの空調のほうで故障しましたので、そちらの更新を西系統と北系統、3系統あるうちの2か所を換えさせていただいたというものが大きなものとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 また、同じく、決算書の87ページのまたその下のほう、公用車管理事業のところですが、備品購入費の自動車購入費で228万890円とありますけれども、これは入替えて買ったのか、また、この車種は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） こちらですが、公用車につきましては、入替えて行っております。今回、購入させていただきましたのは、軽のバン1台と……。

ちょっと待ってくださいね、すみません。少しだけお待ちください。すみません。

軽のバン1台と、あと、軽の乗用車1台ですね。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 そのすぐその下の原動機付自転車の購入費の32万7,140円ですけど、これは、どんな目的で買われたのか。それと、以前から原付っていうものは、あったのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 原付につきましては、もともと4台保有しておりました。主に認定介護とかで狭いところに入ったりとか、そういった調査員さんが使えるのに小回りが利くバイクのほうが有用だということで4台持っておまして、そのうちの2台が調子が悪くなってきたため更新をさせていただいたものです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の87ページの上から3行目のその光熱水費なんですけども、ほかの公共施設見ると比較的微増みたいな形になってますけども、この本庁舎の多分光熱費だと思うんですけども、だけすごく減っていて、600万ほど、この理由と、何か国からそういう電力補助とかが出てるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） まず、国からの補助というのは一般的なものしか出てないと思いますので、特に豊明市役所がもらっているということは、まず、ありません。

電気の使用量ですが、使用量につきましては、確かに昨年比93.23%、あと、料金につきましては前年度比84.06%ということで減少しております。

これはなぜかと言われると、ちょっとなかなか原因、つかみにくいんですけども、毎月

利用している量を取っておりますので、職員がきちんと電気の管理をしたりとかそういったふうで下がってきたっていうふうに認識をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、単価のほうは変わらない、ないしは、上がっていて、その電力量が減っているって、そう理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 電力の単価につきましては、毎年契約のほうを行っております。単価のほうは少し上がっておりますが、実際、電気の使用量が大幅下がっておりますので、料金のほうにも影響が出たということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の28ページの一番上、環境整備事業、中央競馬会より寄附をもらったということで2億3,849万円ですか。これ、道路備事業っていうんですか、これ、よく分からんですけど、学校整備事業って、この2つに使われたんですかね。あと、それぞれの割り振った金額と、あと、どこかという場所を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっと、あと、1つ、ちょっと訂正なんですけど、先ほど、私、予算の数のところ改選の増減というお答えしましたが、ひょっとすると単なる入札の減かもしれませんので、ちょっと訂正します。

まず、環境整備でございますが、本日配付をいたしました資料ナンバー2の4でお示しをしたとおりでございます。主な事業については、市道三崎14号の道路整備事業をはじめとした事業に充当させていただいておりますので、この資料をもって説明に代えさせていただきます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） すみません、今のページですね、28ページ上段の1行目、「道路備事業」になっております。これ、明らかに「整」が抜けております。申し訳ありませんでした。

（整備なの、何だの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 道路何。拡張って書いてある。

（あと、伊藤課長、答えいいのの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） さっきのペンディングになってるの、答えれますか。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） ホームページの評価のことですが、一応、令和5年度で回答があったうち……。回答があったのが1,400人ぐらいありまして、そのうちの約半数越えの方、52%ぐらいの方が一応役に立ったっていう回答はしていただいております。同じように、どちらとも言えない、役に立たないっていう回答もそれぞれございますが、このホームページ見た方が必ずそこにチェックしていただいているわけではないので、おおよそその方、見てもここになかなかチェックしていただけないと思うので、あくまで、そういった統計は取っておりますが、それを見て改善がどうかっていうのは、特にはやってはいません。

改善云々については、もう多分直接電話で、このホームページの内容がねっていうことをおっしゃられるので、それについては対応をするということはしております。

それから、チャットボットの使用頻度でございますけれども、1か月当たり、およそ170ユーザーぐらいで、チャットボットなので、聞いて答えが返してっていうことをしておりますので、1か月当たりのやり取りといたしましては、約740回というふうに数字上は集計はしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 長野課長、ペンディングの件、なかったですか。後ほどって言わなかった。

（まだ答弁できてないのって、ありましたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ないですか。

（もうないですねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、答弁漏れはないのね。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書37ページの真ん中の愛知尾三地区滞納整理機構についてですけれども、まず、これ、滞納整理機構に幾ら払っていて、差押え件数など分かれば、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 滞納整理機構には負担金として70万円お支払いしております。そして、豊明市から機構に移管した件数でいきますと、67件ございます。移管した

額でいいますと約4,500万円でございます。そこから納税いただけた分が約1,500万ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 差押え物件というのは特になかったっていうふうに理解していいのかということと、あと、金額が、先ほど70万ということなんですけども、これは、この決算書の諸負担金がそうだというふうに考えてよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 70万につきましては、諸負担金のところの部分でございます。

それから、差し押さえた部分でございますけども、件数につきましては28件ございました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 金額……。

いいんじゃない。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 28件で、67件、移行したということなんですけども、27件っていうのは全市でその27っていうふうでいいのかということと、あとは、困窮世帯の可能性もあると思うんですけども、そういった福祉系の課と連携等は、きちんとされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 先ほど、差押え件数は28件でございます、失礼しました。

それから、生活困窮の場合は、当然、生活状況をお伺いした上で必要に応じて執行停止をかけたかどうか、あと、生活再建を支援するという意味で、よりそいにつなげたりだとか、そういうことは行っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

補足、お願いします。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 28件は豊明市分でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の28ページの一番下なんですけど、市有財産の維持管

理のためっていうことで、市有財産は3件ですか、それはどちらになるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 草刈りですけれども、草刈りをしている場所が市内に9か所ほどあります。小さな場所とか大きな場所がたくさんあるんですけれども、大きなところだと、すごく大きなところが今の職員駐車場に整備しましたが、旧の西川の保育園の用地、福祉会館のすぐ南側のところですね、そこが非常に大きなところかなと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書35ページの電算管理費のところですけども、この真ん中辺りのICTコンサルタントによる技術支援、教育を実施したというふうにありますけども、このICTコンサルタントっていうのは、どのような方が来て、これ、もう何回、年に何回ぐらい来てるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） ICTコンサルタントのほうは、毎週1回こちらに来ていただいて、いろんなシステムの導入の相談とか技術的な支援をいただいております。もともとはIC関係の企業に勤めていた方で、今、独立して、もうかなり古くから豊明のほうのシステムに精通している方をお願いしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の101ページの同じ電算管理ですけども、今回、令和5年度は消耗品がかなり増えてます。3,300万っていうことで、これは何を購入されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 令和5年度にオフィスのソフト、エクセルとかワードのほうを更新をしております。そちらのほうは2,400万ほど、その単年でかかっておりますので、その分が増加した分になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、2,400万ほどっていうことなんですけど、これは、この間、消耗品の購入で2,000万以上だと議決案件だと思うんですけど、これは問題ないかどうか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 有体物でありませので議決の必要がありません。
終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ものではない、ものではない。
（ソフトウェアは違うのの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の27ページの広報費の下の2番のホームページ管理のところですけど、これ、高齢者、障がい者を含めた誰もが支障なく利用できるよう配慮し、必要な情報を早く分かりやすく提供したとあるんですけど、これのどんなような配慮がされているのかってちょっと分からなくて。この前、調べたんですけど、中堀委員といろいろ調べたんですけど、出てこないものもあったので、どのような配慮がされてるかってちょっと疑問だったのでお聞きしたいです。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 高齢者、障がい者、含めた誰もが支障なく利用できることということで、例えば、文字の色の統一、色弱の方に対してですけども、文字の色の統一であったり、背景色の変更の設定であったり、文字サイズを固定したりとか、そういったようなことで、誰が見ても見やすいようなホームページの画面というのを心がけてやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の29ページの真ん中辺りにあります旧沓掛保育園と旧どろぐり学園の解体工事に関する事です。園舎の解体工事に関して、くいを抜いたりだとかというのがあるんですけども、その細かくはいいんですけども、手順というのか、その解体工事の概要をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 概要……。

（難しいかなの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えれますか。

中野課長。

○公共施設管理課長（中野忠之君） まずは中身の内装等を取り除きまして、その後、躯体関係ですね、コンクリートを破碎してくと、細かくしまして外に撤去するというような形になります。

以上です。

(関連での声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そのコンクリートのそういう砕いたりしていくときにも、やはりその振動もすごいかと思うんですが、その現地でその振動の調査、大きさの、よく桜ヶ丘沓掛線のときもあつたんですが、その壊すときの振動の調査とかは、されたんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 中野課長。

○公共施設管理課長(中野忠之君) 解体のときに振動の調査はしてありません。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の29ページ、公共施設管理事業の中の真ん中よりちょっと下のところですけど、庁舎施設の保全及び環境維持のためというところで防煙垂れ壁改修工事、これはどんな……。そもそも、この垂れか、どうやって読むのかちょっと分かりませんけど……。これは110万8,800円ってあるんですけど、これ、どんなものなのか、あとは、庁舎内なのか庁舎外なのか、本館のどこでしょうか、どんなものでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 中野課長。

○公共施設管理課長(中野忠之君) 防煙垂れ壁ですね、こちらのほうは、火災発生したときに煙を遮断するために垂れ壁が下りてくるというようなものになります。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 中野課長。

○公共施設管理課長(中野忠之君) 庁舎内に設置してあります。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浅井委員。

○浅井たかお委員 それは、壁というのは柔軟性というか薄いものなのか、しっかりした……。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) すみません、その内容についてというか決算について説明してください。物の説明は、当局しませんので、御留意ください。

(進めましようの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにありませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の33ページですね、共生社会課だと思いますけど、5番のコミュニティ備品の貸出、整備ということで備品の貸出しを行ったということですけども、

決算書のほうを見てもちょっとよく分かんなかったんで、ぼろくなったのを買い換えたとかそういうのは、この令和5年度にありましたか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） コミュニティ備品の貸出制度の備品の買換えでございますが、一部、テントの脚の部分が破損してる部分については、一部、買換えをしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ実績報告書の33ページの3番の共生交流プラザカラット、先ほど林委員のほうでも触れられてましたが、指定管理料、今回、資料請求させていただいて出てこなかった。

先ほどの質疑答弁を聞いていて、出のほうで、いろんな人件費だとか清掃費だとか、そういうのは年1回審査会でチェックをしているよと、そういうことは分かるんですけども、その資料というのは、請求すれば出てくるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 今回の資料要求につきましては、指定管理料の積算ということでしたので、お出しをしなかったという経緯でございました。

以上でございます。

（じゃ、確認の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 確認で、先ほどの指定管理のその出の部分の審査会でチェックしているものは、今じゃないですけど、今後、その情報公開すれば出るっていう理解でよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） カラットの収支の実績については資料はございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の33ページ、コミュニティ……。真ん中辺ですね、コミュニティ備品貸出・整備があつて、いろんなもん、備品、貸し出してるんだと思うんですけど、その中のAEDの貸出しは、何件ありました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 少々お待ちください。

AEDの貸出しにつきましては1件でございます。個数としては、2個、お貸ししております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて2款 総務費の……。

清水委員。

○清水義昭委員 すみません、実績報告書の35ページ、情報システムになるかと思えますけれども、上の主な取組事業の上から3番目、公共無線LANの整備を行ったということですけれども、これ、令和5年度はどこを行ったのかというようなことと、残り、まだ整備する予定があるところがあれば、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 令和4年度、5年度、2か年で整備のほうをしております。4年度にカラットと前後駅を終わっております。5年度は、公共施設のほうになりますので、南部公民館、福祉体育館、文化会館、図書館、市役所、それに加えて、小中学校の体育館の避難所、それから、指定の福祉避難所、保育園8か所になりますけれども、こちらのほうを5年度までに整備を終わっております。計画としては以上になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の31ページ、企画費、第6次豊明市総合計画策定事業なんですけど、この策定業務を開始しているということなんですけど、市民の声とかそういったものをどのように聞いて進めているんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 直接、お話とかを聞くのは令和6年度に入ってからですので、令和5年度に関しましては、その準備だったりそういったことを事業者側と話し合っとなるような状況であります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の民間活用推進事業です。これの民間活用事業推進アドバ

イザーという方が見えると思うんです。この辺、この方の報酬は幾らになるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 1回当たり1万8,400円になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の高齢者タクシー初乗運賃助成事業ですか、これ、80歳以上の市民の対象にということで、80歳以上の市民、何%が利用していますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 予算を組んだときの状況なんですけども、大体80歳以上の人口が7,000人弱だったんですけども、申請者数が843人という形になっております。

以上です。

（もう一つの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 それで、使っていない人の意見は聞いているのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 実際、使ってる方にアンケート調査をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書36ページの防犯対策費で防犯カメラについてですけども、先ほど、警察の方を通じて確認するっていうことだったんですが、とすると、市のほうが直接確認するっていうことはないっていうふうに理解していいのかということと、あと、この映像の保存期間って、どれぐらいなんですか。

（それも一般質問したよねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 市のほうで確認するということは基本的にはありません。

保存期間は約1週間程度でアップデートされていくというふうにお考えください。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の99ページの一番下のほう、電算管理事業の1つ上の集会所改修等補助金の400万のところですけど、これは、どこの改修、場所ですね、場所と、どんな改修をされたのか教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 集会所改修補助金でございますが、実績報告書の34ページに記載がございますが、6区、6町内会に交付をしております。

工事の内容ですが、多いのはエアコンの故障による取替え工事が主なものとなっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の32ページ、一番上のとこの広聴事業で、市長からの手紙、ファクス、eメール、それぞれ、アンケートもあるんですか、そういったものあるんですけど、これは市長が全部返事してるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 市長が見てるかってことですか。

○こんどうのぶお委員 市長が返事してるか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 返事ね。

○こんどうのぶお委員 はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市長が全て市長への手紙、ファクス、eメールについては、まず市長が目を通しますので、必ず目を通しております。回答につきましては、市長が御自身でやることもありますけども、おおよそはいろんな市の事業の内容のことですので、その各担当のほうに回答のほうは割り振られますが、回答する際にも、する前に必ずその回答については市長が目を通しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 それ、採用されたものっていうか、そういったものは、あったんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 事業の提案がもしされたものがあって、それが採用されたかどうかというのは、ごめんなさい、私どものほうでは把握はしておりません。

提案ばっかではなくて、いろんな御意見いろいろございますので、中には苦情とかもございまして、いろいろな内容でございます。

以上です。

（端的に回答してくださいの声あり）

○秘書広報課長（伊藤克代君） はい、すみません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員　その下の市民相談事業なんですけど、いろんな相談があって、この相談後の解決件数って、あるの、分かりますか。

（分かりませんの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君）　これも、相談を受けるっていうことで、その場で解決するというものではございませんので、その場で解決したものもあるかもしれませんが、特に集計等は取っておりません。

以上です。

（把握しておりませんの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　ほかにございませんか。

ふじえ委員。

ごめんなさい、萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君）　ちょっと訂正をお願いします。

ちょっと前なんですけども、清水委員のほうから……。

（めちゃくちゃ前だねの声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君）　ひまわりバスの関係で定期券のほうの年間の定期券の収入のほうは市のほうの歳入になっておりますので、訂正のほうをお願いします。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　実績報告書の109ページの7項　交通安全対策費、放置自転車の撤去処分委託260万円余なんですけど、これ、まず、委託費が倍増して2倍になっている一方で、同じ実績報告書の、何ページだっけ、42ページの同じ目のとこですね、駐輪場の維持管理事業の中の。撤去台数が令和4年度よりうんと減っているんですけども、この委託費が2倍に増えていることは、その撤去台数とかその見守る箇所数によって为什么呢。この倍増の理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君）　こちらは、駐輪場の有料化が令和4年の10月からということで、シルバーのほうに委託したのが令和4年は半年分になってます。令和5年は1年分になりますので倍増という形で、場所的には変わってませんので、期間の違いがこの差に出ています。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて2款 総務費の質疑を……。

（まだあるの声あり）

（手が挙がっていますの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） どうぞ、こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 すみません、ちょっとすみませんね、39ページの真ん中辺ですね、選挙啓発……。

（何の冊子の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） そっち。

○こんどうのぶお委員 すみません、実績報告書の39ページ、すみません。

選挙啓発費、その中で、二十歳の会ってというのがありますね。その出席率って、どのぐらいなのでしょう。

（出席率の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 成人に対して出席率。

○こんどうのぶお委員 成人の会じゃないの、これ。

（款が違うの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 山田課長。

いい、答えていい、この款で。

（違う、款が違うのの声あり）

（じゃ、答えられませんでいいですの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、すみません、これ、何款になるのかな。

○総務課長（山田隆貴君） 10款ですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 10款ね。

○総務課長（山田隆貴君） 生涯学習になりますので。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、10款で質問してください。

ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 企画費なので実績報告書は31ページで、ひまわりバスの先ほどの件ですけども、定期、決算書を見つけました、67ページですね、雑入で定期販売収入というのが26万円入ってきているんでこれかなとは思ったんですが、人数が分からないのでお願いした

い。定期券を買われた人数ですね、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いるかな。

○清水義昭委員 そうか、月と年があるか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

○清水義昭委員 はい、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 年間の定期が5,000円ですんで、52人になります。

以上です。

（年間だけの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の34ページの多文化共生推進事業の中の、これは何番だ、通訳業務の事業のところなんですけど、これは、どんな相談があったんでしょうか、何件ぐらいあったんでしょうか。

（何の相談なんだの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 通訳業務。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 通訳業務でございますが、こちら、大きく分けまして、ポルトガル語通訳1名配置と、あと、電話通訳になっておりますが、まず、ポルトガル語通訳のほうについては、件数が2,503件、多いのが税金関係、収納関係が多くなってございます。そして、電話通訳のほうでございますが、こちらは利用件数が612件、利用課のほうで多いのは保険の関係、そして、福祉の関係が多くなってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 もう一つお願いします。実績報告書の38ページの外国人の方の内訳なんですけど、その他っていうところがあるんですけど、このその他の国籍は、どんな国があるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 無国籍者なんですけれども、外国のお子様生まれまして在留資格を得るまで国籍が定まっておられませんので、無国籍者ということになります。

以上です。

（その他の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） それがその他でいいですか。いろんな外国籍あ

りますけど。

○市民課長（杉浦由季君） それも含めまして、何か国か国籍があります。全部で44か国の方が……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 44か国。

○市民課長（杉浦由季君） はい、いらっしゃいます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて2款……。

（すみません、ごめんなさいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ごめんなさい。ちょっと疑義が残ったんであれなんで。

ひまわりバス、実績報告書の31ページの件ですけども、年間の定期の購入が52人というのは分かりました、年間のほうで。

これ、月間のほうは、市のほうで販売してないんですけど、これは業者のほうの運賃収入に入るっていう、そういうことでよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） そうですね、月間のほうは、ひまわりバスの車内のほうで販売しておりますので、名鉄のほうの入となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて2款 総務費の質疑を終わります。

ここで、理事者の入替え、食事休憩のため、1時半まで休憩といたします。

午後零時34分休憩

午後1時30分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

マイク入ってないけど、進行します。

続いて、3款 民生費について説明を願います。

中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） それでは、3款 民生費の決算について説明をさせてい

たきます。

実績報告書の44ページをお開きください。

3款1項1目 社会福祉総務費です。決算額は12億4,181万3,535円で、前年度より3億2,175万円余の増額となりました。増額の主な要因は、45ページ下段、国民健康保険特別会計繰出事業のうち、その他繰出金が前年度に比べて2億8,954万円余の増額によるものです。

続きまして、45ページ下段、2目 老人福祉費です。決算額は9億6,314万5,451円で、前年度より7,603万円余の減額となりました。減額の主な要因は、介護施設等整備事業費補助事業が前年度に完了したことによるものです。

続きまして、48ページ、3目 心身障害者福祉費です。決算額は20億5,625万6,186円で、前年度より2億683万円余の増額となっております。増額の主な要因は、心身障害児者扶助事業における扶助費が前年度より2億2,180万円余の増額となったことによるものです。

続きまして、実績報告書51ページ上段、4目 福祉医療費です。決算額は8億7,222万7,301円で、前年度より7,705万円余の増額となりました。これは、福祉医療助成費のうち、子ども医療で前年度比4,686万円余の増額によるものです。

続きまして、51ページの下段、5目 後期高齢者医療費です。決算額は9億7,342万5,078円で、前年度より3,699万円余の増額となりました。これは、療養給付費負担金と保険基盤安定繰出金の増額によるものです。

続きまして、実績報告書52ページ、2項1目 児童福祉総務費です。決算額は17億8万4,702円で、前年度より2億2,527万円余の減額となりました。減額の主な要因は、児童福祉事務事業における負担金、補助及び交付金です。前年度に実施した県の子育て世帯への臨時特別給付金と市独自の子育て応援給付金など、原油価格や物価高騰に対応するための給付金の減によるものです。

続きまして、54ページ、2目 保育園費です。決算額は25億2,685万9,993円で、前年度より6,922万円余の増額となりました。主な増額の要因は、施設型、地域型保育給付費が7,227万円余の増額となったことなどによるものです。

続きまして、55ページ中段、3項1目 生活保護総務費です。決算額は6,473万3,485円で、前年度より7,461万円余の減額となりました。減額の主な要因は、国庫負担金等返還金の減によるものです。

続きまして、55ページ、同じページの下段、2目 扶助費です。決算額は13億8,481万2,514円で、前年度より2億5,406万円余の増額となりました。増額の主な要因は、非課税世帯等臨時特別給付金が前年度に比べて2億3,523万円の増額となったためです。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

進行しちゃうよ。

（ほかにございませんかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 45ページ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 何の45ページですか。

○こんどうのぶお委員 すみません、実績報告書の45ページ、上から2番目、地域共生社会推進事業880万、これ、重層支援とかそうって地域づくりの実施ということで、何人分の相談があったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） お答えさせていただきます。

地域共生社会のこの事業につきましては、相談件数といたしましては……。すみません、ちょっと調べてお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もう一回、ちょっと言い直ししてください。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） ちょっと調べてお答えをさせていただきます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 後ほど。

のぶお委員、こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の生活困窮者の緊急生活支援事業ですか、これ、まごころサポート便ですね。これの生活支援を行ったってということで、何人の生活支援ができましたでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これは、報告書に記載のとおり、延べ4回で2,198件の配達をさせていただいたものでございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ真理子委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連なんですけども、実人数だとどのぐらいになりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 延べ人数ってことですか。

○ふじえ真理子委員 報告書のほうには延べ件数で今もお答えになられたんですが、実人

数。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 件数と人数の差があるかということ。

（実人数の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えられますか。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど申し上げた数字を4回で割り返した数字が延べ件数という数字になります。

（延べ件数を割り返してねが実件数ですねの声あり）

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 実人数としては把握をしているところではございませんけども、延べとしては先ほど申し上げた数字の4で割り替えた数字ということで御理解をいただければというふうに思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 4回して、今、そこに載ってる人数になりましたという理解でいいですか。

青木委員。

○青木けんじ委員 実績報告書の55ページで5番目の、上段のほうの5番目の内山保育園引継業務なんですけども、こちらのほうで合同保育のために保育士の派遣ということですが、予算に比べて大幅に決算額が少なく見受けられるんですけども、こちらのほうの要因、何かありましたでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 当初予算では、内山保育園民営化に伴う派遣を一月に4人、延べ1年でいうと48人派遣を予定しておりましたが、派遣人数が半分ほど、23人になったということが支出の減額の要因でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 青木委員、そのマイク、専用で使っていただければいいんで、その反対側の。こっち側に置けば。

○青木けんじ委員 そうということですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 元監査さん、しゃべらないんで。

○青木けんじ委員 分かりました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の引継業務のところなんですけども、人数が足りなかったっていうことなんですけども、それに対して市は何かこのフォローしたのかということと、その

足りなかった理由っていうのは何だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 市としては、できるだけ派遣をいただけるように協議は重ねてまいりましたけれども、1年前の雇用をするということで、なかなか大きな法人であっても人材がなかなか見つけれなかったというところはあったかと思います。市としても、いろんな協議を重ねた上で、6月から主任先生を来ていただいてこの数字になったという理解をいただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと今のところで意味が分かんなかった。これ、多分、市のほうの保育士をこの内山保育園とかアイグランさんのとに残して、残すのは48人だったのが23人になったってことだと理解してるんですけど、違うんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） まず、この事業の説明をさせていただきますと、令和5年度は内山保育園、公立で運営しております、通常の保育士は配置しております。その上で、6年度を見据えてアイグランのほうから月4人の派遣をいただくという合同保育をする事業でございます、園の運営については、特に問題はございません。

以上です。

（分かりましたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の50ページ、一番最下段の第4次豊明市障害者福祉計画等策定……。

（マイクの声あり）

○武谷としお委員 ごめんなさい。

第4次豊明市障害者福祉計画等策定事業のこの当初予算301万円なんですけども、268万円で収まった理由はわかりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど、委員からお話がありました301万円という数字につきましては、計画策定の委託料に加えて、委員会の委員報酬を含めての301万円というふうになっております。これを決算ベースでお答えをさせていただきますと、委託料

につきましては268万700円、委員会開催のための報酬費用として19万円、合計287万7,000円という数字になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料のナンバー3の⑥一時保育利用状況についてです。

資料、ありがとうございます。

4年度と5年度ですけれども、この人数の合計っていうのは、延べ人数なのか実人数なんでしょうか。

それから、働いてない、就労されてない方の利用というのは私的利用のところに入るっていうふうで理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） まず、資料で御提示させていただいたのは実人数でございます。延べ人数としましては、令和5年度492人、令和4年度623人となっております。

私的利用のところは、働いていなくても御利用できるという一時保育のサービスとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の45ページ、真ん中から下のひきこもり対策推進事業というのがあって、相談窓口1,491で、これ、延べ件数なんで、この人数と、あと、社会参画の促進ということで何人復帰されたのか、その辺の数字を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 具体的な相談件数の実人数といったところは、正直、整理ができておりません。延べ件数で1,491という数字で御理解をいただければというふうに思っております。

先ほどの社会復帰できた件数というところにつきましては、後ほどお答えをさせていただこうというふうに思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の45ページ、包括的就労推進事業のところなんですけど、

令和5年度は652件の相談があったとあるんですけど、この相談の結果、就労に結びついた件数は把握されてますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 就労に至った件数につきましては8件ということで確認をしているところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の46ページの老人福祉センター運営事業のいろんな項目、あるんですけど、これの中で入浴利用がなくなったっていうことで、いつからなくなったのか。意外と要望ありましてね、そういったなくした理由とかその辺を教えていただきたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） お風呂がなくなったのは今年度からなくなっておりますので、令和5年度はお風呂はある状態で行っていました。

廃止の理由でございますが、老朽化に伴い改修が難しいためということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー4の⑤の待機児童、潜在的待機児童数についてです。待機児童はゼロ名で潜在的待機児童が98ということなんですけども、潜在的かというと、特定のそういった保育園を希望して入所できないというところかなと思いますが、それは、どこの保育園というか、どのエリアがそういう潜在的っていうのが多い状況なのかっていうことは、どうなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 資料請求のほうも園別というようなお話をいただいたんですけども、園別にはちょっと取りまとめておりませんで、地区的にはすみませんが分かりません。年齢ごとであれば集計は取っております。そういう状況でございます。すみません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、年齢ですね。3歳児未満が比較的多く利用児童増えてるんですけども、特に3歳児未満がどれぐらいになっているか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 未満児だけでいいんですか。

○林 ゆきひろ委員 未満児の人数をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 未満児の潜在的待機児童数でございますが、69人でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の46ページの高齢者外出支援事業です。65歳以上の在宅高齢者の方で、バス、電車等に乗る、利用に困難っていう、どういった方になるんでしょうか。その条件を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 65歳以上で独り暮らし等されている特定の非課税世帯という条件がございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の52ページなんですが、児童福祉費、その下、児童福祉総務費、この児童館指定管理事業の中の文章で大変失礼ですけども、金銭的な金額じゃなくて、大宮児童館等において、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進して書いてありますけど、日本語として適切なんでしょうか。健全な遊びを与えるっていう。

遊びは与えるんでしょうかね。遊ぶ場所を提供する、遊ぶ場所を与える。誤字っていうことでもないんですか。こういう表現は初めてなんですけど、いかがなんでしょうか。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中村部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） これ、遊び場というか遊び方とか、そういう遊びを与えるという表現がどうかとあると思いますけども、健全な遊び方という、遊び、遊びそのものを与えるみたいな。ちょっと答えになってないか……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 苦しいですね。

○健康福祉部長（中村泰正君） 要は、普通にお子さんが健全に遊んでいただくような場を与えるというような、そんなイメージで捉えていただければいいかなと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

○月岡修一委員 まあ、いいでしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 若干、言葉足らずだったということでいいです

か。これ、このまま、これですって言い切ってもらってもいいんですけど。

○健康福祉部長（中村泰正君） 捉え方、いろいろあると思いますので、そのように。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これでもいいんだということですかね。

○健康福祉部長（中村泰正君） ええ、取っていただければ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 すみません、捉え方はいろいろあるという……。公文書ですので、それはいけないと思うんですね、誰が聞いても誰が読んでも、なるほどと思うためには。

遊びは、与えるんですか。遊ぶ場所を与える、遊ぶ環境を与える……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 遊びを与えというところなんですけれども、遊びの場所もそうですし、児童厚生員によって、お子さんの健全育成を促す遊びを一緒に考えて、それを提供するというような意味合いが含まれております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 部長、部長よりも分かりやすかったね、ちょっとね。

いいですか。

○月岡修一委員 結構です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） すみません、先ほど、タクシーの件で条件のところですが、私、独り暮らしといいますけど、独り暮らしが、すみません、入っておりませんで、要介護認定を受けて、かつ、非課税世帯という条件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど保留をさせていただいた答弁でございますけども、まず、1点目、地域共生社会推進事業の中での相談件数ということにつきましては、19件であったということでございます。

あと、もう一点、ひきこもり支援事業の中で、どれだけ令和5年度に地域復帰ができたかというところでございますけども、新規の相談件数については、実は21件という数字でございます。昨年度と今年度の比較において、相談件数としては大幅に減っているところではあります、なかなか相談してすぐ解決するというものではございませんので、具体的にどれだけ地域に復帰できたかというところまでは、正直、把握ができてないという

のが実情でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶおさん、いいですか。

○こんどうのぶお委員 大丈夫です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 大丈夫ですか。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の129ページ、心身障害児者福祉推進事業の枠の中の真ん中の辺りです。家具転倒防止器具取付事業委託料はゼロ、これ、令和4年度もゼロでした。これ、ゼロというのは、どういうふうに捉えていますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） ここの対象にしてるのは障がいをお持ちの方を対象にしてるわけでございますけども、申請件数につきましては、周知をしているんですが、結果として申請に至らなかったというところで御理解を頂戴できればというふうに思います。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございます。いいですか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の47ページ、地域包括支援センター事業、下のほうです。その表の中で介護予防ケアマネジメント件数というのが……。これは合計か……。その合計が去年は5,387件が1,100件でぐらゐ大分減ってるんですけど、この減った理由は、どういうふうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 地域包括支援センター事業の中の介護予防支援件数と介護予防ケアマネジメント件数というものが昨年度まで合算してお知らせをさせていただいておりましたが、令和5年度から分けてお知らせをさせていただいておる関係で、このようになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 分けた理由って、何かあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 合計で今までお知らせしていたんですけども、事業的に分

けたほうがお知らせがいいということでお知らせを分けております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書44ページの民生委員の方なんですけども、前回よりも1名、民生委員が減っているんですけども、なぜ減ったのかということと、これ、必要な地域、地域で足りてないとか成り手がいないとか、そういうような状況ってあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 令和5年4月1日現在では98名ということでございましたけども、今現在は99名というところで充足してるという状況でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の50ページの真ん中より下のとこのヘルプマークの配布事業ってあるんですが、これは、いろいろ配布場所と配布方法について周知を図ったとあるんですけど、これは、何件くらい配布ができたのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） お答えをさせていただきます。

市と社会福祉協議会で、このヘルプマークを配布させていただいておりますけども、市では214枚、社会福祉協議会で21枚、合計235枚を配布させていただいております。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書47ページの社会福祉法人の利用者負担減免措置事業ですけども、この文章、説明の中で減免措置事業に関して必要事項を定めて書いてあるんですけど、どういった必要事項なのかということと、これ、介護サービスを受けてってということなんですけども、どのような介護サービスを受けて、受けられたものなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 減免の措置事項について、どのような低所得者のことを規定で定めております。一応、利用については普通の介護サービスになりますので、施設のサービス等を受けていただくという形のものだとか、この社会福祉法人がやっているものと

いうのに限定されたものというふうになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の51ページ、福祉医療費の福祉医療の子どもとこです。入院が18歳まで無料なんですけど、この高校生の、16歳から18歳の高校生の入院件数って、どのぐらいあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和5年度の実績でございますが、21人、32件でございます。金額としては195万円程度となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書47ページの地域包括支援センター事業についてですけども、ちょっと2点あるんですけども、1個は決算書の127ページで見ますと、消耗品が300万ほど追加されて出てるんですけども、消耗品は何を買ったのかということと、あと、この地域別に第1号被保険者の人数ありましたけど、中部が比較的多い人数なんですけど、その相談件数というのは、そんなにほかの地域と比べて多くはないんですけども、その辺の地域の偏りっていうのは、どういうふうに分かれていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） 消耗品は地域包括支援体制事業の消耗品の300万ということかと思えますけれども、こちらはシステムライセンスの購入をさせていただいた金額となっております。

続きまして、地域別の高齢者の人数で中部が多いというお話のところでございますけれども、委員がおっしゃられますとおり中部が一番多くて6,997人ございます。南部は5,488、北部が5,320となっております。やはり高齢化のほうのものが、利用も、何て言うんですかね、地域に特徴があるかというのは、なかなか南部のほうはちょっと独居が少ないとかいう傾向はあるんですけども、はっきりとした理由はございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書で52ページ、下のほうで保育園等巡回支援事業という

のがあって、保育園、幼稚園に巡回支援員というのが訪問ということで、これ、どんな資格があるのか、どんな方なんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 村松課長……。松村課長。ごめんなさいね、わざとじゃないんで。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらは、児童発達支援センターに勤務する臨床心理士、公認心理師も持っておりますが、心理士と、あと、保育士の2人で巡回支援事業を実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書53ページです。真ん中んところで家庭相談員による相談事業がありまして、これ、家庭相談員が去年2人で、4人に増やして、かなり相談件数3,109件ですか、1人が800件ぐらいで、これ、増やしていただいたんですけど、これで足りてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） そうですね、現状としましては、時間外勤務もございますが、それはどうしても保護者の方が夜間でないと面会ができない、面接ができないという状況でございますので、2名から5名に増やしていただいて、現状では何とか業務をこなしてる状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

関連、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今と同じところの家庭相談員に関連ですけれども、子どもの、子どもからの相談っていうものはあるんでしょうか。あれば、どのぐらいのを占めてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 現状では、お子さんからの相談というものはございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の52ページの、これは、相談支援、児童発達支援センター運営事業のところの相談支援事業の支援人数、このとこのその他の44件がどういったもの、

こういった障がいの方かっていうのと、その下の支援方法のその他のところ100件ってあるんですけど、これがこういったものがあるかっていうことを教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） まず、支援人数のその他でございますが、診断名などついていないような発達に関する御相談の方となっております。

それから、支援方法のその他でございますが、こちらは主に児童発達支援センターどんぐりの中でいろんな事業をやっておりまして、例えば、親子通所の、右のページ、53ページにも書いてありますけど、たんぽぽ教室などやっております。そちらのスタッフから相談支援専門員のほうに相談があったケースがほとんどとなっております。

以上です。

あと、すみません、先ほど、ふじえ委員から御質問のありました子どもからの相談っていうところでございますが、少しだけ訂正させていただきます。お子さんから直接、家庭相談室のほうにお電話が入るってことはなかったんですけども、学校などを通じて相談員と話がしたいよといったケースはございました。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 武谷課長、武谷委員。

（課長っぼいけどねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと課長っぼい。

○武谷としお委員 ありがとうございます。

先ほどの浅井委員の関連なんですけども、児童発達支援センターの運営事業のところの支援方法で、昨年651件の支援で今年2,019件、大幅に増えているんですけども、その何か理由とかはわかりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 支援方法の件数が増えているところでございますが、大幅に増えているのは関係機関からの相談が増えているというところでございます。関係機関にどんぐりの機能が周知されてきて相談が増えたものと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近 修委員。

○郷右近 修委員 決算書131ページ、3款1項3目 成年後見人の費用助成が令和4年度より146万円が98万円かな、大分減額なんですけど、当然、その対象の方が亡くなったりすればそれまでなのかもしれないんですけど、そういう傾向っていうのは、この令和5年度

の決算では、どういうふうに見ておるでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 回答を願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 成年後見人については、あくまでも申出があつてということでございますので、大きく伸びたり大きく減ったりというところがないのが実情でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の46ページの一番下、高齢者運転免許証自主返納支援事業です。これ、返納した方が選べるんですけども、ひまわりバス定期券引換券とチョイソコとよあけ回数券、これ、それぞれ何人ですか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚本課長。

○長寿課長（塚本由佳君） ひまわりバスが78名でチョイソコが27名です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の55ページ、一番下のところで危機管理監視員ですか、生活保護相談等で云々で不当要求というのがあるんですけど、これ、何件かあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 実際には不当要求と至ったケースというのはございませんけども、窓口対応で困ったケースについては、この危機管理監視員ですか、の応援をお願いして、一緒に窓口対応したというケースは何件かございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 次のページの実績報告書56ページの生活保護の関係です。生活保護の保護率が5.04パーミルというふうで少し上がっているわけですが、このうち、外国の方、世帯は、どのぐらいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 実際には外国人の方が何名かというふうには捉えてはおりませんが、何人かはいらっしゃるということで御理解を頂戴できればというふうには

思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の生活保護のところですけども、人数、保護の人数世帯とかパーセンテージが徐々に増えてきているような状況なんですけども、その辺りの理由とか背景はどう分析してるかということと、もう一つ、その下の住居確保給付金のほうは大幅に減ってるんですけども、その保護の人は増えてるけども、この辺りが減ってるっていうのは、どうしてでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 生活保護世帯数については、確かに年々伸びているという傾向がございます。中を見ていきますと、高齢者世帯の方の生活保護率といったところが上がっておりますので、こうしたことも1つの要因なのかなっていうふうに捉えているところでございます。

住宅確保給付金支給事業につきましては、これについては、実績から申し上げますと、80世帯であったものが14世帯ということで大きく減っております。これについては、ある一定の要件でこの制度が利用できるわけでありまして、やはり雇用環境の向上があつて減少に至ったのではないかなというふうに推測をしているところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の55ページ、保育環境改善事業の中の4番目のところ、外国人児童との円滑なコミュニケーションを図るためっていうところなんですけど、ここでは、外国人児童さんは何人ぐらいいるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外国人……。

小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） いろんな国から外国人の方は来ていただいております、265人在籍しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと、それって、本当の外国人、国際結婚の方の御子息とかは入りますか。

○こども保育課長（小川正寿君） すみません、そこまではちょっと分かりません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） すみません、独り言でした。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 関連です。

通訳配置事業っていうことですが、これ、民間保育所等に対してということなんですけども、その民間保育園というのは、どこの保育園を指しているかということと、あと、公立保育園は、どのように対応されてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） こちらの事業に関しては、唐竹保育園に週1回、ベトナム語通訳の方に来ていただいております、ポルトガル語の通訳に来ていただいております、あと、公立は、二村台保育園に来ていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところですが、先ほど、外国人児童で265という数字、お答えになられたんですが、これは児童だから小学生が265っていう理解なのか、保育所、こんなにはないよね。すみません、もう一度、265の定義をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 保育園に入所されている方の入園数でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書55ページの下の一冊下の危機管理監視員、先ほどありましたけども、この方の勤務時間がどのくらいで……。先ほど、困難ケース応援等っていうふうにあったんですけども、そういうのがないときっていうのは、どういうふうな仕事というか、どういうことをされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 必ずしも窓口対応ということではなくて、生活保護の事務、そういった部分についても担っていただいているというのが実態でございます。勤務時間につきましては、9時から5時までの勤務時間というふうになっております。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、さっきの実績報告書の55ページ、先ほど私が質問した外国人の児童さんの人数なんですけど、今の265人っていうのは、公立も民間も含めての人数なんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） もう少し詳細に申しますと、民間、公立、幼稚園も含めた人数でございます。

（幼稚園も入ってるねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 ありがとうございます。

じゃ、公立だけは、別には分からないですかね。それぞれの人数は、分かりませんか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） すみません、公立、私立は分けておりませんが、国別では何とか分かりますが。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 それでは、国別に教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 上位で申しますと、ベトナムが147人、ブラジルが50人でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書で56ページ、真ん中のとこですね、住居確保給付金支給事業ですね、これの住居確保給付金支給状況で、去年347世帯で今年が14世帯になるんですけど、この減った理由と、これは国の施策なんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど、林委員からも御質問いただいたことにつながるわけでございますけども、先ほど、私、雇用環境の向上があつてということもお伝えしました。恐らくこういったこともあろうかというふうに思いますが、コロナの要件緩和が外れたということがございまして件数が大幅に減ったということも実態としてあると考えております。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところですけど、要件緩和が外れたのもあるということなんですけど、この雇用関係、求職で職業に結びついた、職に結びついたっていう件数っていうのは把握してるんですか。そこまではしてないの。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） そこまでは、正直、把握をしておりません。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の54ページですね、出産育児給付金、市の単独のものについてですけども、これが前の年度にお渡しできなかった部分を3か月確認してお渡ししたのが28人、28世帯というようなことだと理解したんですが、この事業を含めて、この全部で何人、何世帯に、その給付金をお支払いしたのか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） お調べしてお答えいたします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 後ほどです。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の55ページ、民間保育所へのおむつ回収費用は補助金の仕組みなので、この金額を令和5年度に実行した時間に当たる事業者が負担した金額のほうってというのは分かるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 事業者が負担した部分は分かりませんが、10分の10ではないかと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書でいう55、56辺りの生活保護費のところですけども、ケースワーカーさんが見えるかと思うんですが、1人当たり担当するその被保護者世帯数というのは、どのぐらいでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 具体的に、おのおの何名ということはここではちょっと申し上げられないんですが、100ケース前後だというふうに考えております。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 100ケースごと、100ケースぐらいというふうですけども、その残業時間っていうんですか、ちょっと、ここでいいのかな……。1か月のその残業というの

か、その1人が100ケース、100世帯ぐらいつつってということですが、その就業時間、残業時間というのは、どのぐらいなのでしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 5時以降の訪問ってというのは、ケースとしてはあまりございません。したがって、ケースワーカーが残業するということはあまりないというふうに、という状況でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 先ほど、清水委員から御質問のありました実績報告書54ページの出産育児給付金でございますが、令和4年度からの合計をお答えさせていただきます。お子さんの数531人、世帯としては528となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（金額の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 金額も聞いた。

（聞いたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） すぐ答えれますか。後ほど、いいですか。

○子育て支援課長（松村清子君） 金額は、計算してすぐにお答えいたします。お待ちくださいませ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） では、後ほど。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の49ページ辺りになるかと思うんですが、心身障害者福祉費の中の施設入所及び通所の状況ということで49ページに上がっております。市内のこういったグループホームの、ごめんなさいね、もし分かればですけども、入所者の定員の総数と、その実際に入ってる人数はここにあるのか、あと、待機者数ってというのは分かるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 市内にありますグループホームが8施設ということは数字としては把握しておりますが、具体的に定員が幾らかというところまでについては、今、資料としては持ち合わせておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 先ほどの出産育児給付金でございますが、4年度、5年度の合計金額2,655万円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ありがとうございます。

出産育児給付金のところですけど、その531人、これ、3か月以上の定住要件というよう
なことだったと思うんですけど、これ、生まれた方、出生した子どもさんの何割ぐらいか
分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子育て支援課としましては、出産された方には全て…
…。

（全ての声あり）

○子育て支援課長（松村清子君） はい、交付しているというふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

（全て入るのの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 全て。

（全て入ってるの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、定住要件3か月以上じゃなかったでしたっけ、何か、と思いき
ますが、それに当てはまらなかった方がどれぐらいいるのかっていうのがお聞きしたいん
です。持ち合わせてない。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 本当は知っているけど聞いているんじゃないの。

○清水義昭委員 知らない、知らない、本当に。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） すみません、3か月以上定住しておらず要件を満たさ
なかった方につきましては、把握しておりません。

以上です。

（ごめんなさい、ごめんなさい、把握してないですの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 後から担当課へ行って聞いてください。

(いやいや、ちょっと待っての声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 清水委員。

○清水義昭委員 把握してないってということだったんですけど、把握してなくて、この要件を満たすかどうかのチェックができてたってということなんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 3か月の話でしょう。

松村課長。

○子育て支援課長(松村清子君) 3か月定住要件を満たしている方については把握しておるといような状況でございました。

以上です。

(数を把握してないってことの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) これにて3款 民生費の質疑を終わります。

ここで、理事者の理事者側の説明の入替えのため、5分間休憩いたします。

午後2時16分休憩

午後2時21分再開

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、4款 衛生費について、順次、説明を願います。

中村健康福祉部長。

○健康福祉部長(中村泰正君) それでは、4款 衛生費の決算のうち、健康福祉部所管のものについて説明させていただきます。

実績報告書58ページを御覧ください。

4款1項2目 母子保健費です。決算額は3億3,031万2,068円で、前年度より1,152万円余の増となりました。増額の主な要因は、令和5年2月から開始した出産・子育て応援交付金事業によるものです。

続きまして、59ページ、3目 健康推進費です。決算額は3億7,480万1,513円で、前年度より2億3,861万円余の減となりました。減額の主な要因は、新型コロナワクチン接種事業に係る経費となります。

続きまして、61ページ、6目 休日診療所運営費です。決算額は2,657万3,788円で、前年度より230万円余の増となりました。増額の主な要因は、医薬材料費の購入によるものでございます。

以上で健康福祉部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 続きまして、経済建設部所管の主なものについて御説明いたします。

実績報告書60ページを御覧ください。

4目 環境衛生費です。前年度比約385万円の減額です。これは、前年度の墓地に関する意識調査業務委託が完了したためです。主な業務といたしましては、電気自動車等充給電システムの設置への補助、合併処理浄化槽設置費補助金交付事業により、合併浄化槽設置への補助をいたしました。

次に、61ページを御覧ください。

7目 公害対策費です。前年比約146万円の増額です。これは、大気環境常時観測局解体工事を実施したことが主な要因です。主な事業といたしましては、公害対策事業として、健康や生活環境を保全するため、河川等水質調査を実施いたしました。

次に、62ページを御覧ください。

2項1目 清掃総務費です。前年度比約5,879万円の増額です。東部知多衛生組合の負担金が増額となったためです。これは、東部知多クリーンセンターの工事費及び公債費の増が主な要因でございます。

次に、63ページを御覧ください。

2目 塵芥処理費です。決算額は約600万円の増額です。これは、一般廃棄物処理基本計画の策定によるものです。主な事業といたしまして、市民から出される可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬を行い、清掃事務所では粗大ごみの受付業務と玄関先への個別有料回収を実施いたしました。

以上で経済建設部が所管いたします4款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の62ページの最上段の公害対策事業の中の相談件数283件のうち、その他40件とありますけれども、内訳が分かれば教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみません、実績報告書62ページの公害対策事業の相談件数のその他の内訳を、40件の内訳をお答えします。

その他としましては、害虫、ハチの巣の苦情とか、あとは動物の御遺体といった苦情が主なものになっています。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員　今のところ、相談件数283件で、解決したのは何件ぐらいあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　松本課長。

○環境課長（松本裕介君）　すみません、何をもって解決かということなんですけども、御相談受けたら、すぐに職員もしくは環境監視員が現場に向かって解決を図ります。例えば、野焼きや何かですと、現場でそのまま指導をできることはしますし、草や何か、草の影響の苦情であればお手紙をお出しするし、解決に向けては、基本的にはその場で解決できるものは解決する、手紙を送るものは手紙を送るなりして対応してるというふうにということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　今の同じところの公害対策のところです。この中の不法投棄の89件というのが倍増してるんですけども、これ、何か特徴とか、場所が一定のところにとばつと捨てられてるのかそういった内容と、何か5年度中に取られた対策があればお答えください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　松本課長。

○環境課長（松本裕介君）　不法投棄に関しましては、場所というのは、やはり人目につかないところが多いということがございます。なので、区域でここの場所が危ないとかそういうことではないんですけども、場所の特性としてはそういうことがございます。ですので、パトロールを、監視員のパトロールを強化して対応しておるところになります。増えた要因としては、特に何か決まったことがあるわけではございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　分かるんなら捨てないもんね。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書の58ページ、真ん中のとこなんですけど、子宮頸がんワクチンの接種事業で、これの副反応の申出、あったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 副反応につきましては、お申出や相談はございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料のナンバー1の②とナンバー4の③、④のコロナワクチンのことと予防接種の健康被害についてです。

まず、ちょっと確認なんですけども、この資料を見ますと、副反応で健康被害ということで相談した方が9名、そのうち、3名が請求をして2名が認められて、この決算書の2名で78万1,540円を給付したと、そういうことで、まず確認ですけど、よろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 令和5年度に通常の副反応ではない相談があった件数が9件です。

3件は令和5年度に申請があり、県のほうに進達、上げたのが3件。2件っていうものにつきましては、令和5年度中に進達をしたものではなく、コロナワクチンが接種が始まってからの審査がしたのものについてのものになりますので、令和5年度中に進達があったものが、そのまま給付ということではございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 お聞きしたいのが、9名相談があつて、6名の方は、これは申請せずに取り下げられたのかどうかということと、じゃ、3名受理された方っていうのは、まだ審査中、調査中という認識でよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 9名のうちは、そのまま通常の副反応ではないので、よくなりましたよってことの相談もありますし、全てが給付のほうに上がったわけではありません。4年度に相談があつた方が、書類などの申請をそろえて5年度ってこともありますし、経年的に継続しながらの支援ということで考えていただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと分からなかった。

今、9名の相談のうち、3名が申請というわけではないってことですね、別々ということですね。

(おっしゃるとおりですの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 呼んでないんだけど。

(指名してないの声あり)

(ごめんなさいの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) いいですよ。呼びました、小さな声で呼びました。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の63ページの有機循環推進事業のところなんですけど、ここは補助対象者53人ってあるんですけど、このうち、電動式のものも対象としているってあるんですけど、この電動式のこの生ごみ処理機の補助は、何件ぐらいありましたか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松本課長。

○環境課長(松本裕介君) 生ごみ処理機の補助については、令和5年の10月から実施をして、電動のものを対象として実施をしております。そのうち、令和5年度の実績ですけれども、令和5年度の電動の実績は20件、20個になります。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の60ページ、真ん中辺の下ですね、環境整備事業というのがありまして、これ、草刈り機の貸出しをしますよね。これのときの事故、いろいろ飛び石だとか人身だとか、そういう事故ってないんですか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松本課長。

○環境課長(松本裕介君) 草刈り機の貸出しについての事故というのは報告としては受けておりませんが、何かあった際には保険にも入っておりますので、そういったところで対応させていただきます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の保険料の4,050円が保険だと思うんですけど、これって使った人全員なのかっていう、その辺ってどうなんです。1台、何ていうかな、使った方全員に対象になるものなんですか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松本課長。

○環境課長(松本裕介君) 草刈り機自体に掛けておりますので、使った方全員が対象となります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは60ページです。带状疱疹ワクチンの実績が出ていますが、まず、これは回数っていうのが、これ、そのまま利用した人数というふうに理解すればいいんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） シングリックスにつきましては、1回、2回の方がいますので、イコール人数ではありません。おおむね半分ぐらい、半分強ぐらいだというふうに考えていただければと思います。

ビケンのほうは1回ですので、そのまま人数というふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 続けまして、この実績について、令和5年度、市が見込んでいたより、その多いな、少ないなっていう何か分析というか感想については、どういうふうに思っているでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 接種人数としては予定してた人数なんですけども、シングリックスとビケンの内訳につきましては、想定した人数よりもビケンのほうが少なかったというような感想です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 ていうのは、やっぱりその費用のことが影響しているんじゃないかという、そういう見立てなんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 私、もしかして、まち……。今、もう一度、説明させていただくと、思った人数は想定してたとおりのなんですけども、シングリックスのほうが割合が多かった。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 多かったね。

○健康推進課長（川原静恵君） 多かった。ビケンのほうが少なかった。どうしてかといいますと、やはりシングリックスのほう年齢が高くなるにつくまして、かかりつけの先

生などはシングリックスを推奨されるということが多いので、結果として、シングリックスのほうが多いという認識です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） シン何とかが2万円なの。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ実績報告書60ページの環境衛生費の電気自動車等充給電システムです。実績が4件、令和4年度も同じ4件でしたが、どのように評価されてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） V2Hの設置に関する補助の実績が4件ということで、伸び悩んでおるといふことを感じております。さきの議会で郷右近委員にもお答えしたとおり、ほかの部分の補助についての検討を既に開始をしておりますので、そういったところで対応していきたいと思ひます。

V2Hが伸び悩んだ理由としては、やはりその電気自動車、プラグインハイブリッドの車種が思ったほど伸びていないなというのが現状です。

以上です。

（先のことは、分かりませんの声あり）

○環境課長（松本裕介君） すみませんでした。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の62ページ、真ん中のとこの資源回収ですね。奨励金単価ってあるんですけど、この見直し時期はいつなのかということと、あと、この金額のベースっていうのは、何を基になつてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 販売奨励金の単価を4か月に1度、見直しをさせていただきます。

すみません、もう一度お願いできますでしょうか。

（金額のベースっていうのは何を基になるんですか。その単価、単価っていうの、新聞紙、1キロ11円って、どういった根拠というか基準というのかの声あり）

○環境課長（松本裕介君） 基準ですか。

（指名しますの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみません、ちょっと、後ほどお答えします、すみません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 新聞紙だけでいいんですか、単価は。

○こんどうのぶお委員 いや、みんな、どういった、何ていうかな、いいですよ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 課長、各単価に根拠があれば結構です。

○こんどうのぶお委員 ええ、何をベースになのか。

○環境課長（松本裕介君） 根拠はございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、もうそれでいいですよ。それでいいですよ。それなら、今、答えられますか。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみません、業者さんに参考見積りを取って価格のほうを決定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） よろしいですか、のぶおさん。

○こんどうのぶお委員 はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の59ページの上のほうになると思うんですが、ちょっと数をお聞きしたいので、令和5年度中に出生された赤ちゃんの数を、まず、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

（市民課かの声あり）

○子育て支援課長（松村清子君） すみません、今、ちょっと手元に資料がない状況でございます。申し訳ございません。

（じゃ、駄目だね、しょうがないねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） しょうがないね。

（部長、答えられますかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 部長、答えれます。

○健康福祉部長（中村泰正君） 大体、おおむね500名程度かなというふうに思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1学年、大体、五、六百だね。

清水委員。

○清水義昭委員 ということで、その59ページの、何ていうんだ、上から、米じゃないな、アスタリスクのところの一番下かな、子育て応援交付金っていうのがあって、令和5年4月1日以降に出生した子の養育者ということで、これが、多分、子どものほうの数じゃない

くて、多分、保護者のほうだとは思っているんですが。だったとして、双子ちゃんとか三つ子ちゃんとかも多分いると思うんで、これより多いっていうふうに思うんですが、その下のハローウッドプロジェクトでお渡ししてるのが466件というふうにちょっと少なくなっているのと、1つ前のページの赤ちゃん訪問の数も少し少ないんですよ。これは、どういうふうに見たらいいんでしょうか。なぜ少ないのかっていうのが分かればお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 出生数に対してということですか。

○清水義昭委員 そうです、そうです、はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 出産・子育て応援交付金事業の子育て応援交付金が、5年4月1日以降に出生した子の養育者数518人となっており、ハローウッドプロジェクト事業が503人、それから、赤ちゃん訪問の件数が477人というふうでございますが、それぞれ、そうですね、子育て応援交付金につきましては、赤ちゃん訪問のときに……。ごめんなさい、赤ちゃん訪問のときに手続をお願いはしているんですけども、ちょっと、もしかすると、タイミング的に同じ方が全てというところではない状況になっております。ちょっと説明が分かりにくいかと思っておりますけれども。

○子育て支援課長（松村清子君） ハローウッドプロジェクトにつきましては、出生届を出されたときに子育て支援課においていただいた方にお渡しをしている事業となっております。

赤ちゃん訪問につきましては477件でございますが、20件ほど、里帰りをされてまして、里帰り先での赤ちゃん訪問を受けていただいたりですとか、あとは、医療が、出産後に医療が必要なお子さんで長期入院されてる方などもいらっしゃいますので、全てのお子さんに訪問が行けてない状況となっております。ただ、その方の状況は全て把握してる状況でございます。

以上となります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中村部長、補足はいいですか。いいですか。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと、今、答弁の中で、ハローウッドプロジェクトが503人っておっしゃられたかな。ちょっとここに記述がないと思うので、それを確認……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、それ、先に、松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） すみません、466件の間違いでございました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ハローウッド、今のは。

○子育て支援課長（松村清子君）　そうですね、ハローウッドプロジェクトは。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　清水委員。

○清水義昭委員　ということは、令和5年度の、これ、初めからやってると思いますけど、ハローウッドプロジェクト、出生届を出しにこられた方のそのタイミングでお配りしているということで、どういうことなんだろう、466って。多分、少ないんですけど、これは、そのお受け取りをお断りされてるっていうようなことなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　すみません、受け取りをお断りされてるというような状況はございません。

　　以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　詳しいことは、また。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　清水委員。

○清水義昭委員　何が知りたいかっていうと、要は、その出生された数がどれくらいかっていうのをまず知りたいのは知りたいんですけども、あと、これ、ハローウッドプロジェクトって、多分、その出生された赤ちゃん全員が対象にお配りするものだと思っているので、ここの数が少ないのは疑義があるなと思ってお伺いしているので、そこはちょっと明確なのが欲しいかなと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　じゃ、再度、答弁願えますか。出生数と、そのプロジェクトの人数の差異。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　いいですか、市民課のほう。市民課。2款だったってこと。

（また総括で聞いてくださいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　総括でいいですか。

（そうしたら、部長が答えられるの声あり）

（あっちに聞いてくださいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　部長が答えれる。

　　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　それぞれの事業が、交付するタイミング、お渡しするタイミング、訪問するタイミングがちょっとずれがございますので、その関係で数が異なっている状況となっております。説明不足、申し訳ございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 年度またぎをする可能性があるということですか。

○子育て支援課長（松村清子君） そうです、はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 部長、補足はいいですか。

○健康福祉部長（中村泰正君） いいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと確認なんですけど、これ、ハローウッドプロジェクトが、まず、この款かどうかは分かんないんですけど、これ、この年度からじゃなかったんじゃないかなかったです。何か前の年度からついたような記憶があるんですけど、それは、年度またいだとしても、そんなに激減するような数じゃないと思うんですが、ちょっとその辺についてお伺いします。

（でも、渡してるんでしょうの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ハローウッドプロジェクトにつきましては、数年前から実施している事業となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 同じだけ連れてくという意味でしょう。

（そうそうそうそうの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 詳しく調べられるので、総括でまた聞いてください。

（総括かの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかに質問はございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書153ページ、4款1項3目、骨髄ドナーの実績とがん患者のウィッグの実績が差があるように見えるんですけど、先ほどの質問なんかでも同じように、骨髄移植のドナーっていうのは、これ、実例がなければ年度ごとに幾らでも変わるからっていうそういうふうに理解をするし、がん患者のウィッグのほうというのは一定の需要というか実績が割と平均的に上がるからというふうに考えればいいですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 質問、分かりましたか。いいですか。答えられますか。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 骨髄ドナーの事業もがん患者ウィッグについても周知はしておりますが、昨年度も同様、骨髄ドナーのほうは実績がなかったということ、がん患者につきましては、がんの拠点の病院には周知したりとかしておりますので、一定の周知効果があり、申請いただいているというふうに理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書62ページの真ん中の東部知多衛生の負担金についてですけども、また5,000万ほど上がっているんですけども、これは全部償還金が増えた分っていうふうなのか、何かほかにも要因があるのか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 東部知多の負担金については、マテリアル事業債というものの償還のために増えております。

以上です。

（公債費ですの声あり）

○環境課長（松本裕介君） 公債費です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のマテリアル事業債ですかね、それは、また、今まで改修のためのその事業債の償還だったと思うんですけど、それとまた別のもので何か改修等されたっていうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 既に行われた工事の起債の公債費になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その東部知多で行われているその事業債に関しては、これ、交付税とかで見てもらえるんでしょうか。財政のほうがいいかな。

（中村部長だなの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中村部長。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 恐らく、交付税の対象になってくる事業債を利用しているのではないかというふうに思います。

すみません、終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 言い切ってもらわないと、恐らくでは。浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） すみません、交付税に基本的には算入されております。終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の59ページ、健康推進費の中の、これ、健康推進活動事業ってあるんですけど、これ、いろいろな健診があって、それで人数も出てるんですけど、この特定健診とかこういったもので報告が、結果が出てくると思うんですけど、要検査っていうそういった報告というかそういう結果が出たっていう方の人数というのは把握されてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） それぞれ、がん検診につきましては、生検者数を把握しております。

今、手持ちの資料にはありません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 それ、その要検査とかそういったもので報告は、一応、今は手元に資料はないということですけど、把握はされてるということで、その後の追跡調査、要は、病院にかかったかとか治療したかっていうそういったことは、調べてみえますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 必ず要精検率については目標を100%にしてはしておりますが、もちろんそれに到達はしてはしてませんが、再度繰り返し、まず病院のほうに健診結果を送ったときには、精検結果をお願いしますってことも送っておりますし、結果のほうが届かない方につきましては、再度再通知という形で精検のほうの勧奨をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の62ページ、一番下の資源回収量実績というのがあります。これでプラスチック一括回収事業が始まって、令和4年の10月かなで始まって、今回、金額が載ってないんですよ。この金額は幾らになるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） プラスチック一括回収をしたときにかかる費用ということでよかったですでしょうか。

（はいの声あり）

○環境課長（松本裕介君） お答えします。

すみません、プラスチックの処分に係る費用と容り協への支払いと合わせると、4,300万円ほどがプラスチックの処理にかかった費用ということになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、4,300万っていうのは、その回収して処分する費用かなと思ったんですけど、一括回収するための費用っていうのはどれくらいかっていうことと、これ、何で今回から資料からなくなってしまったんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 一括回収については、令和4年の10月から始まっておりまして、令和4年度決算の際に御説明をさしあげたということになります。令和5年度については、記載をしなかった理由としては、切り分けということがなかなか難しいという部分で記載はしませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のとちょっと関連しますが、実績報告書の114ページの資源処分委託料のこの資源処分業務委託に今のプラスチック一括回収も含まれているっていうことでしょうか。

ちなみに、対前年度で130万円ほどアップしてるんですが、それがまるまるプラスチック一括回収による増って見ていいんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 資源処分業務委託、こちらにプラスチック一括回収の分も含んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの62ページの資源回収量実績の一番下で廃食用油というのがあるんですけど、これは、給食センターの天ぷら油は入ってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 給食センター、事業ごみじゃないか。

（だよねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 入っておるといふう、入っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 入っとる。言い切ったな。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのプラスチックの一括回収ですけれども、市として成果はどういった成果が出たっていうふうに見てますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） プラスチック一括回収の成果でありますけれども、まず、プラスチックですので、重さ的には、やはりそこまで重くはないという部分なんですけれども、やはり法律の要請に基づいてプラスチックを適正に処理するということが大前提でありますので、そういったところで、市民の皆様の分別の意識であるとかそういったところの向上という部分の成果は十分に出ています。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 63ページの真ん中の一般廃棄物処理基本計画で昨年度作成されたということなんですけれども、これは、一般廃棄物ですね、をどういうふう処理していくかっていうことですが、今後10年間、どういう方向性の計画で、これは、進行管理は、どのようにやっていくんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 一般廃棄物の処理基本計画でございますけれども、向こう10年間にどういうふうにしていくかという部分になります。その中で、やはり大きく、基本理念「未来へつなぐ 資源循環都市 とよあけ」ということで、当然、ごみの発生の抑制であるとか資源の再利用ですね、資源と、あと、資源とごみをきっちり分けて、どういったものが資源なのか、ごみなのかという部分と、資源、ごみを適正に処理するということで、2033年度までの計画となっております。数値の目標についてもございますので、そういったところで適正に進行管理をしていく、していきます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の63ページの粗大ごみ回収と民間ごみ回収量、家庭系のところなんですけれども、年々少しずつごみの量が回収量が減ってると思うんですけれども、

努力などされたことなどがありましたら教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） やはりごみの量、粗大ごみの量、回収量も減っております。皆様、市民の皆様がリユースであるとかそういったものに取り組んでいただいている成果であると認識しています。そういったところに関する啓発というのは日々行わせていただいております。年間のごみの量も、やはりそういったことで減っておるといふふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の、ごみ、年間ごみ回収実績量というのありまして、可燃ごみは燃やすんでしょうけど、不燃ごみって、どういった処理になるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 不燃ごみにつきましては、東部知多で破砕処理を行います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの一般廃棄物の処理基本計画のことですけれども、この計画の中で、ごみをどのようにして減らしていただくか、どういう政策で減らすとか、そういった、あとは、どれぐらい減らすとか、そういったことまで書いてあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 数値の目標としては、処理計画、基本計画で書いてございます。家庭系のごみの排出量の削減のことであるとか事業系ごみの排出量の削減の数値というのは、目標として書かさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところに関連するのかな、令和5年度の家庭系ごみ排出量と、これ、毎年出していらっしゃる数字なんですけど、家庭系ごみ排出量と事業系ごみ排出量と資源化率と最終処分量、これ、毎年、市、出てますけど、最新の令和5年度の数字、お願いします、4つ。載ってない、家庭系ごみ排出量1日1人当たり何グラムとかっていうのが。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これ、中村部長、違う。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 家庭ごみの、家庭ごみ1日当たりの排出量ですけれども、令和

5年度が1日当たり453グラムです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

答弁漏れ。

ふじえ真理子委員、もう一度、お願いします。

○ふじえ真理子委員 あと、毎年、これ、出している事業系ごみ排出量の同じ1日のグラム、あと、資源化率、パーセントと最終処分量っていうのがあるんですが。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これ、中村部長。違う……。中村部長。

松本課長。

ちょっと、お待ちくださいね。

○環境課長（松本裕介君） 委員長、後ほど、お答えします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 関連ですか。関連じゃないほうがいいんですけど。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、違う課で、実績報告書の58ページの一番下で産後ケア事業ですけども、かなり増えてるんですけども、これは場所が事業所が増えたのか、補助を変えたのか、この要因は何ですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 事業自体の拡大は、今年度、6年度からになりますので、実際には5年度は事業所数が少し増えたというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の124ページの3目 健康推進費のところです。新型コロナワクチン個別接種促進支援事業助成金というのがあります。これ、事業者名が2つクリニックが書いてあるんですが、これ以外にもこういった個別接種やってるかと思うんですが、この727万7,000円っていうのは、どういう中身ですか。ほかのクリニックとかはなく、この2つだけっていう理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） この事業の全体につきましては、歳入歳出決算書の155ページの下から3行目というか、こちらが、全体の19医療機関の総合計になります。124ページにつきましては、100万円以上の実績ということで、こちらの記載になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の159ページの休日診療所についてですけども、先ほど、部長も少し説明しましたが、医療材料費がすごく上がってるんですけども、この理由は何ですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 令和5年度は、インフルエンザも早期に流行しておりますので、同時検査の検査キットが主に増えている原因となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それから、あと、環境課になるんですけども。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 環境、質問してもいいですか。

○林 ゆきひろ委員 大丈夫ですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと、ちょっと待って。

先に、じゃ、答えます。

どうぞ。

○環境課長（松本裕介君） 先ほどのふじえ委員の御質問なんですけども、まず、資源化率が、すみません、28.31%です。事業系の、すみません、ごみの1日当たりというのが、すみません、算出をしてないので出せませんけれども、事業系のごみを、令和5年度の事業系ごみの量としては2,896.41トンという形になります。

あと、もう一個、もう一つは何でしたかね。

（最終処分量の声あり）

○環境課長（松本裕介君） 最終処分量……。

（年間トン、トンでの声あり）

○環境課長（松本裕介君） 年間、トン……。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 環境以外で質問のある方、見えますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、ちょっと待ってください。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみません、最終処分量というのが、豊明市ごみの最終処分量としては1万7,092.92トンになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 環境課ですけど、CO₂削減についてですけども、国がゼロカーボンで2030年までに46%削減っていうふうですけども、本市の場合はどのぐらい成果が出ているのか、そして、令和5年度は、こういった事業をされていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、令和5年度のCO₂の量というのは、ずばりの数値は出ておりません。何をよりどころにするかという、自治体カルテというものがございまして、そちらの中で、国がCO₂の量を人口であるとかもろもろで割り振った分のCO₂の削減量というのは出ております。その最新のものでいいますと、令和3年度までが最新でございまして、その中で見ると、令和元年、令和2年と減っておったんですけども、令和3年度は、令和2年度が336万4,000トンだったんですけども、令和3年度は338万8,000トンというふうに、若干、すみません、増えております。ただ、こちら、算出の仕方は、なかなか難しいので一概には言えませんが、豊明市としては、今年度……。

決算なんで、すみません、今年度じゃないですね。

CO₂を市民の皆様に、こういった電力だとかそういった使用量を使っているかというみんなの算定ツールというのがあるんですけども、そういったものを環境フェスタや何かのイベントで啓発させていただいて、数値を集めて、市民皆様、お一方お一方のデータから推計をしようということをやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認で、ちょっと分からなかった部分があるんですけど、要するに、5年度で、この1年間でどれぐらい減ったっていうところはつかめてない。自治体の自治体カルテのほうから、それは抽出というか確認してっていうようなことになるってことなんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、別のところですけど、63ページの一番下のし尿収集量のところで3点ありますけど、し尿は仮設が物すごく急増してるんですけども、その理由、

それから、浄化槽汚泥、これは、これ、確認ですけど、合併浄化槽も、これ、含めて、これ、基数って入っているのか、それから、昨年より減ってるんですけども、この減ってる理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、し尿の仮設の件数ですけど、最終くみ取りの報告をもって、くみ取りが終わったというふうに判断をしますので、その報告がない分については、仮設が生きておるというふうに判断をしております。なので、いろんな大きな工事とかそういう部分で使う期間が長ければ件数としては伸びるのかなというふうに思います。

以上です。

もう一個、浄化槽の汚泥については、合併浄化槽の分も含まれております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 減った理由は。

（結構減ったの声あり）

○環境課長（松本裕介君） 減った理由については把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の61ページ、これは環境監視員の活動の欄ですね、上のほうなんですけど、閉庁日も対応できるよう、2名の監視員による監視活動を努めたっていうことであるんですけど、これ、平日も、あと、その閉庁日も、いずれも2名。これ、今、2名の方が、警察OBの方だと聞いてるんですけど……。

（環境ですかの声あり）

○浅井たかお委員 はい、両方ともいない……。

はい、環境のことですね。

両方ともいない、両方ともいないっていうことがあるんですけど、そういったときは、どのように……。閉庁日は仕方がないかもしれないですけど、もし2名ともいない場合は、どのように対応されるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 環境監視員の方につきましては、基本的に1名は勤務していただくという運用にしております。何かで2人ともいらっしゃらないということがあれば、職員のほうで対応します。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) これにて4款 衛生費……。

(すみませんの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ごめんなさいね、実績報告書でいうと60、環境のところなんですけれども、ページ数は。先ほど、林委員が少し触れましたCO₂削減のところなんです。脱炭素社会、向かっていくに当たって、令和5年度、生ごみ堆肥の促進の購入補助だとか、先ほど御説明くださった市民一人一人のそのCO₂の換算のデータを推計を取る。あと、一括回収、プラの一括回収だとかいろいろあるんですが、それ以外で、ほかにこの令和5年度で取り組まれたことってというのはあるんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松本課長。

○環境課長(松本裕介君) 環境学習というか環境教育というのが非常に大事だというふうに認識しておりますので、環境フェスタ等のイベントでお子様にそういったものの啓発をさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浅井さん、よかったですか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどと同じく環境の監視員活動についてですけど、これは閉庁日にもしお二方見えないときは、どのようにすればいいでしょうか。

(職員の対応でいいんじゃないのの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松本課長。

○環境課長(松本裕介君) 基本的に閉庁日にお二人ともいないということはございません。ただ、万が一、いらっしゃらないということであれば、早急に対応しなければならないものについては職員対応しますし、開庁日で大丈夫な、大丈夫というかものに対しては、開庁日に対応します。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 松村課長。

○子育て支援課長(松村清子君) 先ほど、清水委員から御質問のありましたハローウッドプロジェクトの関係なんですけれども、令和5年の出生数が486人ということになりますので、ハローウッドプロジェクト事業としては466件ということで、年度をまたいでというところでの数の違いだというふうに御理解いただければありがたいです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） たまたま22人またいだってことね。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど、林委員から東部知多衛生組合の負担金のところで、普通交付税つきの市債云々という御質問があって、私、片方しか答えておりませんでしたので、改めて回答させていただきます。

東部知多衛生組合の負担金については、基本的には交付税措置ありの市債を利用しておりまして、それも我々の負担金には考慮されておりますし、負担金そのものも我々の普通交付税のところの事業に入っておりますので、そういった形でしっかり措置されているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の59ページの真ん中辺りのハローウッドプロジェクトの関係のところ、先ほどお答えいただきました出生数が令和5年度が486人ということでお伺いしましたが、ちょっと分からないのが、ハローウッドプロジェクトの上のところの子育て応援交付金というのが、その令和、これ、5年度中に出生した子の養育者518人っていうふうにあるんですけど、これはどういうふうに見ればいいのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらの子育て応援交付金でございますが、上のところに注釈があるものの、すみません、子育て応援交付金については注釈がないので分かりにくくなっております、申し訳ございません。

こちら、令和5年4月1日以降に出生した子の養育者のことしか書いておりませんが、令和4年度からの引き続きの事業となっておりますので、すみません、状況によっては、例えば、令和5年の3月、2月に出生したお子さんについても4月以降に赤ちゃん訪問などをしていれば、そこで交付金の申請をしていただいて支払いの人数に加えているという状況がございました。申し訳ございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 総括で聞いてください。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、理事者の説明の入替えのため、5分間休憩といたします。

午後3時11分休憩

午後3時16分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5款 労働費について説明を願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、5款 労働費の決算概要を実績報告書に基づき説明いたします。

実績報告書の64ページを御覧ください。

1目 労働諸費です。前年度比、ほぼ同額です。主な理由は、移住支援金の申請がなかったため、旅費及び職業訓練校への負担金のみの支出となっております。

以上で5款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書64ページで1番の地元企業就職ガイダンス、これは、豊明市に住んで豊明市に就職するとか、逆のパターンもあると思うんですけど、これの就職実績はどうでした。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 個別の追跡調査は難しいものですから行っていないんですが、ただ、昨年この場で同じ同様の質問をお受けいたしましたので、私、現場のほうで参加企業さんのほうに確認をしたところ、毎年ではないんですが就労につながっているとの回答を得ております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 課長がお話聞いてきたってことなんですけど、具体的に、その企業に対してとか、あと、参加された方、来場者に対して、アンケートとかそういうものっていうのは行ってないんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） アンケートは行っております。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その中で、満足度であったりだとか実際にマッチングが何件あったとか、そういったことまでは聞いてないってことなんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） その場で行うアンケートですので、そこまで……。ごめんなさい、そのマッチングまでの回答はないんですが、満足度としては、やはり、今、このデジタルが進んでおるんですけど、参加される企業さんというのは対面式をかなり重視されてる企業さんが積極的に参加していただきますので、この就職フェアとしての満足度は、参加者も、それから、参加企業さんからも高いものがございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、決算書の中に、167ページですけども、職業訓練校事業協力金っていうのがあるんですけども、実際、これは何か利用されたりとかってあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） この職業訓練校の協力金というのは、職業訓練法人の、これ、ごめんなさい、ちょっと長いんですが、愛知県建設職業訓練協議会というところが主催する職業訓練事業に、その市内の企業さんの社員の方が参加をして技術を学ぶという場になっておりますので、そこに対する負担金ということで拠出しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（以上ですの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農業水産業費について説明を願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、6款 農林水産業費の決算概要を実績報告書に基づき主なものを説明いたします。

実績報告書の65ページをお願いします。

1目 農業費、1目 農業委員会費です。前年度比約160万円の増額です。主な理由は、農地関連システム整備を実施したことによるものです。主な事業としましては農業委員会事務で、農業委員会総会を毎月1回開催いたしました。

2目 農業総務費です。前年度比約740万円の増額です。主な理由は、年度途中の人員配置の変更による人件費の増額によるものです。主な事業としましては、農村環境改善

センター管理運営事業です。

3目 農業振興費です。前年度比約490万円の増額です。主な理由は、地域計画の策定、新規就農者に対する補助を行ったことによるものです。主な事業といたしましては、米の生産調整推進対策をはじめ、各種農業団体や新規就農者の育成指導、農産物の品質向上や農業経営合理化を図るための支援を行いました。

次に、67ページをお願いいたします。

5目 農地費です。前年度比約530万円の増額です。主な理由は、農水管カメラ調査業務委託などを実施によるものです。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 ありがとうございます。

では、実績報告書の66ページの9番と10番の実績、何件分か、それぞれ教えていただけますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 9番と10番につきましては、それぞれ新規就農者の方、1人ずつとなります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 今回の就農のその1件ずつは、同一人物ではないってことですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 別々の方でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書67ページの畜産事業費、一番上、これの前年度が決算額9万1,658とあって、前年度、今回1万3,916になってるんですけど、これは、どうしてこれほど減ってしまったのかという理由は分かりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 昨年度もちよっとお伝えしたんですけれども、こちらは養鶏農家に対する補助でございます。ただ、御高齢の方で新たに鶏を飼うっていうことはしてないものですから、段々数が減ったということで、このような実績となっております。以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の65ページの一番下、新規野菜、ブランドの件ですね、カリフローレってやつですね。これ、いつからちよっとやってるか分からないですけど、これ、どれだけ増えたのか、知名度、どうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 知名度につきましては、全国的に有名かということにつきましては、そこまで認知度は上がってないかもしれませんが……。数にしましては、令和4年度に比べまして約1.2倍となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書67ページの土地改良事業、農地費の土地改良事業の下のほう、大府市排水機場負担金300万の少しずつありますけど、これはどういったものでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 豊明市の下流側に当たります大府市さんが維持管理運営する五ヶ村川第3排水機場というのがございます。こちらの維持管理費の約33%を豊明市が負担するというものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 すみません、ありがとうございます。

実績報告書の65ページ中段ぐらいで農地利用最適化推進事業のところ、去年は206万8,000円だったんですけど、300万超えになってるんですが、その理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、前年度の農地利用最適化活動に対する補助金となっております。ただ、国の総額をポイント制で配分されるっていう形になりますので増額した理由っていうのははっきりとは分からないんですが、ただ、前年度に比べて、また皆さんしっかりと活動していただいたことによるものだと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連です。資料ナンバー1の③、ありがとうございます。活動時間と、これ、内訳、頂きました。これ、1人当たりのその活動日数っていうのは、資料を見ると月に12日って書いてあったんですが、令和5年度は、この皆さん、平均というのか、すごく時間数に幅があるわけですけども、その活動日数的には、どんなふうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 活動日数につきましては、1人当たり7日から27日程度ということで幅はございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の66ページで一番上の新規野菜PRシール印刷代というのは、何枚ぐらい作ったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは2万4,000枚となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー3の⑨で地区計画の策定に向けたアンケート調査の結果ですけども、幾つかお聞きしたいんですけど、まず、送付対象農家1,379件ということなんですが、この送った1,379件というのは、どのように選んだのかということと、それから、これは、このアンケートは、その耕作者の年齢と今後の意向、後継者の有無と、この3つを聞いたっていうことでよろしいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、1,379件の対象につきましては、300平米以上の農地を所有または耕作されている方ということで、市内、市外、問わず送っております。

アンケートの内容なんですけれども、今後の農業経営の意向、後継者の有無、耕作者の年齢、あと、個別に農地ごとの所有農地の意向というものをお伺いしておりますので、こちらのほうに公表できるのはここまでということで御理解いただきたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの66の新規野菜の下の豊明産農産物PRシールってあるんですけど、これは、どこら辺の地域まで、豊明のこれのシール貼ったものに行くんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） この豊明産農産物PRシール作成事業なんですけれども、今年の6月にオープンしました沓掛にあります産直施設のオープンを契機に20万枚ほど印刷しております。ただ、その産直施設に出荷するだけでなく、インショップとかに出荷される方も貼っていただくのと、あと、直売の方も貼っていただいているんですから、そういった意味では、もしかしたら全国的に広まっているのかなというふうには想定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 同じページの下の8番かな、有機農業に取り組んでいる農業者への交付って書いてあるんですけど、これは何名でしょうか。申請の仕方、あと、今後の目標というのを教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、1名というふうになっております。

申請方法につきましては、国の定めた様式にのっとってやっておりますので、直接その農業者さんのほうがこちらのほうに申請していただくと。

PRという観点で行きますと、ごめんなさい、有機農業をされてる方からお申出があったりだとか県のほうでもPRしておりますので、そちらのほうで御利用いただければ、私どもは申請を受け付けるつもりでおります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのアンケートについてですけども、先ほど、市内外に問わずということですけども、市内に農地がある方にアンケートを取ったということでもいいのかということと、その後、地域における協議の場で話し合いをしてると思うんですけども、それは、それも市内外に限らず、参加者募ってといますか、そういうふうで話し合っているのかどうか、どうなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、一番最初の御質問は、委員のおっしゃられたとおり豊明市の農地を所有または耕作している方ということになります。

2つ目の御質問の協議の場につきましては、豊明の農業をどういうふうにしていくかということですので、これにつきましては、市内の在住の方というふうで募っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう少しお尋ねしたいんですけども、このアンケートの結果を見ますと、最初の耕作者の年齢の右下に後継者なし年代別ということは、右下の後継者の有無をなしで53%、この方が年代がこういうふうな割合っていうふうに理解していいかということと、先ほど、ちょっと聞き漏らしてしまったんですけど、非公開の部分っていうのは、どんなことを聞いているんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、1つ目の質問なんですけれども、委員のおっしゃられるとおり、後継者の有無の③のなしの53%の方が左側の耕作者の年齢、こちらのほうの内訳となっております。

2つ目のアンケートのちょっと非公開の部分につきましては、農地ごとの意向ということで、自ら耕作、今後やってくるのかとか、貸出ししたいのかとか、そういったことを1筆ごとに確認をさせていただくっていうアンケートとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じく、農業委員会の関係です。令和5年度に農業委員会に届出のあったその農地転用で、要は、農地から宅地に転用された、その判断された件数が分かればお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、実績報告書の65ページの農業委員会事務のところの農業委員会総会を毎月1回開催し付議案件を処理すると、こちらの付議案件を処理する件数でお答えさせていただきたいと思います。こちらは、調整区域の農地転用ということになります。4条につきましてはゼロ件でございました。5条につきましては38件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 以上で……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 68ページの林業費のところ、伐採届、森林の所有者変更届の受理とかあるんですけども、これは何件それぞれ出ている、どのくらいのこの民有林の広さなんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 加藤課長。

○農業政策課長(加藤直美君) まず、伐採届出の件数と面積をお答えします。4件で1.14ヘクタール、所有者変更届につきましては3件でございます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちなみに、伐採した後、例えば、ソーラーパネルをつけるとか、産廃の埋立てとか、そういった問題もあるような気がするんですけど、そういったことの確認っていうのは、されてるんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 加藤課長。

○農業政策課長(加藤直美君) こちらのほうは県の管轄となりまして、県の方が調査のほうに来るということで、伐採後の何に使われてるかっていうことではなくて、きちんと伐採されてるかっていうことの確認となります。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の67ページ、一番下、地域農政推進対策事業費、これのところなんですけど、これ、農用地利用計画変更申出書っていうのが、ここ、あるんですけど、これはどういう目的で農転したかっていうことと、あと、何件申請があったか教えてください。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 加藤課長。

○農業政策課長(加藤直美君) 目的につきましては、個別の案件となりますので、お答えは差し控えさせていただきます。

件数につきましては、11件でございます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ、これはどこかな、農業委員会なのか、ちょっと、ごめんなさ

い、農業費全体になるんですが、農地バンクについてちょっとお尋ねしたいんですが、令和5年度の農地バンクの登録状況というのはあるんですかね。新規のものがあるのかなのか、登録状況、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 農地バンクの登録総数につきましては、ごめんなさい、数字は持ち合わせておりませんが、令和5年度の新規の登録については、ございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて6款 農林水産業費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について説明をお願いします。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、7款 商工費の決算概要を実績報告書に基づき説明いたします。

実績報告書69ページをお願いします。

1目 商工総務費です。前年度比約190万円の増額です。主な理由は、商工人件費の増額によるものです。主な事業は、本市のブランディングを進めるとよあけ花マルシェ事業やふるさと納税業務、企業再投資促進補助金の事業認定を行いました。

次に、70ページをお願いします。

2目 商工振興費です。前年度比約4,200万円の増額です。主な理由は、市内の製造業2者に対して、企業再投資促進補助金及び中小企業再投資促進補助金を交付したためです。主な事業は、商工会への補助事業のほか、信用保証料の助成や再投資促進補助金の交付、また、地元応援割引券事業を実施いたしました。

次に、71ページをお願いします。

3目 観光費です。前年度比約340万円の増額です。主な理由は、4年ぶりに桶狭間古戦場まつりが開催されたことにより、市観光協会への補助金が増加したためです。主な事業は、市観光協会への補助で、古戦場まつり、甲冑製作教室やイルミネーション事業などに対して助成いたしました。

次に、72ページをお願いします。

4目 消費者行政推進費です。前年度比約65万円の増額です。主な理由は、土地区画整理組合に対して、都市ガス導入の補助金を交付したためです。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 では、質問させていただきます。

実績報告書の71ページ、3目 観光費の中の1番、観光協会に対し補助金を1,000万出したということで、下に4つ内訳があるんで、それぞれの金額の内訳が分かるようでしたら教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 補助金のところでございますね。

（はいの声あり）

○産業支援課長（塚谷友昭君） まず、桶狭間古戦場まつりにつきましては665万円、甲冑製作教室が59万円、イルミネーションにつきましては160万円となっております。4つ目の黒ポチはグッズの売上げということになりますので、これは入ってくるほうのお金になるんですが、令和5年度、大変グッズ販売に力を入れまして、172万7,246円の売上げとなっております。

以上です。

委員長、ごめんなさい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 大丈夫です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書69ページ、下のところ、2番目なんですけど、企業誘致ということで柿ノ木工業団地に分譲の申込みということが書いてあるんですけど、これの申込み状況と、あと、愛知県企業庁のほうの協議ということで、どのような協議内容になってますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 令和5年度の実績ということで申し上げますと、二次分譲を5区画に対しまして6社の申込みがございました。

企業庁との協議ということに関しましては、募集要項の内容であるとか評価内容等の協議となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 今の柿ノ木の工業用地は……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） マイク。

○いとうひろし委員 今、何社ぐらい、もう決定したんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

ちょっと待ってね。

（5年中の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 5年度の話なんで、すみません、質問……。

（取り消しますの声あり）

○いとうひろし委員 取り消します。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと似た質問なんですけど、5年度は、決まって、まだ決まってない、未定ということで、まだ未定のところが5年度中でどれぐらいあるのかということと、先ほどの企業庁との協議ってということで、例えば、市内のその環境面のことだったりとか、市内のその従業員のこと、市内雇用のことだったりとか、そういうその協議とか調整っていうのもされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 協議の内容につきましては、今、林委員がおっしゃられたようなことの協議は行っておりません。

二次分譲、5区画に対して6社の申込みに対して、3社は決定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告報告の70ページの1番目、地元応援割引券委託料です。これで一番使われた店は幾らでしょうか。また、使われてなかった店は、幾らになるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 前も説明したね、同じ質問。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 一番金額が多かったものについては728万3,600円、一番

実績がない事業者もおりますので、ゼロということになります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今回、マルシェにも使われるようになりましたが、その辺の実績、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） マルシェでの申込みは、ございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書72ページの一番最後、豊明市都市ガス導入補助事業というところなんですけど、この豊明寺池土地区画整理組合に、この68万6,400円っていうこの補助が出てるんですけど、これは、店舗用なのか、一般の住宅のものも入ってるのか、どちらでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらの補助金につきましては、都市ガスの本支管の工事費の一部を補助するということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の70ページ、一番下になりますけど、中小企業等再投資促進事業です。その中の促進補助金、1件で、これ、1,000万になるんですかね、この辺で、これ、この会社に対しての増収は見込めるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 増収ということでいえば、間違いなく増収にはつながると思いますが、個別に算出等はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書69ページの一番下の創業支援ですけども、40名参加あったということですが、実際に創業に結びついた件数、何件あるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 豊明市、11名参加ございましたが、その後の追跡調査までは至っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 追跡調査してないということなのですが、これ、まちづくり指標で、創業件数、増やしてくってというような目標があって、これ、あるんですけど、減少傾向にあるんですね。今回、これ、見ても、創業支援っていうのはこれぐらいしか見当たらないんですけども、ほかに何か創業支援っていうのは何かされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 予算的な部分ではないんですが、こちらの創業セミナーが、やはり受けていただくということもかなり重要ですので、図書館で、この創業セミナーに合わせて創業本の特設コーナーというのを作りまして、その創業に対する関心を高めるというような取組は行っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の72ページの消費者行政推進事業のところですが、1番の相談件数は、そう変わってないんですけども、窓口相談と電話相談、メールもあるんですかね、その相談の内訳と、あと、令和5年度のこの212件のその相談の内容のその傾向と、この何か分析というか、そういうのがあればお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 相談件数212件のうち、電話での相談が136件、窓口が76件、メールは行っておりません。

昨年度の傾向でございますが、やはり定期購入というものの相談がやはり多いです。これは1回だと思っていたら、複数回の契約だったというような内容でございます。

やはり、この212件のうち、4割が65歳以上の高齢者からの御相談ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの4番目なんですけど、豊明市都市ガス導入補助事業ということで、都市ガスの本支管工事費の一部補助っていうところで寺池整理組合に出るんですけど、これは、何、住宅とかなんでしょうか。その商業地とか、こういった場所になるんでしょうか。

（さっきのとこと同じ質問の声あり）

○こんどうのぶお委員 しましたか、ごめんなさい。

(同じ質問ありましたの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) いいですか、じゃ。いいですか。

(浅井さんがしたの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 浅井さんがしたやつだね。

○こんどうのぶお委員 ごめんなさい。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 堀内委員。

○堀内ちほ委員 今、ふじえ委員が言われてたところの消費生活相談窓口のところ、消費生活相談員の謝礼っていうのが少しだけ下がってるのはなぜでしょう。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 塚谷課長。

○産業支援課長(塚谷友昭君) これは、カレンダーの日数の関係ということで御理解ください。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の70ページ、最上段のふるさと豊明応援寄附事業の減額というのは、昨年、令和5年度の年度途中にコロナウイルスのその様々な扱いが切り替わったとか、そういう何か社会的な理由とか傾向みたいなものはあるんでしょうか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 塚谷課長。

○産業支援課長(塚谷友昭君) 減少の要因、原因ということで申し上げますと、昨年度、地場産品基準というものが、何でもかんでもふるさと納税の返礼品に加えられるというものではなくて、一定の基準というものがございます。これが昨年非常に厳しくなってしまったことによって、本市の人気商品が出店できなくなるという事態が発生いたしましたことと、あと、実績だけで申し上げますと、そのPET検診っていうものが、高額な寄附額33万円というものがあるんですが、これの実績が少し減ったこと、さらには、年が明けて能登半島地震が発生いたしましたので、そちらのほうに寄附金、豊明の方は温かい方たちが多いですので、少なからずそういった影響があったのではないかというふうに分析しております。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今ので人気のあるものって何でした。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) なくなったものってことですか。差し支えなければ教えてください。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） あんかけスパゲッティです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） あんかけスパゲッティね。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のふるさと納税で、今回、1,600万の寄附であるんですけども、市外に出てってる分っていうのは、幾らぐらいになるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 午前中の歳入のところ、たしか税務課長から、たしか答弁あったと思うんですが、流出額といたしましては約2億2,500万ほどとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じく、関連です。出た額が先ほどの金額。この事務経費でかかった分が、この決算書の177ページのふるさと関係かと思うんですが、要は、何が知りたいかという、その寄附金額で入ってきた入と、事務経費だとか、あと、何だっけ、控除額で出た分、その差引き額っていうのは、どのぐらいの赤になるのか金額知りたいんですが。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） あくまで目安というかでお答えいたしますが、寄附額が1,633万8,000円でした。他市へ流れた金額、リリース額という言い方をしますが約2億2,500万円で、考え方なんです、豊明市は交付税の交付団体でございますので、75%は、流出額の75%は交付税措置されるということがございます。

さらに、寄附金額の5割は、経費、返礼品だとか、あと、システム代とかありますので、こういったところを加味しますと、実質の、本当、これ、あくまで目安ですけど、実質的な損益ということであれば、約5,000万ぐらいではないかというふうに捉えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の70ページ、71ページの下の中企業再投資促進補助金と右上の企業再投資促進補助金。先ほど、税収のほうはちょっと分からないけど、何か見

込めるといふようなことなんですけど、これ、ほかに効果っていうのは何か見込んでるのか、どうやって効果検証していくのか、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） まず、こちらの補助金の目的というものが企業の流出防止、これは、長年、市内で頑張っていたいただいた中小企業の皆さんの市外への流出を防止するというのが、まず、一番の目的でございます。また、さらには、雇用の維持拡大を図ることというのも要綱の趣旨でございますので、まずは市内に流出せずに済んだ、幾つかある市町村の中から豊明市を選んでいただいたということが、まず一番の効果であると。この2社に対して、新規雇用の確認をいたしましたところ、15人の新規の雇用が生まれたということをお聞かせしておりますので、そういった効果があるものだと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 以上で、これにて7款 商工費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのため、7分間休憩といたします。

午後3時52分休憩

午後3時59分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、8款 土木費について説明を願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、8款 土木費の決算概要を実績報告書に基づき説明いたします。

実績報告書の73ページをお願いいたします。

2項1目 道路維持費です。前年度比約870万円の減額です。主な理由は、県が行う皆瀬川護岸改修事業に伴う市負担金が令和4年度で完了したためです。

次に、74ページをお願いいたします。

2目 道路新設改良費です。前年度比、ほぼ同額です。区長要望工事を中心に合計23件の道路側溝改良工事などを実施いたしました。

3目 交通安全施設費です。前年度比約620万円の減額です。主な理由は、通学路交通安全プログラムに基づく交通安全施設整備の工事費減少によるものです。交通安全施設整備

事業全体で、合計47件の工事を実施いたしました。

3項1目 河川新設改良費です。前年度比約8,700万円の減額です。主な理由は、令和4年度に寺池土地区画整理事業に伴う既設排水路の付け替え工事を実施したためです。令和5年度の主な事業は、防災調整池治水対策事業として、井堰川排水区への基本設計業務委託を実施いたしました。

75ページをお願いいたします。

4項 都市計画費、1目 都市計画総務費です。前年度比3,290万円の増額です。主な理由は、5年ごとに更新する都市計画基本図修正作業等業務を実施したためです。

76ページをお願いいたします。

最下部、2目 市街地開発費は、前年度比約2億円の増額です。主な理由は、間米南部土地区画整理組合に補助金を交付したためです。

77ページをお願いいたします。

3目 街路事業費は、前年度比約300万円の増額です。主な理由は、都市計画道路大根若王子線と都市計画道路平手豊明線交差部の概略設計を行ったためです。

4目 公園事業費は、前年度比約3,000万円の増額です。主な理由は、館西公園の整備工事、三崎水辺公園の改修工事整備詳細設計業務委託を実施したためです。

5目 都市下水路費です。前年度比約1億円の増額です。こちらは、下水道事業会計への繰出事業で、詳細については下水道事業会計にて御説明いたします。

78ページをお願いいたします。

7目 有料駐車場事業費は、有料駐車場特別会計から移行してきたものでございまして、皆増でございます。

なお、以前の6目であった都市改造費は、有料駐車場特別会計が令和4年度で終了したことにより、繰出事業も終了しております。

以上で8款 土木費の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の73ページの真ん中辺ですね、三崎町社地内の急傾斜の崩落を防止する対策ということで、これは震度幾つまで耐えられる設計になってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 一般的にレベル2といたしまして、想定される最大震度と想定されております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 2ね。

ほかにございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員 実績報告書の77ページの道路維持費に入るかと思うんですが、前後駅前広場デッキ整備事業が当初予算の概要のほうには入っているんですけども、道路等維持修繕工事費の中にこれが含まれてるのでしょうか。今、現状、どこまで、どのようになっているか、お教え願いますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 進捗状況ってことね。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委員おっしゃるとおり、当初予算の概要に出させていただきました広場デッキの整備事業ですが、道路維持事業として5年度に早期発注を目指して7月から発注してきたんですけども、複数回の不発注によりまして契約ができたのは令和6年3月でございます。繰越明許費として5年度には実績が出ておりませんが、現場としては、5年から6年にかけて実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績報告書の76ページ、市街地開発事業なんですけれども、執行率が77%で、柿ノ木のほうは94%終わってますが……。

実績報告が76ページ。違う……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いえ、続けてください。

○岡島ゆみこ委員 いいですか。すみません。

じゃ、当初予算の概要の25ページ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いつの話、それ。その、いつの……。みんな、資料、持ってないから、そこは。

○岡島ゆみこ委員 8款4項2目……。

（決算のの声あり）

○岡島ゆみこ委員 決算の……。

(何ページですかの声あり)

○岡島ゆみこ委員 ちょっと、ごめんなさい。どっか行っちゃった。これ、何番だ、これ。ちょっと待ってくださいね。決算、これだね。

(市街地の声あり)

○岡島ゆみこ委員 市街地だよ。だから、76ページ。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 岡島委員、概要は、5年度のやつは、皆さん、持ってませんので、それは無視して。

○岡島ゆみこ委員 実績報告書の76ページですよ、実績の。76ページの市街地開発費。合ってますか。

(いいよの声あり)

○岡島ゆみこ委員 寺池の補助金が72%にとどまっているんですが、執行率が、どのような理由で、このような数字になっているのか。191ページ。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) いいじゃないの、分かるでしょう、質問。

○岡島ゆみこ委員 分かりますよね。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 分かりますか。

○岡島ゆみこ委員 決算書で191ページです。

(分かりますの声あり)

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 分かりますって。いいですか。

○岡島ゆみこ委員 お願いします。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 中田課長。

○都市計画課長(中田勝次君) 寺池の執行率の件ですが、補助金の上限額を考慮しまして、組合に対して令和5年度に当初4,500万まで支払い可能っていうことでありましたが、組合事業として工事費が当初よりも安価に抑えられたこと、かつ、保留地処分金が当初よりも高価で売却できたことから、補助金を最大限受け入れる必要がなくなったため、執行率として落ちているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) いいですか。

ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の77ページの3目、最上段、街路事業費で、この275万の概略設計というのは、これ、二村山トンネルの話ですか。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 答弁できますか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ちょっと、二村山トンネルという具体的なことが分からないんですが、これは、先ほど部長からも説明をしましており、都市計画道路、大根若王子線と都市計画道路、平手豊明線の平面の交差について、概略、いわゆる線形だとかを検討したということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、資料ナンバー4の⑥で概略設計図を出していただきましたけれども、これを見ても、先ほど、いとう委員からもありましたけれども、二村山を横切るような形で道路が設計されてるんですね。そうすると、掘削するのかトンネルなのか、どういうふうになるかちょっと分かんないです。そういうふうな予定なのかということと、それ、これは、ただ、どれぐらいかかるっていうふうな積算ってのは出てるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これ、決算でいいの。決算……。

○林 ゆきひろ委員 設計図面のことです、設計図面。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 設計図だから。

答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。

幾らぐらいかかるかという概算は、この委託の中では出しておりません。先ほど来、トンネルというお言葉があるんですが、1つの可能性として、大根若王子線について、この状態であれば、いわゆる管渠、いわゆるトンネル、内山トンネルみたいな形をイメージしていただければいいんですが、大脇内山トンネルみたいなイメージをしていただければいいんですが、そういうものであれば可能性としてはあるという、この委託の中の検討のいわゆる答えとしては出ております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 武谷さん、よかった、さっきから挙げた。

武谷委員。

○武谷としお委員 ごめんなさい、実績報告書の74ページ、2目の道路新設改良費のところです。道路新設改良舗装工事、区長要望工事等になってるんですけども、区長要望工事、年間要望数と実行数っていうのは分かりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 5年度でいいますと、要望数は67件、採択したのは33件、率

としては49.3%の採択率であります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということは、その残りが、全部、要望残というか6年度に送られてるっていう、そういう理解でいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 例えば、5年度に出た要望は、5年度中に採択して緊急でやる工事もありますし、その後、区長要望工事として次年度に発注するものもございまして、一概には言えないんですけども、4年度からの残ったものも5年度には実施しておりますし、5年度に出た要望も実施しておりますので、一概に残りがまだやれてないということではございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 要望残は、結局、何件あるっていうのは分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 要望残、言ってない。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、67件出て、33件の……。

ごめんなさい、違いますね。

要望残、要望残といいますと。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいんじゃない、67引く33でしょう。

○土木課長（外山紀元君） 採択が33件ですので、不採択をお尋ねじゃないですよ。採択したものでやってないものということ……。

（先送りした分ですの声あり）

○土木課長（外山紀元君） そうですね、すみません、一概に年度をまたぐような形で、例えば、23件、令和5年度にやったんですけども、5年度中に出た要望と4年度中に出た要望、中には3年度に出た要望もございまして、ちょっと一概には言えませんが、単純計算として、そうですね、採択30件、40件ほど採択しておりますが、全部やれるわけではありませぬので、それが要望残として、年次計画ですとか翌年度に送る形になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと確認ですけど、要望残、残ったのが次年度に必ずやれるわけじゃないですよ、不採択はできないという工事もあるので、次年度に引き続き、順番にやってくという意味じゃないですよ。

○土木課長（外山紀元君）　そうですね、年次計画を立ててやるものもありますし、もう土地の隣接所有者の方とかの反対もあったりするものもありますので、採択したからといっても、やれない工事もございます。

　　以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　確認なんですけど、実績報告書の74ページの交通安全施設費のところ、先ほど説明いただいた2番のところですね、この交通安全施設整備事業、ここの2番のところ、44件って、これ、書いてあるんですけど、先ほど、何か47件って聞こえたんですけど、私の聞き違いでしたら、すみません。どうぞ。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　1から3を合わせて47件でございますが、1件目のものは、1本の契約で大きく発注したものでございます。道路照明のほうも2件加えております。

　　以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　のぶお委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告の73ページです。上のほうの道路台帳管理事業というのがありまして、これの道路台帳補正業務委託料という、これ、何路線になるんでしょうか、何キロでしょうか、あと、修正はあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　令和4年度に工事をしたり寄附をしてもらった路線で、76路線、2.92キロの、そうですね、を反映させた台帳更新でございます。

　　以上です。

（もう一つの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　のぶお委員。

○こんどうのぶお委員　それで、交付税の影響額は、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　増えた分については影響はございますが、現時点では計算しておりません。

　　以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　実績報告書の73ページの道路橋梁費の維持費のところの調査測量設計等委託料のところ、大型カルバートの定期点検1か所ってあるんですけど、これはどこかということと、それから、この点検は、これも5年に1回なのか、その頻度を教えてください。

さい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、1点目、大型カルバートというのは、内山トンネル、桜ヶ丘沓掛線の内山のカルバートの部分のトンネル部分でございます。

で、何でしたっけ……。

（5年に1回の声あり）

○土木課長（外山紀元君） 頻度ですね。点検の頻度としましては、5年に1回の法定点検を実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その一番下のところです、道路管理事業です。これ、道路改良等に関して、民間境界の確定測量と用地寄附ってというのがありますよね。これ、それぞれ何件なんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、現時点で集計はしておりません。

以上です。

（もう一つの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 それと、もう一件で、これ、35件で1,200万ぐらいですか、これ、全額、市の負担になってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、市の発注した、市の指定した事業として、随契で公共嘱託登記土地家屋調査士協会に発注した件数でございます。

ごめんなさい、そうですね、その件数で、そうですね、官民境界確定測量等は、市の発注した市の負担の工事でございます。工事、ごめんなさい、調査でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ、実績報告書の73ページの下の今の2項1目のところですけども、先ほど、御説明で、前後駅前の広場デッキが不落になっていて、年度内ですかね、令和6年3月に契約ということですけども、これ、不落になった原因とか、契約するときにか何かその削ったとかそういうことがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　そうですね、複数回と申し上げましたが、そうですね、入札方法も変えて、公募型、指名型、一般競争と、あと、設計内容を見直しして、さらに、公募型、指名型と、実を言いますと5回不落がございました。設計内容も一部の附帯施設の工事を省いたりして発注して、やっぱり大きなものは、その工事の時期というものが不落の理由というので大きかったもんですから、こういった工事の閑散期、4月、5月の施工であれば発注できるということで、契約まで至りました。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　契約できたんだね。

○土木課長（外山紀元君）　はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　実績報告書の75ページ、一番下、都市計画事務事業のところですけど、建築基準法による確認申請っていうところですね。これで上のほうに調査意見書の作成及び県職員と工事完了検査等の立会い、違反建築、開発の調査及び指導、同行を行ったってありますけれども、これは、違法建築とかそういったものを見つけたタイミングってというのは、この工事完了検査の立会いしたとき、確認したときに見つけたものなのか、その後に見つけたものなのか、どういうタイミングでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　お答えいたします。

違法建築、開発のをいつ確認できたか、発見したかということなんですが、これは苦情もありますし、我々が市内を回ってる中で偶然というか確認、発見したというものもございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　すみません、先ほどの前後駅デッキの整備で、一部工事を外したという表現をいたしました。例えば、屋根のポリカーボネート部分ですとかそういったものは別の工事で発注しておりますので、予定したものは実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　先ほどの73ページ実績報告書の一番下の官民境界確定測量なんですけど、用地寄附を受けるために市が全額っていうのは分かるんですけど、官民境界の確定測量っていうのは、民が出すっていう、一部出すとかそういうことはなくて、もう全額公

費で設計するっていう、そういうふうになってるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらに市が発注するものとしましては、大きくは道路工事等で官民境界、必要になったもの、市が工事するための境界確定というものが大部分でございまして、民間のほうで負担する場合ももちろんございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 民間で負担するものがあるということなんですが、今回のこの35件には1件もないというふうな理解でいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの浅井委員の質問をちょっと聞き漏らしているのかもしれないんですが、実績報告書73ページの点検業務のところの28件の橋と大型カルバートは1件だと思うので、大型カルバートの点検だけの費用というのが個別に分かったら知りたいんですが分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かりますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、数字、把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） どうでしょうか、いいですか。結構です。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の75ページの先ほど浅井委員が質問された都市計画事務事業の中の立会い検査だとかってところの先ほど違反建築とか指導のそのタイミングをお聞きになったんですが、実際に令和5年度は、違反建築とかそういう指導というのは何件あったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。

指導はこれ、特定行政庁、許可権者であります愛知県が実際実施しております。我々は、ちょっと同行だけですので、現在、件数というのは、今、何件というのは、今、把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績の76ページの真ん中辺からちょっと下の地域防災拠点建築物整備緊急促進事業っていうやつがありまして、これは災害時に遮断するようなおそれのある旧耐震建築物ということで、これが木造なのか鉄筋なのかということと、あと、これ、場所は、どこなんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。

これは、RCの、いわゆる、ごめんなさい、RCって、鉄筋コンクリート造のビルでございました。

場所は、前後町三ツ屋の1号線沿いの、ちょっと具体的に分かりやすく言えば、今のラーメン屋さんっていうか町田商店さん、あそこの横にビルがあったんですが、あそこ、あのビルでございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） それ、いいの、特定して。

○都市計画課長（中田勝次君） ということです。

以上です、すみません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 大丈夫、差し支えない。

（いや、大丈夫だよの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 議事録に載せていいですか。いい。

（もう一回、関連での声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってね、ちょっと待って。

副市長、議事録、載せていいですか。

○副市長（土屋正典君） 今の場所の件は、別に公表しても大丈夫ですか。

○都市計画課長（中田勝次君） 大丈夫です、はい、問題ございません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

のぶお委員。

（個人名はの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） 個人名は、ビルの個人名は言っておりません。

（町田商店は大丈夫の声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） ちょっと、ごめんなさい、分かり……。失礼しました。

○こんどうのぶお委員 今の……。

（あそこにある場所を示して公表してということまでは大丈夫の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その今のところの関連で、要安全確認計画記載建築物除去費補助金というのがあるんですが、これの補助率って、何かあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、補助率を申し上げます。国費が対象工事費の15分の6、15分の6です。県費が対象工事費の15分の2.5、15分の2.5で市費が15分の2.5。以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどの質問の続きだったんですけど、実績報告書の75ページ、都市計画事務事業のところ、県による指導を行ったということだったんですけど、これは改善されたのかっていうことをお聞きしたいです。

あと、この確認申請の受理件数の2件と、あと、建築基準法許可申請等受理件数3件つであるんですけど、これは、どんな建物かってことを教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 違反建築に関しましては、もちろん解決したものもございしますが、今、まだ継続中、いろいろ協議継続中のものもございします。

もう一つの御質問ですが、受理件数の確認申請ということは、ちょっと建物の規模等々は把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書74ページの下の河川費の中の田んぼダム効果検討業務委託ですけれども、田んぼダムの効果、これ、検討して、どのような効果が出るっていうふうに出てるのかっていうことと、この優先地区の選定ってあるんですけども、優先地区というのは、どの辺で選定が出てますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委託のあれですかね、結果というかあれの御質問だと思いますが、まず、田んぼダムの効果検討につきましては、やはり上流部で造ったほうが効果が出る、あと、シミュレーションを実施しておりまして優先地区を選定しておりますが、治水効果が高まるころの場所まではちょっとあれですけども、検討しております。

すみません、以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この業務委託で、その具体的に場所をどこかって示して出てくるわ

けじゃないんですか、違います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 検討業務の成果品としては出ておりますが、今年度にその整備に向けて実施しておりますので、豊明の上流部、沓掛地区ということだけお示しさせていただければと思います。

よろしいですか。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、その上流部でっていうことなんですけども、その効果が出る、この検討結果でね、効果が出るっていうその田んぼの広さだったりとか、あと、そこまでに、このかかる費用みたいなそういったところは、これで出てきてますか。

（出るか出ないかだけの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 出るか出ないかで結構です。

○土木課長（外山紀元君） かかる費用としては算定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 出てるのであれば、幾らかかるかお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってね。この決算で、もう既に田んぼダムの……。

（いやの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） そんな、出てる。

○土木課長（外山紀元君） 5年度は実施しておりません。

（そんじゃ、駄目だの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、駄目だよね。

○林 ゆきひろ委員 全然、出てない。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） だって、まだ始まってないんだもん、本格的に。

○林 ゆきひろ委員 出てないってことね、じゃ。出てないってことですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 調査なんて、できてないはずだよ。

○林 ゆきひろ委員 本年度のこれではね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） うん。来年の決算の質問なら大丈夫だと思いますけど。来年まで取っといてください。

○林 ゆきひろ委員 ちゃんとした結果で出てないってことですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） はい。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、そこまで、結果は出てない。

（次の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の75ページ、これの一番下、これも人にやさしいまちづくりということで整備計画の届出書受理件数11件ってあるんですけど、この中身というのはどんなものがありますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 中身をちょっと承知はしていないんですが、具体的には不特定多数の者が利用する建物というのが大体こういう申請に該当するものですので、店舗だとかそういうものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの田んぼダムの下の防災調整池治水対策事業で、これも委託で1件2,600万で出てますけども、これによる結果で、どこにどういうふうに防災池を造るような結果が出てるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 防災調整池、これは、基本設計、井堰川水系の検討になるんですけども、もうホームページにも出ておりますけど、勅使グラウンドに調整池を造る計画をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これも、この委託の成果物で積算は出てるんですか。およそで幾らぐらい、それ、防災池、造るとできるのかというのは。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 工事費、基本設計を5年度に行いましたので、工事費の詳細というのは概算では出しておりますが、設計額につながりますので公表はしておりません。

以上です。

委員長、もう一つ、ごめんなさい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほど質問いただきました田んぼダムの効果といたしますか、上流を範囲としてどれぐらいの効果があるかということですが、私どもの想定する地域に全て設置した場合は、治水的に14%の減少率があると算定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もう一回確認だけど、全て設置したというのは、この決算で結果は出てないんでしょう。

○土木課長（外山紀元君） この決算では。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） だから、決算の内容だけで教えてください。

○土木課長（外山紀元君） 申し訳ありません。

（じゃ、要らないよねの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書76ページです。毎年、聞いていますけど、親との同居、近居の事業ですけれど、令和5年度の実績や、その1年間の市民からのその何かニーズみたいなものを見ても、この240件とね、数字はかなり令和5年度も上がりましたが、引き続き、何というかな、ニーズがあるような様子だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ニーズそのものの例えばアンケート等々で調査をしてるわけではございません。少し件数も実際減っては、昨年度より29件、実際、減ってますので、減ってはきています。ただ、ニーズはないんですが、窓口に来られる方のお声を聞くと、ありがたいなというお声は頂戴してるときもあります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それ、今の、先ほどの防災調整池の成果物のところですが、基本設計でグラウンドでされたってということなんですけども、何立米、防災池で入るのかということと、これ、基本設計ということは、さらに、これ、詳細設計で委託するの、結構金額が出てるんですけども、さらに詳細設計が必要なんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 1個目、何だったっけ……。

まず、2点目としましては、今年度に予算お認めいただいた形で詳細設計を実施する予定であります。

1点目は、立米数ですね。ちょっとお待ちください……。

後ほど、お答えいたします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かるんじゃないの、それ。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、先ほどのこんどうのぶお委員からお伺いがありました地域防災拠点……。ごめんなさい、実績報告76ページです。地域防災拠点建築物整備緊急促進事業なんですけど、これ、先ほど、ビル名、公表してるかしてないかということなんですけど、これは既に愛知県が公表しております。しておりますので、そちらを御確認くださいということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 県の資料を見てくださいということですか。

○都市計画課長（中田勝次君） はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、防災調整池、5年度の委託で算定した貯留量としましては5,500立米を予定しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 先ほど聞き漏らしたら、すみません。親との同居、近居の購入費補助ですけども、この244件というのは、多分、延べ、延べというかトータルだと思うんですけど、令和5年度の新規申請件数、分かりましたらお願いします。

実績報告書76ページのちょっと下のほうです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 近居、同居だね。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今、新規というのは、もう、それ、3年間ある1年目のことを指すんですが、新規は244のうち、65件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー3の⑦の区画整理の関係です。先ほども岡島委員からもありましたけど、ちょっと3つの区画整理についてお聞きしたいんですが、まず、この寺池のほうは、これ、全て、これ、完了したというようなことで、これは2,900万ですかね、出されたということなのかということと、あとは、次のナンバー3の……。一緒か、柿ノ木地区のほうは、これは999万って出てるんですけども、どこの部分を、これ、されたのか、ちょっとここで分かりにくかったので。それから、間米南部も、これ、2億3,600万って出てるんですけども、どこの部分に対しての補助っていうふうになってるんでしょうか。そ

れぞれお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。

まず、寺池でございますが、補助金自体は今年度で終了です。ただ、事業は、6年度、今、今日時点ではもう造成は終わってるんですけど、補助金は5年度で終わりです。

まず、2点目ですね。2点目は柿ノ木のことでございましたが、柿ノ木につきましては、2か所のために負担金を払っております。

1点目は、旧東部保育園の跡地の埋設物から産業廃棄物が出てきましたので、その処理費用負担金。これは、協定で、そのようなことになっております。

もう一点は、こちらの3の7の地図もあるんですけど、真ん中辺り、ちょっと右側にあるんですけど、県道名古屋岡崎線と私ども市道の交差点、寿がきやのちょっと東側になるところなんですけど、工場の東側になるところなんですけど、その交差点の工事でございます。

3点目は、間米でございます。

少しお待ちください。

ちょっと、すみません、分かります。よろしいでしょうか、すみません。

間米につきましては、このお金の構成は、整理地の中に入れる、13メートル、12メートル以上の道路の用地費や築造費、補償費、それと、その中ですね、奥の、13メートルの奥にある各宅地の中の狭い道、6メートルの道路等々の築造費、用地費、あとは、公園費、緑地費、あとは、調整池の築造費、あとは、水路の改良費から、委託費や工事費の地区外への設計費だとかを引いたものから今年度の支出を負担割合で出しているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のちょっと間米南部のところですけども、なので、全体的にその割合で出てるって、そういうふうで理解していいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の117ページ、4目 公園事業費の中の、こちら指定管理料です。都市公園に係る指定管理料1億1,440万の、これも、私、資料請求させていただ

いたんですが、資料が出ない理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 指定管理者側の資料でございまして、非公開となっておりますので、提出をいたしませんでした。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、公園の指定管理は、公園で例えばイベントとかやるとキッチンカーが入ったりとかすると思うんですけど、そういったイベントでの収入がどれくらいあるのか、それは確認しているか。

それから、指定管理の支出の部分で、地元事業者が幾らぐらいで発注できているか、それから、シルバーさんはどれぐらいで発注できているかっていうのは把握されてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答えれますか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。

事業報告書自体は提出されておまして、その中身には収支報告書や、今、委員お話しのような少し詳細のことも振り分けて記載、記述があります。ですので、こちらとしては把握をしておりますが、これも、先ほど同様、非公開とさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認です。収入の、そのイベントでの収入が幾らかっていうことも非公開ってことですか。

（指定管理の非公開の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 非公開ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） よろしいですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっとまた別の視点ですけど、資料ナンバー3の⑧で公園改修工事一覧で出てますけども、その中でも金額が低いものも、結構、少ないものも結構あるんですけど、9万9,000円とか。こういうものは、指定管理じゃなくて、これ、市が負担するものですか。どういう契約になってますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 指定管理におきましては、遊具等は修繕というものが指定管理との契約でございます。こちらは、今、全て、工事、施設改修工事という件名にはなっておりますが、撤去だとか新設とかそういうことで、取替えですね、更新ですね、そういうことで、修繕ではございませんので、こちら、市で計上して処理をしております。以上です。

（なるほどの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 全然違うところで。先ほどというか、実績報告書73ページの下ですね、2項1目の前後駅前の広場の話ですけども、先ほど、不落等の関係で令和5年度には執行がなかったというようなことですが、ほかに前後駅前の広場で何かその触った、工事を触ったようなことってあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） そうですね、実績報告書132ページに道路維持費で、例えば、5年度に行ったものとしましては、そうですね、駅前広場デッキ附属施設整備工事と例えばありますけども……。

そうですね、これ、附属施設とって、デッキの下部の鳥の対策ですとか排水管の修繕とかそういったものも、こちらの工事で実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 なぜ聞いたかっていうと、要求資料のナンバー3の③、3の③ですね、都市計画税の充当事業の内訳というのがあるんですけど、これの一番下に前後駅前の広場関連事業等というのがあるんですけど、等はちょっと何か分かんないんですけど、この1,000万ぐらい都市計画税から充当されてるんですよ。これが何に行ったのかなというのが気になってちょっと質疑をさせていただいてるんですけど、今のその470万ぐらいですかね、これに当たってるっていうふうに考えていいんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 78ページの有料駐車場事業ですけど、これ、特会から入ってきてですけど、ほとんど、これ、情報が入って、書かれてないんですけど、情報、ちょっと書いていただきたいと思うんですが。

まずは、前後、豊明南でそれぞれあると思うんですけど、充足率はどれぐらいか、収入がどれぐらいあるか、それから、管理業務、メンテナンス、そして、草刈りでどれぐらいの、幾らで委託しているか、営繕工事費はどれぐらいあるかっていうのを教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まずは充足率なんですけど、ちょっとごめんなさい、充足率、理解してないんですけど、まず、契約数で行きますと、前後駅南が192ですね、累計の駐車台数が5,840。

徴収実績もお話ししたほうがいいですか、金額は。

（はいの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） 161万3,480円、これが前後駅南です。豊明駅南が月ぎめで6,270円、契約数が576、累計台数が1万7,520、金額が361万7,790円でございます。

委託に関しては、こちらのまず駐車場管理をしているのが49万5,000円、駐車場の管理ですね。これは緊急のコールセンターだとか料金徴収、引き落としの関係でございます。

あと、駐車場関係の委託でございますが、草刈りのほうを2回実施しております。2回実施しております、1回目が82万5,000円、2回目が71万5,000円。これは、駐車場ですね、1回目と2回目が少し面積が違うんですけど、それは草の生え方の状況でやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 工事、営繕工事とかは、ないということでした。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今回は、4年ほど大きな工事がなかったので、駐車場の整備工事、ロープ張り直しを実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書でいうと78ページのその今の上です、緑化対策事業に関連するかと思うんです。去年、出ていた都市緑化推進事業ということで、今年、決算書が、これ、どこに当たるのかなって探して、決算書のこの195ページですかね、都市緑化推進事業補助金61万5,000円であるかっていうことと、あと、この件数で1つお聞きしたいんですけど、この原資っていうのは何だった、あいち森と緑づくり事業。要は、県民1人ずつ500円でしたっけ、徴収されたのが原資となった補助金でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりです。

（件数の声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） 件数ですか、ごめんなさい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみませんでした。件数につきましては、今回、この補助金に関しましては、個人宅で1件、出しております。あとはグリーンフェスタ関係の費用でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書185ページの下の河川改修事業のところですけども、負担金で県営名古屋岡崎線の事業負担が、これは770万ほどが出てるんですけども、河川で県道名古屋岡崎線というのは、どう……。どの辺りの工事か何かされるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 県道名古屋岡崎線の予定地、道路ができる前の状態で、もう排水路というのが横断している部分ございまして、道路ができるせいで流れが悪くなる部分については県が負担するんですけども、全体に、もう、もともとちょっと浸水する地域でもありますので、市で考える改修の上乗せ分といいますか、その分を市のほうが負担して横断暗渠を大きくしてもらおうとか、水量をより流れるような形にってもらおうというような形をしてもらうための負担金でございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほどの有料駐車場の関係です。台数が分かりましたので、お伝えをいたします。前後駅南が16台です。豊明駅南が48台、年間を通じて満車の状態ですので、充足率100%ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで、理事者の説明の入替えのために、7分間休憩いたします。

午後4時48分休憩

午後4時55分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、9款 消防費について説明を願います。

伊藤市民生活部長。

○市民生活部長（伊藤正弘君） それでは、9款 消防費について主なものについて説明をさせていただきます。

実績報告書の79ページを御覧いただきます。

1目 常備消防費は、対前年度約2,400万円の増額となりました。主な理由は、尾三消防組合分担金の増額によるものでございます。

続きまして、その下の2目 非常備消防費は、対前年度約265万円の増額となりました。主な理由は、消防団員の報酬の増額によるものでございます。

続きまして、その下の3目 消防施設費は、対前年度比で約1,720万円の減額となりました。理由としましては、消防団積載車の購入が令和4年度で全分団に配置できたということに伴う減額となります。

続きまして、その下の4目 災害対策費は、対前年度約695万円の増額となりました。理由でございますが、各避難所にカセットガス式発電機を1台、バルーン投光器を3つの避難所に配置したことによる増額でございます。

以上で9款 消防費の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 79ページの消防費の一番上で女性防火クラブ、今現在、何団体ありますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 16支部、404名です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 尾三消防組合の分担金の増額理由ですね、2,400万ほど増えてます

けど、その理由をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 主なところだと、本部庁舎、尾三消防本部の本部庁舎の空調機器取替え、それから、庁舎外の外壁補修工事、それから、車両のほうですけど、はしご車とか水槽付消防ポンプ車、高規格救急自動車の更新ということで計画的な更新がありますので、その分の増加によるものです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の説明は、全て本部の庁舎での改修っていうふうでいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 建物に関しては、そうです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 負担率は、これまでと変わらず、見直し等は、なかったでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 令和3年度から均等割30%、面積割25%、直近3年間の救急件数割25%、それから、消防費に係る基準財政需要額割の20%の4つの指標で計算しておりまして、そのやり方は変わっておりません。負担割合、5市町の負担割合の豊明市分は、おおよそ21%で推移しておりますので、割合自体は変わりはないということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書79ページの非常備消防費のところですけど、この消防団の報酬で増額になったということですけど、これは増額した理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 消防団の負担に見合った報酬を支払うということで令和5年度に見直しを行いました。特に大きく変わったところでいいますと、消防団の訓練報酬というところが、今まで1回1,000円だったのが3,500円に値上がりになっております。大きく、今回、消防団の報酬上がってるんですけど、そこの部分が大きくて、令和4年度はコロナであまり活動がなかったんですが、令和5年度はかなり活動しておりますことと、今の報酬の増額でかなり上がったということです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 ありがとうございます。

あと、各分団の団員数って分かりますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 知らない。知ってるんじゃないの、消防団なら。知ってて聞いている。

○浅井たかお委員 ちょっと変化があったんで。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いや、いや。

川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） ちょっとお待ちくださいね。

令和5年の4月1日の状況で御説明させていただきたいと思います。条例定数が181人中、定員が160人です。分団ごとに7分団まで個別で人数をお伝えいたしますと、第1分団が21名、それから、第2分団が25名、第3分団25名、第4分団23名、第4分団、言いましたっけ、23名、第5分団が25名、第6分団が18名、第7分団が20名、あと、団長1名、副団長2名という体制で160名です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 次に……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 同じところですか。

○浅井たかお委員 違います、ごめんなさい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ページ数と。

○浅井たかお委員 ページ数、ごめんなさい、すみません。

実績報告書の79ページの消防施設費の防火水槽のことなんですけど、これは、前に説明があったかもしれないですけどちょっと再確認で、これは容量、何トンの防火水槽でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 40トンです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の防火水槽の新設ですけども、これ、設置場所は館小学校の敷地内っていうふうでいいのかということと、あと、近くに建物とかはないかどうか。建物が倒壊すると、そこが使えなくなる可能性もあるので、その辺りの状況は、どうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 館小学校のグラウンドから1段下がった広場みたいなところがあるんですけど、そこに設置しております。周りはフェンスで囲まれていて、建物等はございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の80ページのブロック塀撤去のときの補助のことをお聞きします。19件、400万円余ってということで、あとどのぐらいそういう危険なブロック塀が残って、今回19件プラスになったんですけど、累計ということと、あと、このブロック塀を撤去した後に、そのブロック塀撤去で最大20万、その後に生け垣フェンスにすると、さらに最大16万の補助あるんですが、その400万2,000円の内訳って分かりませんか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） ブロック塀の箇所ってというのが、今現在、316か所中、84件が済んでるということで、26.5%の進捗率となっております。

ただ、ローラー作戦でまた広がって可能性があるので、ここの316件というのは広がる可能性はございますけど、現在把握してる段階ではそういう形になります。撤去19件に対して、新設が今回11件ありますので、そういった内訳になります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の197ページで消防団の活性化事業の委託料ってということで78万5,000円ってあるんですけど、これは、どこに委託して、どんな活動をされたんです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは、ナガシマスパーランドに行くための費用でして、あと、その車両というか交通費みたいなところで、そのまままとめて旅行会社のほうに委託してやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の80ページ、一番最後なんですけど、避難所のバルーン投光器、発災可能性の高い避難所3校、どちらになるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） こちらは、水害の可能性が高い沓掛小学校、中央小学校、豊明小学校の3校です。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところですけど、去年はなかったんですけど、今年、新設してやったんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 去年というか、令和4年度がコロナで中止になってまして、令和5年度からまたやっております、今年度も行ってます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の79ページの一番最下段のこの市防災倉庫に配備した備蓄用消耗品が大分プラス222万って増えてるんですが、中身をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 備蓄品は、食料とか水とかカセットボンベとか、そういう5年サイクルで回してるものになりますので、その入替えです。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近 修委員。

○郷右近 修委員 決算書201ページ、9款1項4目、その少し上で災害時協力井戸の水質分析で、分析の結果、その用途に合わないような水質だということが判明したような例というのはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 水質検査は13項目の水質検査、細菌とか大腸菌とか有機物、無機物が入ってるかどうかという検査を行いまして、災害時に生活用水として支障を来すようなものはございません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの防災備蓄消耗品なんですけど、入れ替えたものは、どちらに、どうやって、何っていうの、使うっていうか、どこに行くっていうのか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 誰が入替えに行くのかというと……。

（いやいや、どこに行くのか。入れ替えたものは、どこに行くのかの声あり）

○防災防犯対策課長（川島康孝君） まず、各小学校の倉庫に備蓄されてるものと市の防

災倉庫に備蓄されてるものがありますので、そこのローリングをかけていくという形になります。

(それはどうなるの。ローリングするのかの声あり)

○防災防犯対策課長(川島康孝君) そこは、古くなる少し手前で回収して、防災の講話とかそういったときにとか地区の防災訓練のところで配布させていただくということです。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの活性化事業、消防団のですけど、成果というか効果検証みたいのはどういうふうにしてるのかっていうことと、何人参加されてます。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 川島課長。

○防災防犯対策課長(川島康孝君) 基本的には家族で御参加いただいて、ふだんの……。その前に操法大会とかそういった形で、夜間の訓練、早朝の訓練とか家族の御負担もかけてるところもありますので、そういった慰労も含めてこういった活性化事業を行ってございまして、参加は、家族も含めて107名という形です。

以上です。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書199ページの真ん中辺りの立上り消火栓で設置補助出てるんですけども、設置補助出てるということは立上り消火栓は増えてるってということなんですかね。どれぐらい増えてるんですかね。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 川島課長。

○防災防犯対策課長(川島康孝君) 基本的には、もう立上り消火栓は、増えることはないかなと。

(そうすると、この補助は何だの声あり)

○防災防犯対策課長(川島康孝君) 移設とかそういったところですね。家の建て替えとかでどかしてくれとかそういったときに違う場所に行くとかそういったところが多いので、基本的には、立上り消火栓じゃなくて、地下式消火栓で十分カバー、消防のほうはしていますので。

○決算特別委員長(近藤ひろひで議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは何件分なんですかね、58万6,000円って出てるんですけども。これ、全て移設ですか。何件分でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 基本的には、立上り消火栓の移設っていうのは、今回のR5年度にはなくて、器具庫の更新が32件、それから、ホースの更新が31件、それから、ノズルの更新が7件、それから、外づけのAEDのボックスもここで補助出しておりますので、それが1件という内訳になってます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の80ページ、下のほうに書いてある同報無線の保守委託ですが、維持管理に努めたと書いていますけれども、修繕なんかが必要になったような例っていうのはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） 修繕は基本的にはなくて、基本的には保守委託っていう形で、大体、豪雨災害が起きそうな6月の前に1回定期点検をしておりますので、この範囲内でやっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 細かい確認になっちゃいますけど、基本的には、そういう点検業務の手数料みたいな理解をされるといいですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） そのように御理解いただければと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の199ページの、これ、どこだ……。

（マイク、マイクの声あり）

○浅井たかお委員 ごめんなさい、ごめんなさい、すみません。

決算書の199ページのこの一番上の段のところの消防団訓練交付金ってあるんですけど、これは県大会に出場する分団に交付されるもんだと思うんですけど、これは、88万円っていう88万円、これは県大会だけに使うものなのか、それか、そうでなければ、余った部分は年間で使ってしまっているのか、そこだけちょっとお聞きしたいです。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 川島課長。

○防災防犯対策課長（川島康孝君） これは、県の操法大会に出る交付金ですので、基本的には、それ、県の操法訓練のために、そこが終わった後でも出てくる可能性、使う可能性はあるんですけど、基本的には、その県の操法大会のための運営資金というふうに捉え

ていただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

ここで、理事者の説明の入替えのために、5分間休憩といたします。

午後5時11分休憩

午後5時16分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

続いて、10款 教育費について説明を願います。

浅井教育部長。

○教育部長（浅井俊一君） それでは、10款 教育費について、主な内容を御説明をいたします。

実績報告書については、81ページ、81ページをお願いいたします。

まず、下段、第1項 教育総務費、3目 教育振興費は、前年度比で約2,778万円の増額でございます。この理由につきましては、教育振興事務事業における特別学級支援員の増員やラーケーションに伴う校務支援員の増員及び放課後児童クラブの委託料の増額によるものでございます。

次に、84ページをお願いします、84ページです。

中段の小学校費の2目 教育振興費は、前年度比で約4,290万円の増額でございます。この主な理由は、小学校教育振興事業において教師用の教科書、指導書等を購入したことによるものでございます。

続きまして、90ページになります。

図書館費でございます。最上段の第4項の社会教育費、3目 図書館費は、前年度約360万円の減額でございます。この理由は、職員の減によるものでございます。

次、体育施設の関係になります。

96ページをお願いいたします。

中段の第5項 保健体育費の2目 体育施設費は、前年度比で約1億2,400万円の増額でございます。主な理由としましては、山田グラウンドの用地を購入したことによるものでございます。

続きまして、給食関係でございます。

同じく、96ページのその下段になります。

3目 学校給食費は、前年度比で約1億7,178万円の増額でございます。この理由につきましては、新給食センターの用地を購入したものでございます。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

10款 教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

青木委員。

○青木けんじ委員 実績報告書の81ページで、2目の事務局費の中で1番の学校巡回弁護士委託料、学校現場に定期的に弁護士を派遣ということですが、どのようなサイクルで派遣された後、どのような成果があったのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この学校巡回弁護士委託事業につきましては、みよし市と連携して実施しておりまして、豊明市6回、みよし市6回の形で行っております。

実績としましては相談実績が28件ございまして、保護者とのトラブルや子ども同士、家庭同士のトラブルなど、法的な視点や過去の事例から指針やアドバイスをもらうことで自信を持って対応に臨むことができたというふうに認識しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってね。

最初に手挙げた。関連ね、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところですか。28件というのは、豊明市で、豊明市のみで28件かということと、あと、相談者は、どういう……。先生なのか、保護者なのか、また、子どもからの相談もあったかどうかをお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 相談実績は28件で、これは、豊明市の実績でございます。相談相手としては、先生と弁護士さんとのその相談の状況でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

来た、中堀委員。

（冷静にお願いしますの声あり）

○中堀りゅういち委員 実績報告書81ページ、3目 教育振興費の部分で、少々この昨年度より決算額が上がったということで、その中でラーケーションに関して、その人件費か

何かがかかっているということでの決算額も上がったってところに入ってるんですが、ちょっとその部分がよく分からないもので、詳しく教えていただければと思います。要は、ラーケーションって、子どもたちが休むから、むしろ人件費とかっていうのがそこでどうして発生するのかってちょっと思っちゃったもんですから、お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってくださいね。

○中掘りゆういち委員 はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） マイクにね。ついた。

分かりました。今、質問、分かった。ラーケーションの件。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ラーケーションというのは、子どもたちがお休みするということは、お子さんを持っている先生もお休みすることになります。つまり、先生が不足することによって、校務支援員というそういったそのサポートする方たちを雇用する必要があるということから、このラーケーションのための費用が上がったというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の81ページ、真ん中辺ですか、定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクールですか、これの在籍人数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和5年度の実績としては45人ということになっております。

以上でございます。

（どちらがの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） プレクラスが45人でございます。プレスクールは23人でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの学校巡回弁護士委託の件で、子どもからの相談はなかったってことなんですけども、子どもの権利擁護の関係で相談ができないのか、できるけど相談が特になかったということなのか、どうなんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） このスクールロイヤーというのは、もともとその学校現場で、この法的な視点でどう学校現場が対応するかということ趣旨に導入しておりますので、お子さんの相談というのは本来の趣旨ではないということから、学校の先生がそういったトラブルがあったときにどう対応するのかというところの目的で実施しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、そういった子どもの権利関係に関しては、相談する場所って、この事業以外、令和5年度で何か実施してるのってというのはあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には、そのお子さんが悩みを抱えている状況であれば、当然、いろんな相談窓口があります。一義的には学校に相談していただくのが一番いいんですけども、学校に相談できない場合については、豊明市の事業だけに限らず、様々な国でも相談窓口は開設しておりますので、そういったところで御相談いただくというところになるのかなと思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の81ページの教育振興補助事業、一番下なんですけど、ここの1番、食物アレルギーの学校生活管理指導表作成補助というところ、これ、アレルギーのこの補助した人数が8名になっているんですけど、前年は83人なんです。これ、1割も、随分激減したんですけど、これはどういった理由でこれだけ減ったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、この作成費用について、保険の対象となったことによって自己負担額がなくなったというところが一番大きな理由です。ただ、その医療機関によっては、その学校医にそういったものを作ってもらおうと、この情報は学校医に渡すものなので、学校医が作って学校医に渡すっていうことになると、それはその保険の対象にはならないので、自分で作って自分で情報をもらおうということ。なので、その分が8名という理解でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどありましたプレクラス・プレスクールの件で、子どもの児童生徒の数は教えていただきましたけども、指導員、指導者は何名いて、あと、子どもが二村台小学校以外の学校は何名か、学校ごとに何名ずついらっしゃるのでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、NPO法人のプラス・エデュケートさんというところに委託をしております。その授業によっては、その1コマの授業に2人なり3人なりついて、やったりをします。そういった中で、受入れが基本的には二村台小学校でやるんですけども、それ以外の子どもたちはプラス・エデュケートの教室で行います。二村台小学校以外のところだと、13名の方がプラス・エデュケートのほうに通っていらっしゃるということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その13名は、どこの学校か分かります。それから、その送迎とかはなくて、保護者のほうが送ってっていうふうな形になってるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学校別に見ますと、中央小学校、三崎小学校、豊明小学校、豊明中学校、栄中学校というところになります。

二村台小までは、遠いところのお子さんが利用するんですけども、それにはタクシーを利用していただいております。

ただ、その近くでもタクシーを使われても困るので、基本的には遠いところの児童さんはタクシーで、近い方は、例えば保護者の送迎だったりとか、そういったところで対応していただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そのタクシーは、その保護者の負担なんですか。それとも、この事業とかで入ってるんですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この事業費の中にタクシー代は入っておりませんが、タクシー代は市のほうで負担をしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員、よかったですか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の81ページ、教育振興費の2番のところ、いじめ・不登校対策推進事業、これの効果というか、改善されているのか、ちょっと中身を教えていただきたいんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 中身としては大きく4つあります。例えば、先生方の事例研修ですね。不登校の事例を対象とした研修。あとは、ひまわり相談室というのがございます。これは、臨床心理士が保護者を対象に個別相談をするような形。3つ目がQ-Uアンケートといって学校生活満足度調査というのを生徒さんたちに実施しておいて、それによって、そのクラスの状況だったりとか、友人の有無だったりとか、そういったものを把握すると。4つ目が教育相談として、フレンドひまわりというのが勅使と栄のほうにございますけれども、そういったところでも相談事業というのをやっております。大まかにいうと、そういったものをやっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） どうぞ、堀内委員。

○堀内ちほ委員 それによって、そういう子どもたちのそういう不登校とかそういうものの改善はされてるんですか、数字として。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 不登校の児童生徒の数自体は増えているので、それによる効果がどこまであったかというのはなかなか不透明な部分がありますけれども、ただ、そういったことで、できるだけその不登校の子を増やさないような形で対応はしておるといところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のとこの関連です。いろんな取組をされている一方で、資料のナンバー2の①で数字出してくださってます。そういう現状を、どういうふうに、その課題、捉えていますか。一生懸命、いろんな事業はやってみえる一方で、数字として目に見える形では不登校の児童生徒さんが増えていることについて、どういうふうに捉えていますかね、課題を。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 今回、いとう委員の一般質問でも同じようなことをちょっとお答えしたのかなと思っています。原因について、はっきりすばっと分かるようなものがあればここまで増えてこないという形になっていて、そちらのほうを、今、様々な事業の

ほう、させていただいてるんですけど、分類するのか、それとも、もう細かい部分までどのように立ち入ってくかっているのがなかなかうまくいかないという部分があるというところが、今、一定の多分効果はある、今までのやってることについて一定の効果はあると思ってますけれども、それ以上、ちょっとなかなか進めないという現状があるという形のお話させていただいていますが、まさにそのとおりであるかなというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、どこのところにあるか分かんないんですけど、部活動の地域移行で、その地域の団体に対しての費用はどこに載ってるのかっていうことと、昨年度、モデル事業で少し始めてたと思うんですけども、それ、ちょっと、どう、どのように昨年度は実施されているのかどこにもちょっと載ってないんですけど、教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待って。答えれますか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 部活動の指導業務委託というのが1万9,800円ということで、委託という、モデル事業の委託という形ではあるんですけども、これは、そのけがをしたときの消耗品の購入だったりとか、ボールだったりとかの……。

ごめんなさい、柔道だから違いますね。

消耗品の購入に充てるで、あとは、こちらから直接指導者の指導員の方に謝金、謝礼をお支払いしております。それが12万円ございますので、なので、その12万円と1万9,800円、先ほどの消耗品ですね、その金額をプラスした額が、この今回のモデル事業の金額ということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それは、決算書のどこに入ってる、どういうふうに読めばいいですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 教育振興事業……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ページ数。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、決算書の207ページの教育振興補助事業の

すぐ上というところに部活動指導業務委託料というのがございます。これが1万9,800円というところになります。

指導員への謝礼については、部活動の外部指導者等謝礼というところに報償費として206万4,000円というのがございますので、その中に入っておるというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の82ページ、英語検定受験料の補助なんですけど、これ、何人だったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 合計で210人でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の教育相談事業っていうところで、これ、先ほどもあったんですけど、不登校が増えてまして、それで相談件数は、去年は374件、今年は236件と、これ、どういうふうに、何で減ったというのは、その分析、されてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この相談件数というのは、例えば、電話相談であったり、訪問相談であったり……。訪問というのは、こちらから出向く相談です。来室相談というのは、フレンドひまわりのほうにいらっしゃる相談です。その3つがありまして、訪問相談というもののの中にホームフレンドという、大学生ぐらいの子が、その年齢が近いということで相談相手になったりするっていうのがあるんですね。その訪問相談の部分が、ホームフレンドの方はちょっと人数は令和5年度は少なかったため、その訪問相談の件数が減ったと、トータル的に相談件数が減少したという理解でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと分からなかったのが、不登校の子が年々増えてって、実際、令和5年度増えてますっていうことが資料ナンバー2の①で出てると。先ほど、いろいろ説明していただきましたけども、そうした中で、この教育相談事業で、これは勅使と栄にあるところのセンターのことだと思うんですけども、相談件数が減ってるっていうのは、どういうふうに分析しているのか。そういった不登校の子とかが、どこに、これが減って、実際の不登校は増えてることなので、どこに相談に行ってるっていうふうに考えてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的に、これ、保護者の方が、うちの子はこういう状況だけどどうでしょうかであったりとか、ちょっとフレンドひまわりにちょっと見に来て、自分の子がこういったところで対応できるかどうかっていうことを相談しているところなので、そのお子さんの相談というよりも、その保護者の方が、今後、この子の対応についてどうしようかというところの相談です。その相談件数のことと、あと、その不登校の児童が増えているというところ、なかなか直接リンクがしないというか、そういったところになるのかなというふうに思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 決算書のほうの215ページの下から5行目ぐらいのところでは学校用地購入とありますが、1億9,500万、どこの学校の用地を購入されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 豊明小学校にある国有地の部分を購入しました。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の82ページの上段の上のほうから教育相談事業の4番目のみんな元気かなプロジェクト事業ですけども、市内3中学校を卒業した全生徒ということで、中学校を卒業して何年まで、そういった人たちに励ましの手紙とかあれを送ってるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 何年間ってことね。

○鈴木智和委員 何年間ですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 1年間でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1回ということですね。

○学校教育課長（秋永亘正君） 1回ということです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1回ということね。

ふじえ委員。

（ごめんなさい、議長の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、1年の子に、3月と8月の2回、お送りすると。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 対象者は一緒に、1年に2回送るという解釈でいいですか。

○学校教育課長（秋永亘正君） はい、そのとおりでございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連なんですけれども、その反応というのか、この事業を実施してる成果っていうのは、どういうふうに分かれていますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 目立った成果というのはあれですけれども、先生のほう、あるいは、その支援室のほうに、こうこうこうでという返信は幾つかあるというふうに聞いております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの部活動の地域移行についてですけれども、実施は豊明中学校で、たしか柔道を実施ということでいいのかということと、昨年度、令和5年度は何回実施して、この金額になってますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 柔道部ということで、基本的に毎週土曜日をやっております。ただ、その……。

（隔週の声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、隔週、土曜日ということでやっておりますので、回数とすると、七、八回なのかなというふうに理解しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 確認です、5年度の事業ってことでいいですか、今の答弁は。

○学校教育課長（秋永亘正君） 5年度の事業でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の207ページの下のほうにありますふるさと応援奨学金の実

績、こちらは、令和4年度もゼロでした。令和5年度もゼロだったんですけども、どのように評価されてますでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 昨年度は、申込み自体は1件、応募自体は1件ありましたが、なかなか、その残念ながらその大学のほうに入学することができなかったものですから、最終的にその交付することができなかったというところがございます。件数自体は、それほど多くはありませんが、ニーズはあるというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の83ページ、真ん中から上のところで、放課後子ども教室運営事業の中で、中央小学校放課後子ども教室の登録数と三崎小学校の放課後子ども教室の登録数が前年より減っております。この減っている原因は何でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 減っていると申しましても、そこまで大幅に減ってるというところではないのかなというところで、直接的な原因というのは、特に明確な理由はないのかなというふうに思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

違った。手挙げたよね。

○林 ゆきひろ委員 別のとこですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） はい。

○林 ゆきひろ委員 実績報告81ページの下のほうの先ほどもありましたいじめ・不登校対策推進事業委託で650万円ですけども、この中に、そのスクールカウンセラーの方の配置もたしかあると思うんですが、今、市内での県からの配分のスクールカウンセラーが何名いて、市費で出てるのは何名いるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 中学校に3人いらっしゃいます。小学校で3名分いらっしゃいます。市費で1名分を確保しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の84ページの小学校管理事務事業の下のほうで、老朽化して、5番目ですね、老朽化して使用できなくなった備品の買換えを行い、学校運営の維持管理に努めたとあるんですけど、この買換えが必要になった備品というものは、どんなものがありましたか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 本当に様々ございますけれども、机だったり椅子だったりとかそういった基本的な備品の買換えというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の82ページの真ん中辺りの野外教育活動のところですか。中学校の2年生なんですけども、行き先が今回3か所にあるんですけども、これ、どなた、誰が、どのように行き先を決めてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 行き先については、学校のほうで先生方とお話し合いをして決めているというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の213の上の辺りの放課後児童健全育成事業の補助金が増えていますけども、これはあれですか、民間児童クラブが増えたんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 児童クラブの委託料はかなり増えておりまして、それは何かと申しますと、栄小学校の登録者数の大幅増によって支援員のほうを増やしたというところでの委託料の増額というところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 多分、今のは211ページの一番下の健全育成事業の委託料、これも1,000万増えているので、そのことかなと思うんですけど、質問したいのは、213の上の辺りの負担金、補助金の放課後児童健全育成事業の補助金なんですけど、これも1,000万ぐらい増えているんですけど、これを聞きたいです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 増えた理由でいいんですか。

○林 ゆきひろ委員 はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 放課後児童健全育成の中で処遇改善事業費補助金というのもございます。民間に交付する金額ですね、民間の児童クラブであつたりとか、こちらが委託している児童クラブに対しても補助金のほうは増えております。その背景としては、規模であつたりとか障がい児の受入れ状況に応じて補助金というのは増加してまいりますので、そういった部分を背景に増加をしているという理解でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 1,000万ほど増加してるのは、処遇改善でそれぐらい上がってるってことでよかったですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 処遇改善では約45万円ほど上がっております。各民間の団体への補助金もかなり増加しておって、2つの団体の合計で1,632万円ほどございますので、そういった部分が背景にあるのかなという理解でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、この5年度の決算で2,240万ってなってるんですけども、ここの部分を教えてほしいんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 処遇改善のほうで608万6,300円となっております。放課後児童健全育成事業補助金の中で、それが1,632万1,000円となっております、その合計が2,240万7,000円というふうになっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 先ほど、48万は違うということ。六百何万ですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 45万円というのは、処遇改善単体で見ると45万円の増加というところになっております。プラス、その民間団体への補助金のほうは、先ほど申し上げた障がい児等の受入れ等で、かなり補助金のほうが増額しているという理解でございます。

以上でございます。

(分かった分かったの声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今、お話が続いていた部分なんですけど、内容は別になるんですが、放課後児童支援員の処遇改善の返還金が生じているということを見て、予定していたほど職員が配置されなかったのかなというふうに聞いていたんですが、今のやり取りを。配置できなかったんだとしたら、その児童に対して職員が足りていたのかということと、それぐらい児童が来たのであれば、面積要件とかを満たしていたのかが非常に気になるんですが、どういう状況だったかは分かりますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 面積要件については、これは補助金の交付を頂く上では1人1.65平米を確保しなければなりません。それは必ず確保はしているという認識でございます。

あと、その返還金については、人が充てられなかったというよりも、例えば、その人が……。ごめんなさい、開催日数が減れば、その分のその方の収入自体は減ることもありますので、それは、例えば、土曜日なんかで人数が少なければ、その分、人の配置が予定よりも減るということもございます。そういった様々な要因の中で、最終的に令和4年度と3年度の部分を含めて返還金が発生したという理解でございます。

以上でございます。

(なるほどねの声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ項目ですけども、見るものが実績報告書の126ページの一番上の表の10款1項3目の5、6、7、8ですね、補助金、放課後児童健全育成事業の補助金ですけども、これの先ほど御説明があったのは、5、6とか説明がありましたけど、この7、8ですね、放課後児童支援員等処遇改善事業、これがこの年だけの支払いということで、この補助しているのかどうかというのを、まず、お伺いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この年だけでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の③の児童クラブの各登録人数と、これ、実際、実績報告書の82ページに載っている現員の人数とが少しずつ違うんですけど、これは、登録

人数、区切った日が違うのか、何で少しずつ人数って違って来るんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 現員が違うというのは、例えば、どこの児童……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もう一回、言ってください、何ページか。資料。

○林 ゆきひろ委員 資料。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 資料ナンバーから言ってください。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、いいですか。資料ナンバー2の③と実績報告書82ページの下
の登録人数です。例えば、二村台児童クラブが104ですけど、ここには109と書いてます。
沓掛児童クラブで見ますと、これ、67と書いていますけど、こっちの資料は68です。コス
モス児童クラブも資料は79ですけど、この表だと74なんですけど、これ、違うんですか。
何で、これ、違うんでしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 申し訳ございません、あと、後ほど、御回答します。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、記載ミスか理由があるかということで、
後ほど、お願いします。

○学校教育課長（秋永亘正君） はい。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の86ページ、真ん中辺なんですけど、中学校管理事務事
業で2番目の学校用務員及び給食配膳員っていうので、学校用務員が去年5名、今年7名、
2名増加です。その増えた理由を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学校用務員につきましては、令和5年度は、再任用の方
が2人含まれております。令和4年度は再任用の方は2人含まれておるんですが、その再
任用の方が、今回、会計年度になったことによって2人増えたというところでございます。
以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにはございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、決算書の209ページです。この教育振興事務事業の中で、教員
の補助業務と教員業務支援員報酬と校務支援員業務というのがあるんですけども、それぞ
れどういう役割で、どんな業務なんですか。これ、全然別々のってことでよろしいですよ
ね。業務内容をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、教員補助ですか、教員補助については、授業に関する補助ですね、サポートの部分を担当します。

教員業務支援員というのは、スクールサポートスタッフと呼ばれるもので、授業準備等を行う方です。

校務支援員というのが、いわゆる、例えば、ラーケーションであったりとかそういった部分でのそのサポートに入る方というような、ちょっとざっくりしてはいますが、そういった役割がございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 90ページ、実績報告の90ページで図書館費なんですけど、これ、選書の基準ってあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 選書のほうは、図書館流通センターというところから毎週新刊の冊子が届きます。その中から司書が相談をしながら決めていくという状況になっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 あと、職員の方ですけど、正職員、会計年度職員、司書数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 正職員は、令和5年度、4月から9月までは5名、10月からは6名となっております、うち、司書は2人となっております。

会計年度職員は13名おまして、うち、1人は、7、8月のみ雇用させていただいております。

司書は9名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の87ページの社会教育費の一番下の生涯学習のところです。生涯学習の出前講座は、幾つか、50以上あるかと思うんですが、令和5年度の実績は、どんなふうだったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 5年度の出前講座の実績でございますが、実施につきましては26講座を開設をしました。参加者数については676人というところでございます。
終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書84と87の扶助事業に関してですけれども、要保護者、準要保護者でありますけれども、外国籍の子のそういった子に対して、どのように周知ってされていきますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には入学案内の際と広報にて周知はしておるんですが、外国語についても、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語などでも周知は行っておるというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の120ページの学校給食費のところの残飯回収配送委託料の中の、新しく、牛乳が瓶から紙パックになって、紙パックの収集運搬委託が206万円余あるんですが、これ、どちらに運搬されるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらは、パックのほうですね。パックのほうは、その回収業者のほうで回収をしておるというところでございます。中身のほうは、バイオガス発電施設に運搬するというような形になっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の92ページの5目の市史編さん費っていうところなんですけど、この資料、整理をしたっていうことなんですけど、この、どんな基準で整理、結局、整理っていうことは、もう捨て、廃棄っていうのも含めてだと思っただけなんですけど、どのような基準でやっているのか、あと、それは、今現在、何点残っているのかっていうところを教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 資料の選定の基準っていったところでございますが、編さん室のほうに学芸員という職の者がおりますので、そちらの者の判断という形になります。

あと、市史の編さん室にある資料数でございますが、数は数えた、正確には分かりませんが、約2万点程度というふうに理解をしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 また、先ほど、戻って、すみません、実績報告書の120ページの学校給食の残飯回収配送委託料のところなんですけど、3枠あって、給食の残飯収集運搬と給食の飲み残り牛乳と先ほどの紙パックの収集、3つ、これ、足すと、五、六百万になるかと思うんですけど、決算書のほうの239ページの下のほうにあります残飯回収配送等委託料ってところの815万円余ってあるんですけど、この辺の、その何が加わって800万になるんでしょうか。この実績報告書と決算書の、この見方をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この決算書の815万4,000円余というのは、牛乳パックの運搬も含んだ形で814万円というようになるところになって、15万円というところになっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうすると、その実績報告書のほうで、その3枠を足しても800万にならないんですけど、ちょっと、見方、もうちょっと御説明いただけますか。収集運搬残飯。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中村部長、詳しいよね、これ。

（そうですね、失礼しましたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この815万4,000円の内訳、申し上げます、ごめんなさい。牛乳飲み残り運搬が205万7,000円と、あと、飲み残り処分が99万3,300円、残飯の運搬が110万円、残飯の処分が144万5,950円で、牛乳紙パックの収集が206万2,500円で、牛乳の処分が50万2,062円を全部足すと815万4,762円になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ありがとうございます。

今、おっしゃった99万っていうところの飲み残しってというのは、何リットルというのか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 20リットルの容器で602本分でございます、リットルでいうと1万2,040リットルというふうになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにありますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の227ページの10款4項3目 図書館維持管理事業の害虫駆除ですけど、主に夏、今みたいな時期のことだったと思うんですが、毎年、金額が決算で変わってなくて、一方で、現場で苦勞して職員の方が……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もうちょっと大きい声でお願いします。

○郷右近 修委員 はい。声は大きくなりませんので近づけました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） じゃ、近づけてやってください。

○郷右近 修委員 はい。

自力で手作業で駆除作業に当たってるというふうに聞いていたんで、何で増額されないのかなとは思っているんですが、何か理由はあるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 害虫防護・駆除業務は委託料となっております、業者のほうと契約をしております。こちらは、上がらない理由というのは、ちょっと分かりかねます。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の90ページ、図書館費の……。

ごめんなさい、90じゃなくて、91ページでした、ごめんなさい。

ここの四角い大きい升の内訳、下のほう、おはなし会、映画会ってあるところの、これ、一番下、その他で1,621人っていう方がいるんですけど、これは、その他というのは、どんな活動というか催物でしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） その他につきましては、一番大きなものは、図書館休館中に
行いました本の福袋、こちらが866人の御参加となっております。それ以外には、音楽を楽
しむ会、それから、ブックスタート講座、プログラミング講座、手作り絵本講座、こうい
ったものが内訳となっております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の文化財保護費の2番目で文化財保護・伝承活動の奨励
ということで、市指定文化財等の所有者ってというのがありまして、これは何人ぐらい、何
人見えるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 市指定の文化財の所有者の数ということですかね。

（何人の声あり）

○生涯学習課長（相羽敏明君） ちょっと、すみません、ちょっと、お時間いただけます
か。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長、さっきの件、お願いします。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、児童クラブのほうの現員の人数の数ですが、大変
申し訳ございませんでした。これは、3月31日付の実績報告書と資料請求のときの時点の
人数がちょっと違っておりまして、申し訳ございませんでした。実績報告は3月31日で、
資料請求で記載した人数は3月1日付の人数による誤差でございました。申し訳ございま
せんでした。それが、1点修正と、2点目ですね、処遇改善は、単年度という意味は、ち
ょっと、私、誤解してしまいましたが、その処遇改善事業自体は、令和4年度も、ずっと
令和3年度もやっておるといような事業でございます。

以上でございます。申し訳ございませんでした。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

のぶお委員。

相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） すみません、先ほどの市指定の文化財でございます。21、
団体ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のその関連なんですけど、そういう市のいろんな文化財あつた
りして、例えば、触って見たら壊れちゃったりする、そういった豊明市内の、そういう保

護するこういう屋敷だとかそういう調査とかそういう把握は、してるんでしょうか。今後。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） どのような文化財や市の指定されていないという、そういうことですよ。

（いないの声あり）

○生涯学習課長（相羽敏明君） その辺りについては、取壊しといたしますか、何らかのお尋ねがありまして、その段階で把握するというようなことでございます。例えば、埋蔵文化財があるかどうかというような照会がうちのほうに窓口で来ます。その段階で分かるというようなことでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 清水委員。

○清水義昭委員 先ほど、秋永課長のほうから、多分、放課後児童支援員等処遇改善事業が、令和5年度だけではなくて、3年度も4年度もあったというような回答があったと思うのですが、これ、令和5年度の……。

実績報告書の126ページの真ん中辺りです。

この令和5年度のこの処遇改善事業で払った補助金の原資についてお伺いします。市単なのか、ほかから入ってくるのか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 市単ではありません。補助金というのは交付されております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 以上ですか。

ちょっと待って。

答弁、以上ですか。

（すみません、ちょっといいですかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 続けて、どうぞ。

○学校教育課長（秋永亘正君） その原資の金額的な部分については、後ほど、御回答させていただきます。失礼します。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書90ページの図書館費についてです。貸出し冊数が激減してまして、市民の1人当たりの貸出し数がかなり減ってます。6.4から5.7。恐らく、開館日数の関係もあるのかなと思うんですけども、かなりその市民サービスにはすごく大きな

影響かなと思いますので、それに対する対策とか努力っていうのは、何か5年度、されたんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 市民の皆様には本当に御不便をおかけしたと思っております。休館中ですけれども、先ほど、御質問にお答えした本の福袋、浅井委員の御質問にお答えしたように、休館中は本の福袋とか、あと、ウェブ予約には対応させていただきまして、あと、窓口も全部閉めるのではなくって、一部開けて対応したという形になっております。以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 91ページのほうにあります郵送貸出っていうのがゼロ件、これ、去年もずっとゼロ件が結構続いているんですけども、これは、何か周知とかされたのか。これは、なぜ、ゼロ件がずっと続いてて、どういうふうに改善とかってされてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） こちらの郵送貸出は、お体とかに御不自由がある方、障がいを持たれた方用の郵送貸出となっております。ホームページ、それから、図書館の申込みの窓口のほうに、こういった制度がありますということで周知をさせていただいております。以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほど御質問のありました処遇改善の部分の減収の部分ですけれども、国が3分の1、県3分の1の補助金が含まれております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の92ページ、真ん中の文化広場費で、これ、豊明文化広場、勅使会館になると思うんですけど、これ、指定管理者と思われるんだと思うんですけど、民間ノウハウ、どのようなものが今年度あって、その成果っていうのはどうだったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 文化広場を指定管理者としてやっていることについてのメリットっていったところでございますが、施設については月曜が休館っていうようなことが多いかと思いますが、グラウンド等体育施設につきましては、指定管理者の御好意に

よりまして月曜も開館となっております。そちらの受付が文化広場のほうでもできるということで、それがメリットかなというふうに思います。

実績については、毎週休館日に受付ができるというようなことでの実績ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書92、93の文化会館のところですけども、ここも民間ノウハウを生かして管理運営ってありますけども、豊明の文化の醸成にはどのように取り組んできたのか。それ、シビックプライドとか地域の誇りと愛着を育てるというようなこともおっしゃってたと思うんですけども、これは5年度では、そういったことは、こういったことを取り組んでましたか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 指定管理者が令和5年度から変更となりました。次世代の育成や文化芸術の育成支援、地域との協働という観点から事業を進めてまいりました。市民美術展だとか市民フェスティバルなんかはもちろんでございますが、例えば、栄中のソプラノのリサイタルと合唱指導など、あるいは、地域で活躍するアーティストの登録制度だとかそのような制度をつくったというようなことが実績として挙げられるかなというふうに考えます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の93ページの文化会館費の真ん中辺の自主事業ですか、夏休み宿題スペース、これって、茶室でしたっけ。ここの参加者の反応、感想、意見などはどうだったでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 感想というのは特別聞いては、指定管理者のほうで聞いてないようでございます。今年度と、令和5年度と令和6年度の利用を比べてみますと、参加人数もそれなりにございますので、好評であったというふうに我々は分析しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の239ページと、あと、231ページかにあるんですけども、指定管理者の支援金っていうのがあります。239だと上から4つ目で428万6,000ってあるん

ですけれども、これ、光熱費だったかなと思うんですけど、全額そうですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 光熱水費ということでございます。令和3年度の実績と比べまして、その90%相当を支援として支出してるということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の94ページ、朝方言ったやつですけど、二十歳の会の開催の出席率、教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 二十歳の会の……。

（参加率っていうんですかの声あり）

○生涯学習課長（相羽敏明君） 参加率ですね、76%でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の98ページで一番下の用地購入費が1億5,300万、新給食センターの土地です。あと、ちょっとないんです、実績報告書で見当たらないんですけど、山田グラウンドもたしか土地購入したと思うんですけども、それぞれの面積がどれぐらいあるかをお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 矢野室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 新センターの用地につきましては、実測ベースで8,478.85平米となります。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 山田グラウンドの用地購入でございますが、4,538平米でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 たしか面積で大きいところは議決の要件があったと思うんですけど、どれぐらい以上があればいいんですか、議決要件でしたっけ。これは、当たりませんか。

（当たらないから議決してないんじゃないのの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 当たらないから議決してない。

（行けるの声あり）

○林 ゆきひろ委員 どれぐらいでしょうかで答えられますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） すみません、ちょっと確認をさせてください。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書のページは217、10款2項1目、中学校もなんですけど、ここでいうと小学校の扶助事業で、要保護と準要保護の援助費。

準要保護の援助費は、捕捉の割合としては1.5でしたか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 1.5倍になるということでございます。

（1.5倍の声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） 1.5倍ということになっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1.5倍以内ね。

○学校教育課長（秋永亘正君） 1.5倍です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど御質問いただきました不動産の買入れでございますが、今回は総額でそれぞれの額になっておりますが、1件ごとにそれぞれ別々の契約で集積したのになっていきますので、議決の対象にはなっていないということでございます。

ちなみに、議決の対象になるものは、1件5,000平米以上のものですかね、土地については、で予定価格2,000万円以上になりますが、総額でなっているだけなので議決の対象にはなっていないそれぞれの案件ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1件って、1筆という解釈ですか。

○財政課長（浦 倫彰君） 1つの契約ですね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 1つの契約ね。

○財政課長（浦 倫彰君） はい、契約でということです。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということを確認ですけど、5,000平米以上ということは、給食センターの大きさは対象だけど、同じ目的でも別々の契約でやっていたら、これ、議決しなくていいってことになりますか、そういう意味ですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 さっきの続きです。1.5ということで、具体的に小学校と中学校で何人が対象になったか教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 何人が対象ということですが、全体で、学用品であったりとか給食費というのは、これは、その対象となる方全員に支給されるものです。ですの、小学校であれば346人で、中学校であれば191人ということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいですか。

ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の98ページの給食センターの維持管理事業の下のほう、老朽化した場内機器の更新を行ったってところ、中央調理場のこの洗濯機、これ、結構、14万8,000って大きいものなんですけど、これがどんなものかっていうのと、これ、あと数年たったらもう使わないのか、それか、新給食センターのほうへ持ってくるのかをちょっと聞きたいんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁、秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これについては、白衣等を洗濯するのに使用するもので、壊れてしまったからどうしても買わざるを得ないというものでございます。

新給食センターに持ってくるかどうかというのは、ちょっと、今、現時点では決まっておりませんが、使えれば持っていけばというふうに思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 矢野室長。

○新給食センター準備室長（矢野 優君） 今の施設の機器について活用するかということについては、先日、民間事業者にも見学していただいて、仕様の中で活用できるものは提案ということで設定をしております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて10款 教育……。

(いますの声あり)

(今、3人ぐらい手挙げたの声あり)

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 今、3人、手挙げた、一遍に。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の235ページのスポーツ振興事業の中のプール開放委託料52万3,600円のことをお聞きします。これ、何日分かということと利用人数、また、その利用の年齢層、また、利用者の声が聞けてたら聞かせてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 夏、こちらのほうは、夏休みの、夏休み期間中の5日間、午前午後2時間ずつの1コマとしてのものがございます。来場者数については、312人でございます。

利用者の声っていうものは、私ども、ちょっと把握はしておりません。年齢、利用者の属性ということも把握はしておりません。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の96ページの市民歩け歩け運動ですが、これの参加人数を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） 1,765人でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 次のページ、97の給食費の減額なんですけど、これと、これ、40円減額ってあって去年も同じだと思うんですけど、どうしてこういうふうになってるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 何、どういうこと。

○こんどうのぶお委員 同じ表記だと。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと、もう一回言ってください。

○こんどうのぶお委員 40円減額っていうのが去年も一緒だったと思うんですけど、それで、1食当たり240円って。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 分かります、質問の意味。

○こんどうのぶお委員 分かりません。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） これ自体は、この決算の前に出すときにやっていることで、なおかつ令和6年度からは、もう引上げをしてるという形になっておりますので、この記載は、このような記載になるのかなというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ありません。先ほど図書館の職員数を聞かれましたが、申し訳ございません、産休の職員の数が入っておりませんでしたので訂正をさせていただきます。

正規職員は、4月から9月が6名、10月から7名、うち、1人が育児休暇となっております。うち、司書2名は変わりません。

失礼いたしました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の237ページの体育施設維持管理事業ですけど、消耗品が400万あって、結構、高い金額で上がってるんですけども、何かまとめて買ったんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 相羽課長。

○生涯学習課長（相羽敏明君） こちらは、柔道場の柔道用の畳を購入させていただきました。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 97ページの一番下のところなんですけど、給食センター活動事業で、減農薬野菜の使用ってことで、割合、どのぐらいですかね、頻度。どうでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 減農薬の活用の割合は、おおむね月1回の使用でございます。ニンジンやキャベツなどを、1つの食材として活用しているということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶお委員。

○こんどうのぶお委員 オーガニック野菜の使用率は、どうでしょう。

（それは書いてある、書いてあるなの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） オーガニックの野菜の使用ということでは一般質問を6月にいただきましたが、その段階でオーガニックのものは使っていませんよという話をさせて

いただいております。

ただ、減農薬については、そのときに、ちょっと、月によって変わりますというような答弁させていただいて、今……。

先ほどのそのとおりのその回答ですねっていう形でお願いをしたいと思いますので、ちょっとその6月の一般質問を思い出していただいてっていうことでお願いしたいと思います。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） のぶおさん、よろしいです。よろしいですか、のぶおさん、いいですか。

○こんどうのぶお委員 はい、分かりました。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて10款 教育費の質疑を終わります。

（いいよ、もう閉めちゃったもの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ここで、理事者の説明の入替えのため、5分間休憩といたします。

午後6時26分休憩

午後6時31分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

続いて、11款から14款までの説明及び質疑を一括で行うこととしてよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 異議なしと認めます。よって、11款から14款までの説明及び質疑を一括で行うことといたします。

11款から14款までの説明を願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 11款 災害復旧費について説明いたしますので、実績報告書99ページをお願いいたします。

1項 農林水産施設災害復旧費、2項 公共土木施設災害復旧費につきましては、いずれも執行がありませんでした。

以上で11款の説明を終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 同じく、100ページをお願いいたします。

12款 公債費、1項1目 元金は決算額12億6,804万2,957円で、前年度と比較し6,435万2,829円の減額となりました。

その下の2目 利子は決算額3,815万995円で、前年度と比較し92万4,263円の減額となりました。

右側、101ページをお願いいたします。

13款 諸支出金、1項1目 財政調整基金費、2目 教育施設建設及び整備基金費、3目 公共施設建設及び整備基金費、4目 減債基金費につきましては、決算額の欄のと通りの積立てを行っております。

5目 森林環境譲与税基金費は、譲与税交付額を全て事業に充当しているため、基金積立てはゼロとなっています。

6目 企業版ふるさと納税基金費は、市外事業者様から、令和6年から行われる三崎水辺公園の改修工事に対し御寄附を頂いたことから、充当に向けて、5年度は基金積立てを行っております。

102ページをお願いいたします。

14款 予備費は、決算額ゼロです。

説明は以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 説明は終わりました。

11款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 12款の公債費です。この中で臨財債の償還額で臨財債の、今、決算後の臨財債の総額をお願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） まず、臨時財政対策債が、それぞれ幾ら今回の決算に入っているかについてお答えをいたします。

まず、元金からお答えします。およそ8億6,000万円でございます。

次に、利子でございます。利子は、およそ1,500万円でございます。

続きまして、臨時財政対策債が総額で、今、どれぐらいかというところでございますが、令和5年度は、およそ90億でございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 13款の2目の教育施設費の基金の積立てが83万7,000って非常に少ないんですけども、こんなに少ない理由と、今後のその教育施設の、これから建設、いろいろ出てくると思うんですけども、見通しとして問題ないかどうか、どう考えてますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 本市の基金積立てについては、3月補正などで積ませていただいているところですが、今後の事業を見越してそれぞれ積立てを行っていますが、初日の健全化判断比率の御報告しましたとおり、基金積立てが影響する将来負担比率については健全ということをお報告したとおりです。基本的には、基金運営については健全な状態と、教育基金も含めてというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この教育施設の整備基金の条例だと、毎年度、幾らというのは決まっているような気がするんですけど、それとの関係はどうですかね。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおり、教育基金については、現時点では、毎年、これ、2,000万円の条例積立てが規定されているところがございます。このたび3月補正において積立てと繰入れの相殺をした結果、予算には出てきていないというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうなると、条例で毎年度2,000万以上ってなっているけども、今回、それを下回った形、つまり条例から外れた形で決算を迎えようというふうになっているんですけども、これ、問題ないんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおり、全くしていないということではなくて、もともと3月補正で積むものと入れるものを相殺した形になっていますので、現時点においてはそういった運用をさせていただいていて、もし繰り入れるものがなければ、そのまま積立てを2,000万以上させていただいていたというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 3月で繰り入れて減ったってことですよ。結果、それで83万7,000円になったということなんですよ。そうしたら、結果としては83万7,000円やっぱり積み

立てたということになるので、それ、基金条例から反してると思うんですけど。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） その最終的な結果だけを見ればそういうような形になりますが、編成の過程においては、2,000万円分の積立てと2,000万円を超える繰入れが3月補正であって、その差引きで計上させていただいているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 過去、こんな2,000万下回ってっていうようなで終わった決算というのあったんでしょうかね。初めてだと思うんですけど。

（年間での補正のところでも動かしてるからいいんでしょうの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 過去を答える義務がないと思えば答えなくていいですよ。いやいや、過去だもん。

（5年度だからの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 5年度ならだけど。いいですか。

○財政課長（浦 倫彰君） 条例の内容にのっとって、今、御報告したとおりのことをさせていただいたところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 抵触してないということですね。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今のやり取りを聞いて思ったし確認しようと思ったんですけど、その基金に対する認識が差引きで2,000万円ということを経済条件にすると、毎年積むことしかせずに、いつまでたっても使うことがないっていう条例の理解になっちゃうから、今みたいな例も何年かに1回はあるよって、そういう解釈なんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりです。

なお、本市の基金については、しっかり積立てをしておりますので、教育基金についても以前よりも増額になっているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） これにて11款から14款までの質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結します。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために、5分間休憩といたします。その後、総括質疑をします。よろしくお願いいたします。

午後6時38分休憩

午後6時43分再開

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。
最後に、総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の67ページの防災防犯対策課の雑入っているのがあるんですけど、591万6,499円、これの内訳を教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 金額が大きいものは基本的には尾三消防関連の歳入になります……。

（マイク、終わっちゃったの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいよ、聞こえています。

○財政課長（浦 倫彰君） 聞こえています。

（でも、通ってないの、通ってない、ちょっと待つて待つての声のあり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 困ったね、拾ってないってことか。

（あっちに、あっちに通らないんですの声あり）

（20番の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 20番だって。

（大丈夫ですかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いいよ、もう一回、答弁してください。

○財政課長（浦 倫彰君） 分かりました。お待ちください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） この金額のうち、最も大きなものをお答えさせていただきま
す。540万円ほどが尾三消防関連のもので振り込まれたものということになります。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 財政力指数が減って、下がってきているんですけども、基準財政需

要額が増えてる、そういうことで下がってきているのかなと思うんですけど、この基準財政需要額が増えてる理由、1つは臨財債の発行可能額が少なくなってるからかなと思うんですけど、ほかにどういった要因があるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 臨時……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待って。

（発言する者あり）

○財政課長（浦 倫彰君） では、お答えさせていただきます。

需要額が増えている理由は、御指摘の部分で、それ以外で申せば、個別算定経費の高齢者に関するものなどが増加していることになります。

なお、財政力指数が若干減少しておりますが、これは臨時財政対策債の影響ですので、本市の財政運営上、悪化したから下がっているというわけではないことを申し添えます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、その需要額が増えてる要因として、臨財債の償還金額が増えているっていうこともあるんですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっとその御指摘のちょっと意図が少し分からないのでお答えしにくいですが、あくまでも需要が減っているのは臨時財政対策債の振替相当額の減少と個別算定経費が大きな理由で、単年度の臨財債に参入している分というのは大きな影響ではないというふうに認識しております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員。

（堀内さんのも駄目なの、マイクの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） もうやめときゃ。

じゃ、浅井さんののは、つく。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の67ページの市町村振興協会基金交付金1,812万1,000円のところなんですけど、これの使い道ってというのは、どんなものがありますか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 市町村振興協会と新宝くじ交付金については、充当事業の整理は、念のため一応行っていますが、基本的には一般財源で入ってくるものだというふう

に御理解いただいたほうがいいのかと思います。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 先ほどの財政力指数のことなんですけれども、この減少しているのは、これは交付税などの影響ってということで、そうだとすると、市の財政力を判断するのは財政力指数ではなくて、健全化判断比率が重要っていうふうに考えればいいんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 全くもって御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの質問の意図というか背景ですけど、要するに、その臨財債の総額がどんどん増えてきてますので、償還する償還額も増えてきてるのかなと。そうすると、この償還額がこの財政需要額に含まれて交付税として入るというふうな説明だったと思うので、その償還額が需要額に含まれて需要額が高くなってるという要因もあるのかなと思って、そういうことなんですかっていう質問です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 臨時財政対策債の総額は、むしろ減少傾向にありますということが、まず1点ということと、もちろん、臨財政対策債の償還分は交付税で措置されますので満額発行前提ですが、今回の主要な、その需要の影響でトップ2になるようなものには入ってこないということで、2つは違う理由を説明させていただいたというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の説明で、一応は入るっていうふうに理解していいですね、歳入に。これ、臨財債を満額借りなかったとしても、償還額の、満額借りた場合の償還額の合計というの、この需要額に入れることができるっていうふうに聞いたんですけど、そういうことでいいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりですが、そういったことをする質問の前提は、どうせ交付税に入ってくるんだから満額発行しないほうがいいだろうという前提での御質問かと思いますが、満額発行しないとどうなるかという、その年度の住民の方の一般財源が減るとい形になりますので、今の方の一般財源を減らして将来もらえばいいじゃない

いかというような議論になるかと思しますので、それはあまり行政運営上、するべきではないというふうに考えた財政運営をしているところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 はい……。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） いかんわ、ごめん、ちょっと待って。

（つかない、つかない、じゃ、やめところの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待って、電池がない。残念ながら、電池切れ。

ほかに質問ある方。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） やめて、電池がないんで。

ある、電池。ないね。ない。

（どっちかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） あっち、つかんな。

（取りあえず、どっちか。取りあえず、どっちか指名の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ふじえさんの、つく。ついた。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 コロナ禍、令和5年度、令和元年度のそのコロナのひどい時期が過ぎて、去年、令和5年度に、総括ですね、行政側、行政として、いろんな分野にまたがるんですけども、コロナ禍のそのまとめというのか、報告書というのか、様式は分かんないんですけども、いずれにしても、そういう総括は、令和5年度、されたんでしょうか。コロナの感染症の対策について、いろんなワクチンのこともありますし、学校を休校にしたことだとか、いろんな支援金だとか、分野がまたがるんですけども、それを総括したものというのは、令和5年度にまとめ上げたものというものはあるんでしょうか。

（20番と入れ替えましょうかの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 答弁できますか。

中村部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） コロナの総括につきましては、毎週、本部会議に代わる報告は一応させていただきまして、収束したときに、それは解散したという形を取っております。特に何か以前から話がありました何かまとめをつくるというようなことは現時点では考えておりません。

以上です。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 電池切れ、誰だった。電池切れ。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 いいですか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 今の……。

（今の質問だけ、今、ちょっと戻ってきたのでの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ちょっと待ってくださいね、それ、電池がないかもしれん。

（17番の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 17番。

（市長は入っていいですかって聞いてくださいの声あり）

（でも、総括のときって、市長、入ってましたの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 入ってるよ、最初から入ってる。

どうぞ。市長、どうぞ。

○市長（小浮正典君） 今の中村部長の回答でいいんですけども、全体のここはよかった、ここは悪かったっていうことについては、コロナ禍の影響は、まだ今年度も続いています。予防接種の補助もやるんですけども、それそのものが初めての状態になるので、去年までは無料接種で、この年代の人は打てる人は打てるみたいな形でやってたんですけども、定期接種に一部の人がなる状態で、しかも結構な負担が市民の皆様にもそのままで行く状態になって、市側が一定の補助を出す状態にしていますけども、それがどういうふうに行くのか分からないんですね。全然自分の頭の中ではコロナ禍は終わってる話では全くありません。継続中の問題です。

ですから、一定程度、ここについてはどうだこうだっていうことは、その場面その場面のことについての検証は終わっていますけども、全体の総括をやるタイミングではいまだにありません。そんなに市役所のその事業は、そんなに甘いものではありません。いろんな形でリスクを積み上げた状態で、次のところにつなぐためには、まだまだいろんなことを検証していく必要がある状態にいまだにあります。コロナは、決して自治体としては終わってる話ではないってことだけ申し上げます。

以上、終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 一応、確認でございますけども、決算カードの裏面の真ん中のちょっと右のほうに健全化判断比率のことが書いてあると思うんですけども、実質公債比率と将来

負担比率の、もし分かれば県内の本市の順位は、お分かり、分かるんでしたら教えてください。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 速報になりますが、実質公債比率は、名古屋市を除いて11位、将来負担比率は6位という形になりますので、県内においても健全な位置にあるというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 監査意見書の6ページの下の経常収支比率のことですけれども、経常収支比率が少しずつ上がってきてます。これ、上がってくると財政が硬直化して、投資的経費ができなくなるんですけれども、この上がってきた要因、背景、理由は、どういったことなんでしょう。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 全体的に、県内というか全国的に上昇しているというのがまず理由というところと、あと、もう一つは、今回、ちょっとその経費の区分の振替があって、それも上昇要因になっているというふうに認識しております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長、持ったままでいいですよ、それ。

いいですか。

○財政課長（浦 倫彰君） 大丈夫です。もう持たないようにします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もうちょっと、どういったところで区分を変えたのかっていうのと、あと、内訳でその他っていうところがちょっと比率が多くなってるんですね。このその他っていうのはどういったものがあるって、その他の中のどういうものが上がってきてるんでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） すみません、持たないようにします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 違う、違う。自分の目の前に置いとけばいいんじゃないですかって話。

○財政課長（浦 倫彰君） まず、その他の部分については、物件費と補助費が増加要因で、物件費のところ、先ほどお伝えしたような振替のところが影響しているというところ

ろでございます。

補助費については、いわゆる、これまでの説明してきた東部知多などのものが要因というところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 以上で総括的な……。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 堀内ちほ委員。

○堀内ちほ委員 すみません、最後にします。実質収支比率について教えてください。健全化のときにも説明があったかと思いますが、実質収支比率が減少しています。これは、3月補正での取組の成果と考えてもよいでしょうか。それから、減少していても健全であるという認識でよかったでしょうか。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 全く御指摘のとおりです。そのような形で運営しております。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 先ほど、林委員とのやり取りで臨財債の話、出てまして、満額しっかりとこの臨財債使わせていただくって話聞いて、さっきちょっと数字聞いてたの、僕、全部消しちゃったんですけども、そのときに、しっかりね、毎年、これ、満額やっていただかないと、本当、豊明市のためにならないのでいいんですが、その分のその負担分、市債分が、その分、どれだけ割り当てられてるか分からん。減ってきてるって、さっき、言われてましたよね。ということは、国から増えてるっていうことでよろしかったですか、臨財債の分の、その元金償還の分の国からの国庫支出金っていうんですか、交付金っていうんですか。お願いします。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 国からの元利に対する交付税措置は、しっかりなされております。それは確認済みです。御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（近藤ひろひで議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

これにて本日の委員会を終了します。

明9月10日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから審査を行いますので、よろしくお願いいたします。長時間御苦勞さまでした。ありがとうございます。

午後6時59分閉議